令和５年度
野鳥モニターによる
足立区野鳥調査報告書

ツバメ
西新井商店街にて撮影

足立区　環境部　環境政策課

【表紙写真】　ツバメ　　提供：平石　純 氏

西新井商店街にて撮影

【裏表紙写真】（左上から）

ツミ　　提供：金杉　崇 氏

花畑桜花亭にて撮影

チョウゲンボウ　　提供：西﨑　隆一 氏

千住桜木地区荒川河川敷にて撮影

オオコノハズク　　提供：酒井　隆行 氏

舎人公園にて撮影

ツミの親子　　提供：平石　純 氏

元淵江公園にて撮影

オオジュリン　　提供：上田　智子 氏

中川河川にて撮影

キビタキ　　提供：上田　智子 氏

中川公園にて撮影

カルガモの親子　　提供：鈴木　操 氏

ベルモント公園にて撮影

バンの親子　　提供：金杉　崇 氏

舎人公園にて撮影

オシドリ　　提供：鈴木　清文 氏

舎人公園にて撮影

足立区では、平成４年度から野鳥モニターの皆様のご協力のもと、区内で野鳥の生息調査を行っております。

令和５年度は、３７人の野鳥モニターが区内４０地域で調査を行い、７７種、延べ２７，７３１羽の野鳥を確認しました。

昨年度と比べると、確認種数と確認個体数は大きく増加し、調査開始以来、初めて確認された野鳥が２種類も見られました。

その理由としまして、①渡りの時期に足立区を通過する種が多かったこと、②確認が困難な種や個体数が少ない種を発見していること、③繁殖成功率が高く、多くの個体が巣立ち、個体数が増加した可能性があることが考えられています。

区は、一定の方法の調査を長く続けていくことで、野鳥を通して自然環境の変遷を感じ、私たちが身の回りの自然環境とどう関わっていくべきかを考えていくきっかけにしたいと考えています。

最後に、野鳥モニターの皆様のご協力に感謝し、この場を借りて心からお礼を申し上げます。

令和６年１０月　足立区 環境部 環境政策課

～ 目 次 ～

Ⅰ　調査概要 …… 1

Ⅱ　調査結果

１　年間確認種数と個体数 …… 4

２　区内で繁殖行動が確認された野鳥 …… 6

３　調査開始以来、初めて確認された野鳥 …… 7

４　調査月別確認種数と確認個体数 …… 8

５　確認個体数ベスト１０及び経年変化 …… 9

Ⅲ　令和５年度野鳥モニターによる観察日誌・繁殖行動 …… 15

資料編

資料１　調査月別確認種と個体数 …… 70

資料２　ブロック別確認種と個体数 …… 72

資料３～８　各調査月に確認された野鳥 …… 74

資料９　年度別確認種及び個体数一覧 …… 80

資料１０　令和５年度野鳥モニター活動記録 …… 89

Ⅰ　調査概要

1　目的

「野鳥モニター」による定期的な野鳥生息状況調査を継続して実施することで、自然環境の変化を把握し、環境保全のための基礎資料とする。

調査結果は広報等を通じて区民に公開することにより、身近な野鳥に関心を持ち、自然環境を大切にする意識を育てる。

2　調査期間

令和５年４月１日～令和６年３月３１日

3　調査方法

（１）調査方法

調査地域をゆっくりと歩き（時速２ｋｍ程度）ながら、観察された野鳥の種名と個体数を記録する。また、営巣や給餌等の特別な行動が観察された場合には、詳細を記録する。

（２）調査人数

野鳥モニター３７名による。

（３）調査項目

野外で観察されたすべての野鳥（外来種含む）の種名・個体数・営巣および給餌などの特別な行動。

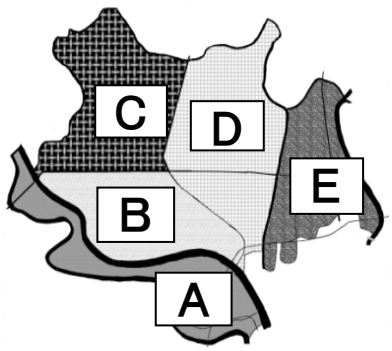
（４）調査日時

毎奇数月で各モニターが任意に選んだ１日のうち、午前６時から午前１０時までの間の２時間程度（調査回数は各地域とも年６回）。

４　調査地域

区内で野鳥が多く観察される地域、および荒川両岸の河川敷について、Ａ～Ｅの５ブロックに分け、全体で４０地域を調査地域として設定している。

モニター番号	地域
Ａ－１	小台全域（河川敷含む）
Ａ－２	新田全域（荒川右岸河川敷含む）
Ａ－３	千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以東の千住河原町及び千住橋戸町
Ａ－４	千住五丁目、日ノ出町全域（河川敷含む）
Ａ－５	千住桜木一丁目、千住緑町全域（隅田川含む）、日光街道以西の千住河原町及び千住橋戸町、千住宮元町
Ａ－６	千住元町（荒川河川敷除く）、千住桜木二丁目
Ａ－７	西新井橋～千住新橋（荒川右岸河川敷）
Ａ－８	宮城全域（河川敷含む）
Ａ－９	柳原一・二丁目（荒川右岸河川敷含む）
Ｂ－１０	扇大橋～西新井橋（荒川左岸河川敷）
Ｂ－１１	興野二丁目、扇三丁目
Ｂ－１２	熊之木～江北橋（荒川左岸河川敷）
Ｂ－１３	鹿浜橋～熊之木（荒川左岸河川敷）
Ｂ－１４	関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目
Ｂ－１５	千住新橋～東武線鉄橋南（荒川左岸河川敷）
Ｂ－１６	西新井橋～千住新橋（荒川左岸河川敷）
Ｂ－１７	江北橋～扇大橋（荒川左岸河川敷）



【調査地域】

Ａブロック	９地域
Ｂブロック	８地域
Ｃブロック	５地域
Ｄブロック	８地域
Ｅブロック	１０地域
計	４０地域

モニター番号	地域
Ｃ－１８	都市農業公園（新芝川含む）、芝川水門～鹿浜橋（荒川左岸河川敷）
Ｃ－１９	舎人一・二丁目（隣接する見沼代親水公園含む）
Ｃ－２０	舎人公園
Ｃ－２１	舎人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目
Ｃ－２２	西竹の塚二丁目、伊興本町一・二丁目、東伊興二・三丁目（毛長川含む）
Ｄ－２３	梅島一～三丁目
Ｄ－２４	綾瀬川土手、花畑七・八丁目
Ｄ－２５	島根全域
Ｄ－２６	西綾瀬全域
Ｄ－２７	西保木間一～三丁目
Ｄ－２８	花畑三～五丁目
Ｄ－２９	保木間一～三丁目
Ｄ－３０	保木間四・五丁目
Ｅ－３１	大谷田一丁目
Ｅ－３２	大谷田二（中川含む）～五丁目
Ｅ－３３	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園
Ｅ－３４	佐野一丁目、六木二丁目（中川含む）
Ｅ－３５	佐野二丁目、辰沼全域、六木一丁目
Ｅ－３６	神明一～三丁目、六木三・四丁目（垳川、中川含む）
Ｅ－３７	神明南一・二丁目、北加平町
Ｅ－３８	東和全域・谷中公園
Ｅ－３９	中川五丁目（中川右岸区境まで含む）
Ｅ－４０	東綾瀬公園

令和５年度までのモニター人数と調査地域数は以下のとおりである。
《野鳥モニター人数・調査地域数（平成４年度～令和５年度）》

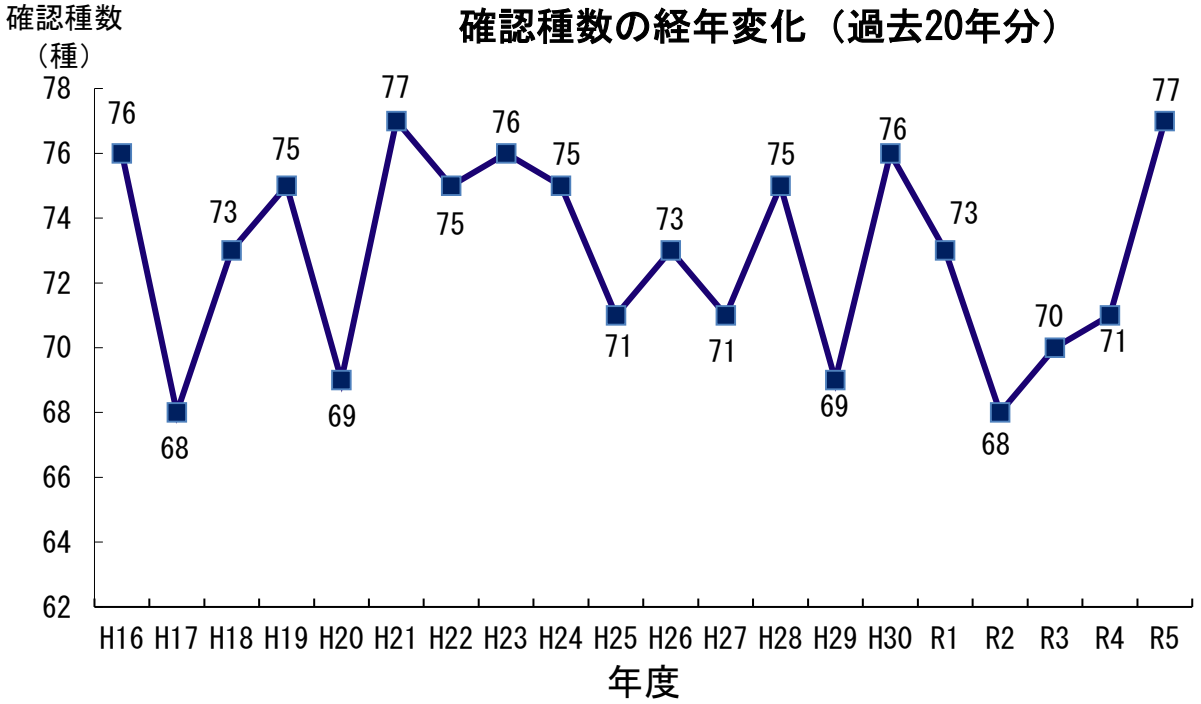
年度	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39

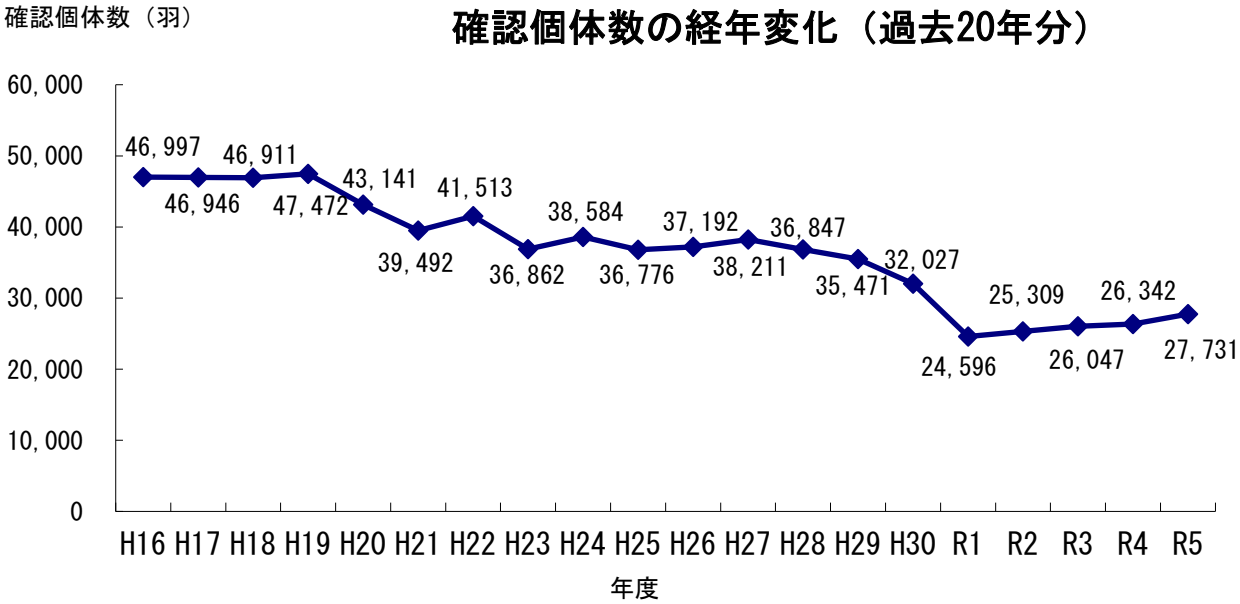
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5		
モニター人数	36	38	36	40	40	38	40	40	40	39	40	40	40	40	37		
調査地域数	39	41	41	41	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40		

Ⅱ　調査結果

１　年間確認種数と個体数

令和５年度の調査で確認された野鳥は、７７種、延べ２７，７３１羽であった。





★　新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和元年度では３月分調査が、令和２年度は５月分調査が中止となり、年５回の調査となっていた。
　令和３年度からは通常通り年６回の調査を行った。
　令和４年度は、７月にＢブロックのうち一地点が調査できなかったため、７月調査のみ３９地域で実施した。

調査結果　（※並び順は「日本鳥類目録改訂第７版」に準ずる）

NO	目名	科名	種名	合計	前年度比
1	カモ	カモ	オシドリ	1	+1
2			オカヨシガモ	14	+14
3			ヒドリガモ★1	442	−12
4			マガモ	26	−3
5			カルガモ★1	774	+63
6			ハシビロガモ	9	+9
7			オナガガモ★1	3	−30
8			コガモ	102	+7
9			ホシハジロ	263	+33
10			キンクロハジロ	202	−39
11			スズガモ	4	−19
12	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	36	−5
13			カンムリカイツブリ	21	−10
14	ハト	ハト	キジバト	720	+2
15	カツオドリ	ウ	カワウ★1	1,976	−207
16	ペリカン	サギ	アオサギ	98	+3
17			ダイサギ	61	+7
18			チュウサギ	1	−2
19			コサギ	54	+17
20	ツル	クイナ	クイナ	5	+5
21			**ヒクイナ（初）**	1	+1
22			バン★2	23	+13
23			オオバン★2	626	−97
24	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	1	+1
25			ツツドリ	1	+1
26	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	7	+7
27			ヒメアマツバメ	20	+20
28	チドリ	チドリ	イカルチドリ	23	+23
29			コチドリ	4	−1
30			メダイチドリ	5	+2
31		シギ	タシギ	7	+7
32			チュウシャクシギ	3	−9
33			キアシシギ	3	−24
34			イソシギ	62	+11
35		カモメ	ユリカモメ★2	454	+291
36			ウミネコ★2	15	+1
37			セグロカモメ★2	145	+92
38			コアジサシ	14	−22
39	タカ	タカ	トビ	19	−1
40			ツミ	7	−1
41			ハイタカ	2	+2
42			オオタカ	7	+4
43			**ノスリ（初）**	2	+2
44	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	10	+3
45	キツツキ	キツツキ	コゲラ	9	−5
46	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	8	−7
47	スズメ	モズ	モズ	69	+18
48		カラス	オナガ★3	1,049	+321
49			ハシボソガラス★3	1,110	+88
50			ハシブトガラス★3	842	−80
51		シジュウカラ	シジュウカラ	725	+213
52		ヒバリ	ヒバリ★3	12	+4
53		ツバメ	ツバメ★4	210	−125
54			イワツバメ	9	+0
55		ヒヨドリ	ヒヨドリ★4	2,498	−109
56		ウグイス	ウグイス	38	+18
57		ムシクイ	メボソムシクイ上種	1	+1
58			センダイムシクイ	1	+1
59		メジロ	メジロ	471	+156
60		ヨシキリ	オオヨシキリ★3	36	+11
61		セッカ	セッカ★3	34	+15
62		ムクドリ	ムクドリ★4	6,602	+378
63		ヒタキ	シロハラ	3	−1
64			アカハラ	2	+1
65			ツグミ★4	450	+126
66			ジョウビタキ	37	+13
67			イソヒヨドリ	7	+5
68		スズメ	スズメ★4	6,061	+309
69		セキレイ	ハクセキレイ	525	+7
70			セグロセキレイ	8	+5
71			タヒバリ	112	+22
72		アトリ	アトリ	12	+12
73			カワラヒワ★4	296	−56
74		ホオジロ	ホオジロ	19	+12
75			カシラダカ	10	+10
76			アオジ	61	+33
77			オオジュリン	80	+2
	種名特定できず sp.…種名まで特定できなかったもの H　…特定の種の特徴が強く表れている交雑種		カモ科sp.	14	−43
			ハト科sp.	11	+11
			チドリ科sp.	1	+1
			シギ科sp.	3	−5
			カモメ科sp.	4	−64
			タカ科sp.	1	+1
			カラス科sp.	16	−28
			アメリカヒドリH	1	+1
	確認種個体数合計（羽）			27,731	+1,432
	（参考）交雑交配種		アイガモ	156	−79
	（参考）かごぬけ		ドバト	6,130	+478
			ワカケホンセイインコ	103	+22
			ガビチョウ	3	+3

※　★印のある種は、P10からP13に個体数の経年変化のグラフを掲載した。（★1…P10　★2…P11　★3…P12　★4…P13）

※（初）…本調査で初めて確認された種　　※メボソムシクイ上種…コムシクイ、オオムシクイ、メボソムシクイのいずれか

２　区内で繁殖行動が確認された野鳥

令和５年度にさえずり・営巣・抱卵・雛・幼鳥等の観察によって繁殖行動が確認されたのは、１７種であった（※交雑交配種、かごぬけは除く）。

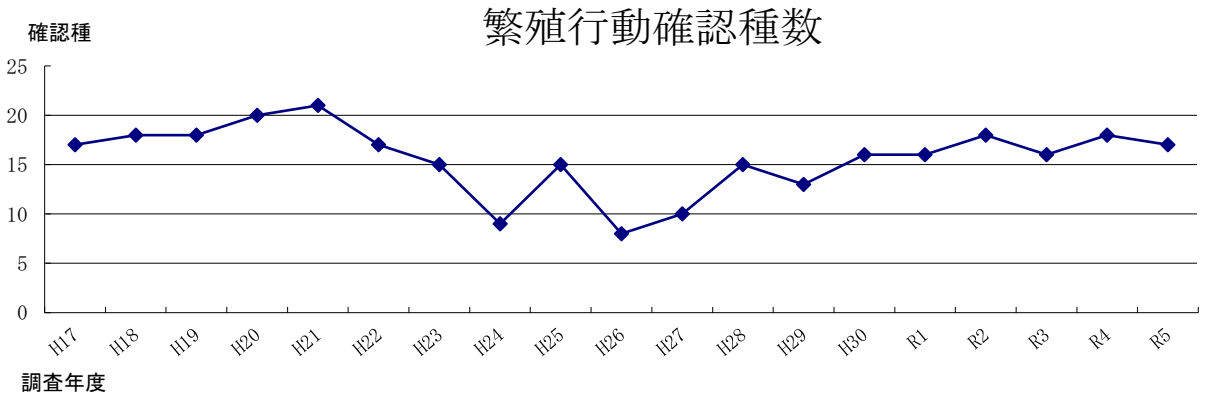
《区内で繁殖行動が確認された野鳥（年度別）》

No.	種名	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1	アオサギ														○	○				
2	イソシギ					○														
3	イソヒヨドリ																	○		
4	イワツバメ	○	○	○	○	○	○													
5	オオヨシキリ		○	○	○	○				○						○	○	○	○	○
6	オナガ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	カイツブリ					○						○		○	○	○★	○	●	○	○
8	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
9	カワセミ						○								○					
10	カワラヒワ	○			○	○		●					●		○	○	●		○	○
11	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	コアジサシ		○							○			○				●			●
13	ゴイサギ	○		○	○	○	○	●					●							
14	コゲラ				○			●												○
15	コサギ	○				○	○													
16	コチドリ			○			○	○						○	○	○				
17	ササゴイ	○	○	○		○														
18	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
19	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	セッカ																		○	○
21	チョウゲンボウ		○		○												○	(○)	○	
22	ツバメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	ツミ									○			○	○	○	○	○	○	○	○
24	ハクセキレイ		○	○	○	○				○			●				○	○	○	
25	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○★	○	○	○	○
26	ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	バン	○	○	○	○	○	○	○	○		○		●		○★	○★				
28	ヒバリ	○			○		○			○							○	○	○	○
29	ヒメアマツバメ		○	○																
30	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○		○	○						○	○	○	
31	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	メジロ				○	○														
33	モズ													○	○					
	年度合計	17	18	18	20	21	17	15	9	15	8	10	15	13	16	16	18	16	18	17

参考《交雑交配種・かごぬけで区内で繁殖行動が確認された種（年度別）》

No.	種名	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1	アイガモ																		○	
2	ドバト																		○	○
3	ワカケホンセイインコ																			○

※　「繁殖行動の確認」とは、繁殖に伴う行動や状況等により、野鳥モニターが区内で繁殖行動をしたと判断したもの。
※　平成２６年度までは調査日に限り確認された種を計上（調査日以外を含めれば繁殖をしている種はもっと多いと考えられる）。
平成２７年度報告書からは、調査日以外（過去含む）でも確認したものは掲載。
※　種名の網掛けは、令和５年度に繁殖行動が確認された種。
※　●＝幼鳥のみ
※　★＝ヒアリング調査によるため、観察記録に記載なし。
※（○）＝調査地域外で確認された種。数には含めないが、令和３年度のみ参考として掲載。
※　交雑交配種・かごぬけも令和４年度より参考として掲載。



３　調査開始以来、初めて確認された野鳥

◎　ノスリ（タカ目タカ科）

確認月　：令和６年１月
地域　　：Ｂ・Ｃブロック
発見場所：荒川（鹿浜橋付近および西新井橋付近）

留鳥として北海道、本州中部以北、および四国の低山から亜高山帯の森林で繁殖し、冬は沖縄を除く各地に冬鳥として渡来する。

（文章引用：決定版日本の野鳥650　〈株〉平凡社）

◎　ヒクイナ（ツル目クイナ科）

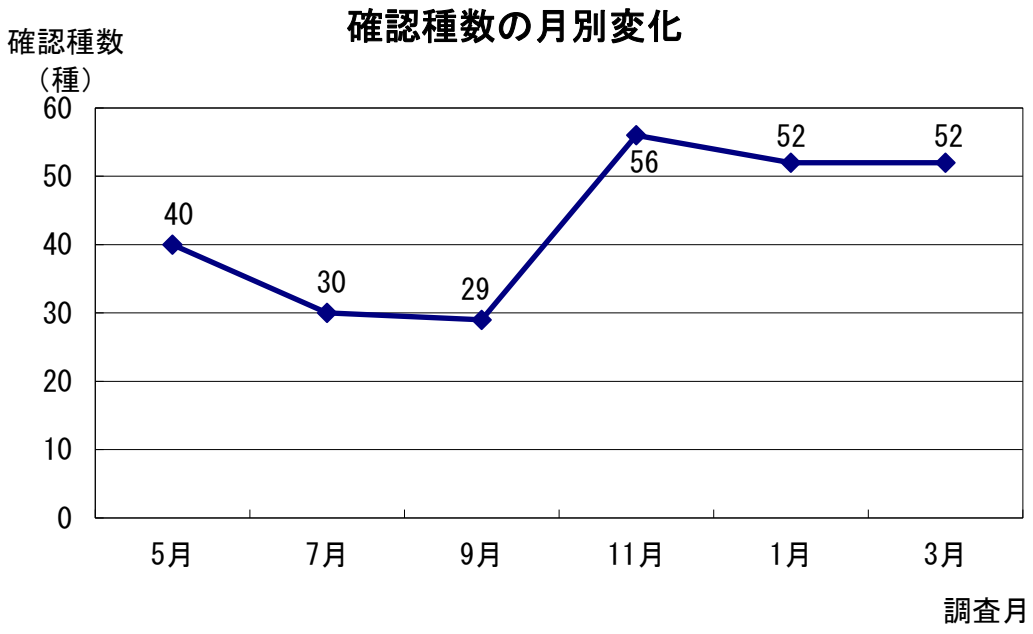
確認月　：令和６年３月
地域　　：Ｃブロック
発見場所：舎人公園

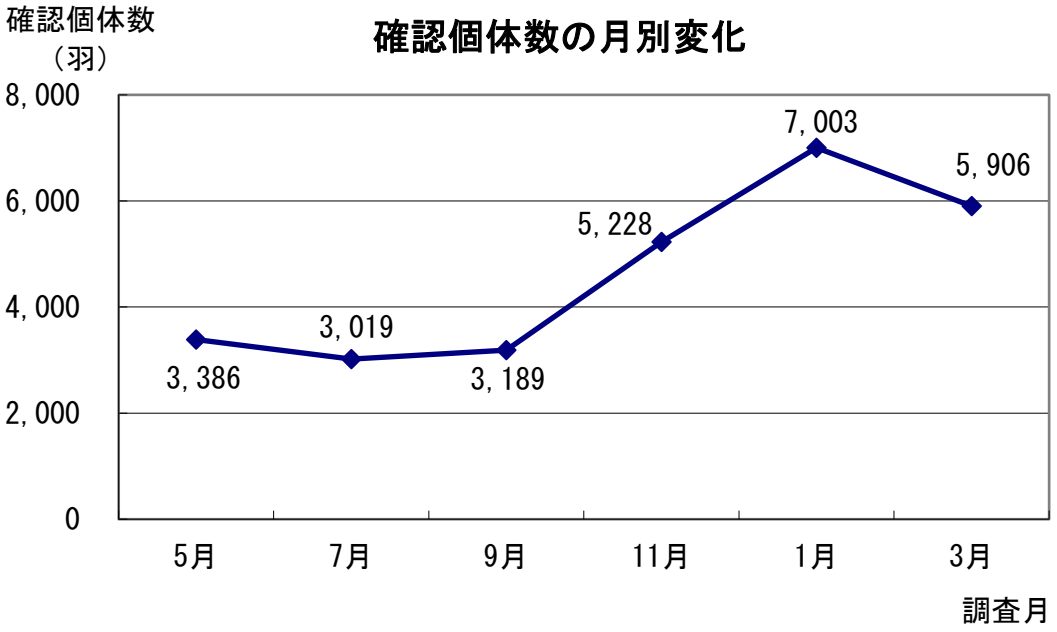
夏鳥として全国に渡来し、水田、湿地、池、河川に生息する。西日本では越冬する。

（文章引用：決定版日本の野鳥650　〈株〉平凡社）

（注）近年は関東でも越冬が確認されています。

４　調査月別確認種数と確認個体数

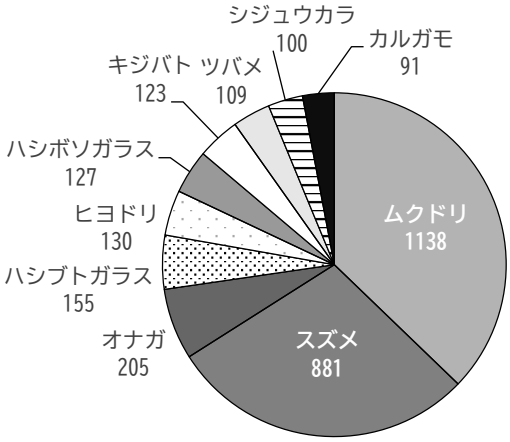




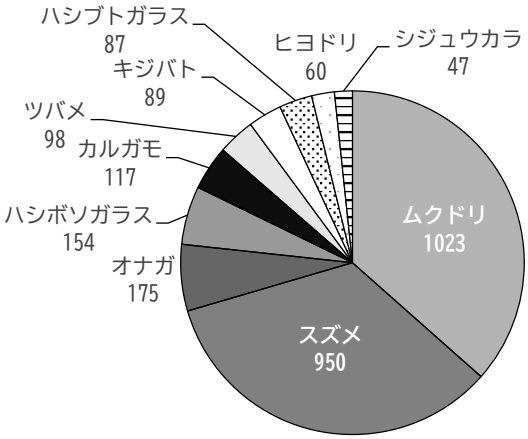
５　確認個体数ベスト１０及び経年変化

（１）　調査月別　確認個体数ベスト１０

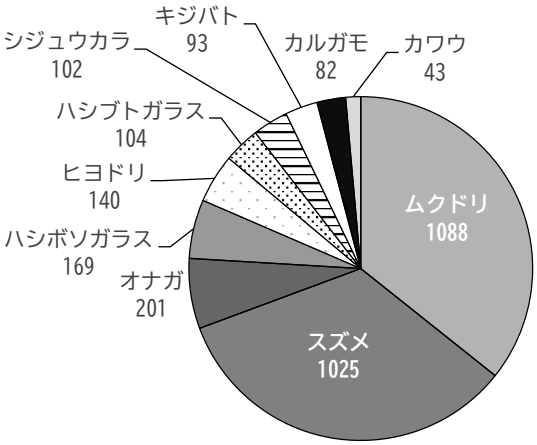
５月



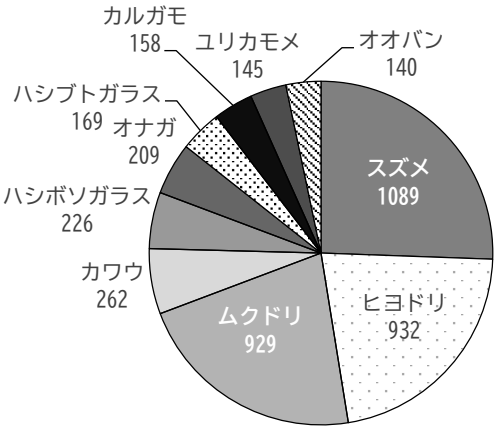
７月



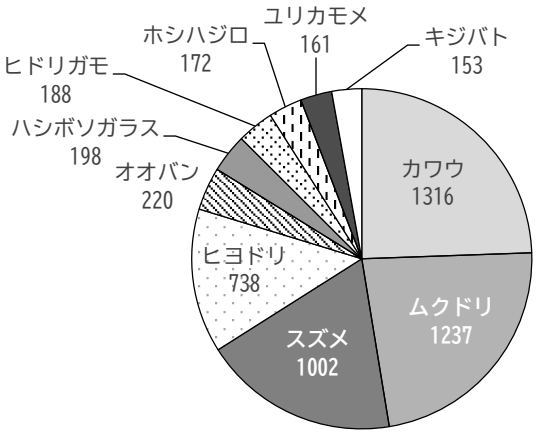
９月



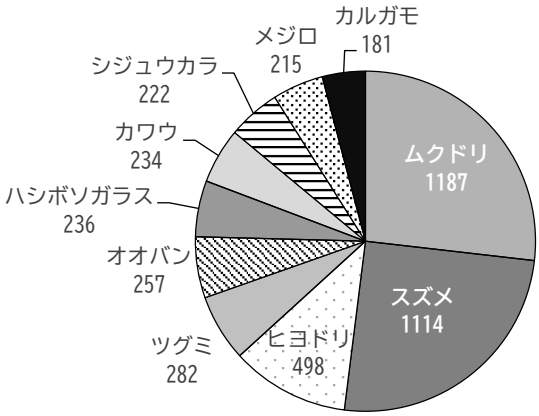
１１月



１月



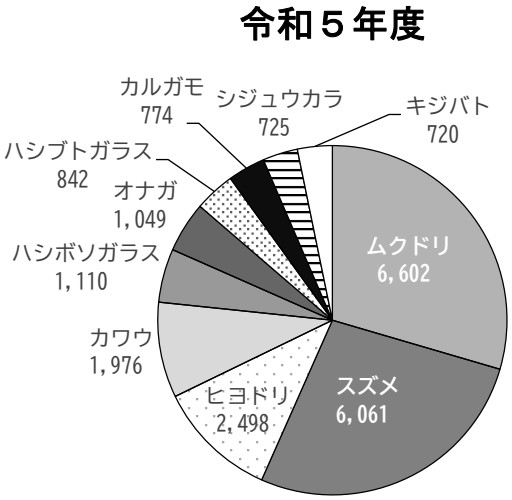
３月

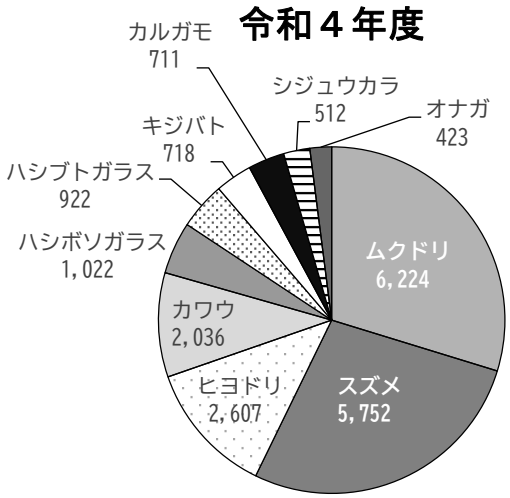


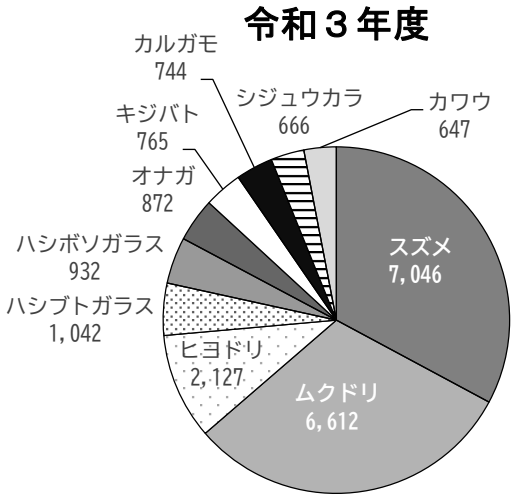
５　確認個体数ベスト１０及び経年変化

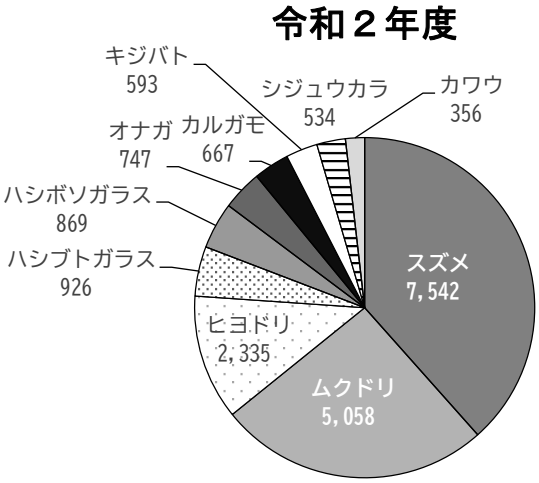
（２）年間の確認個体数ベスト１０の経年変化

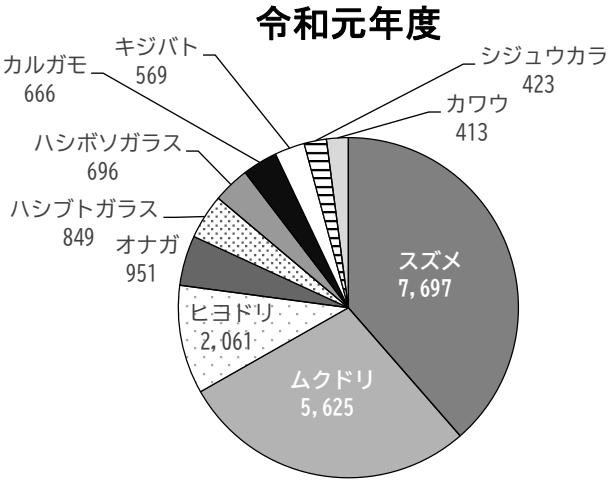
令和５年度の年間確認個体数ベスト１０に入る種類の確認個体数の累計は２２，３５７羽で、全体（２７，７３１羽）の約８１％に相当する。





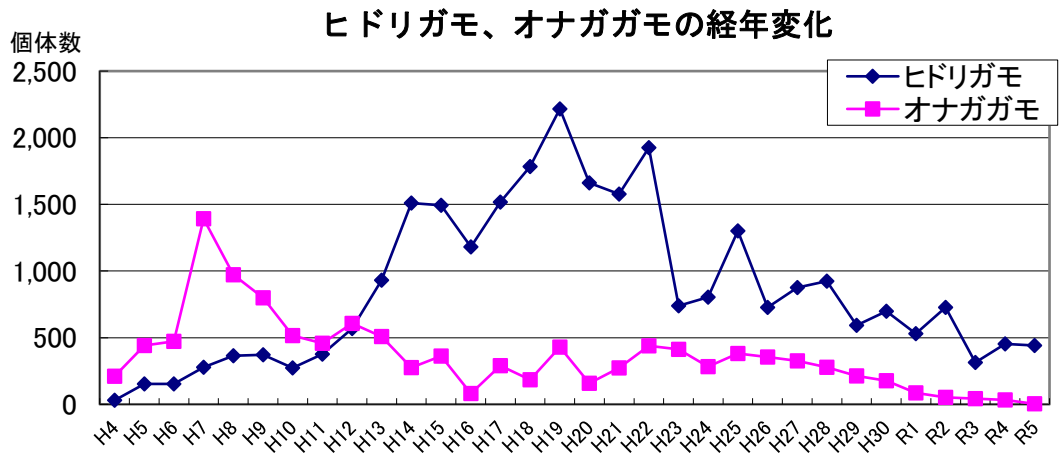


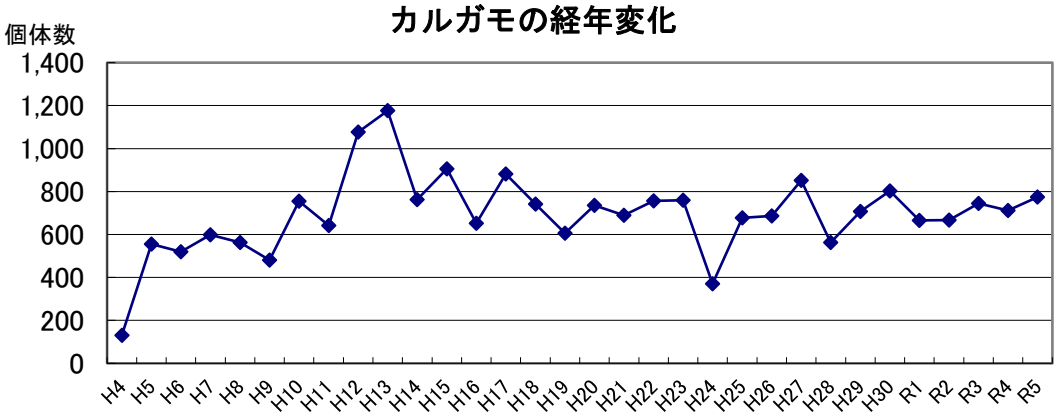


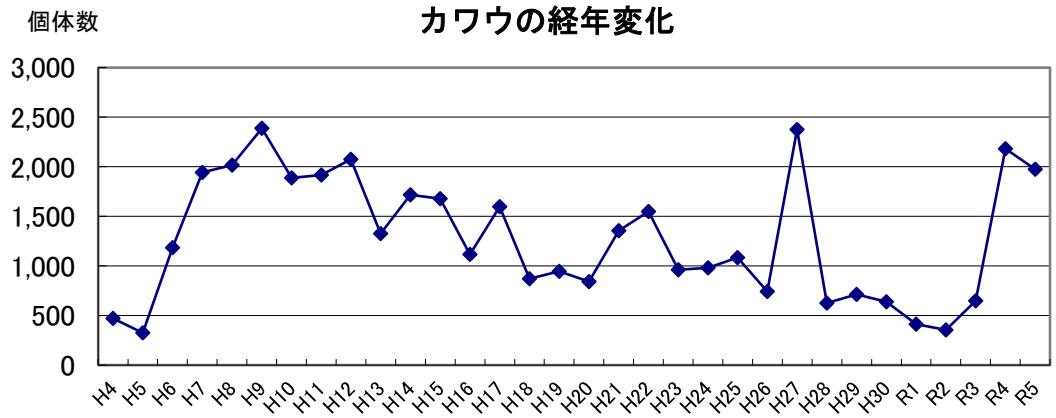


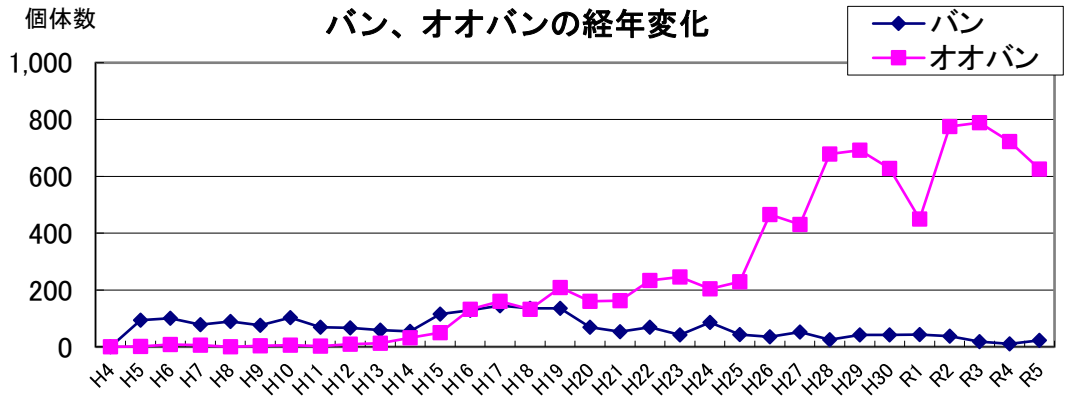
（３）主な種の経年変化

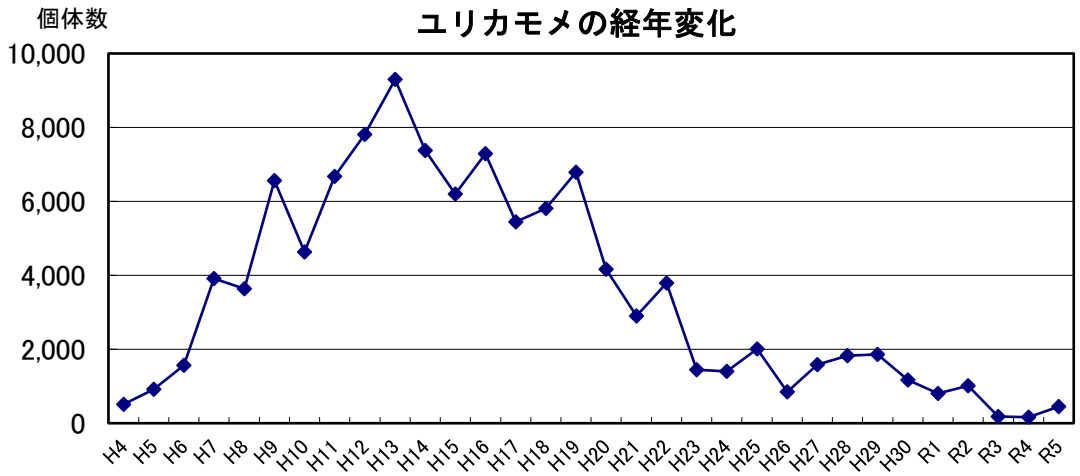
※　種の掲載順は「日本鳥類目録改訂第７版」を参考とした。

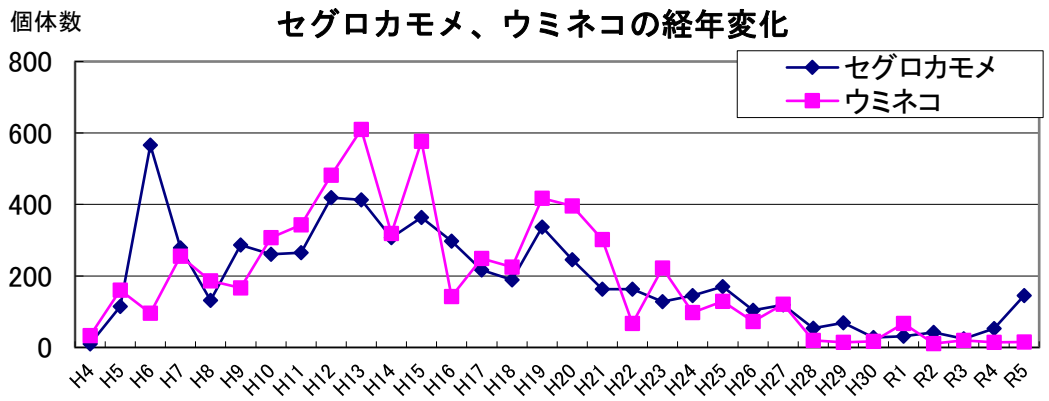


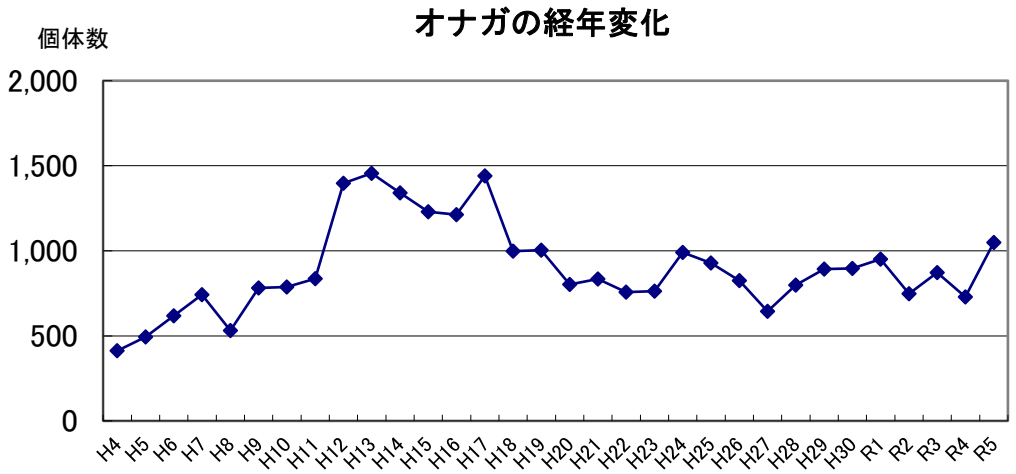


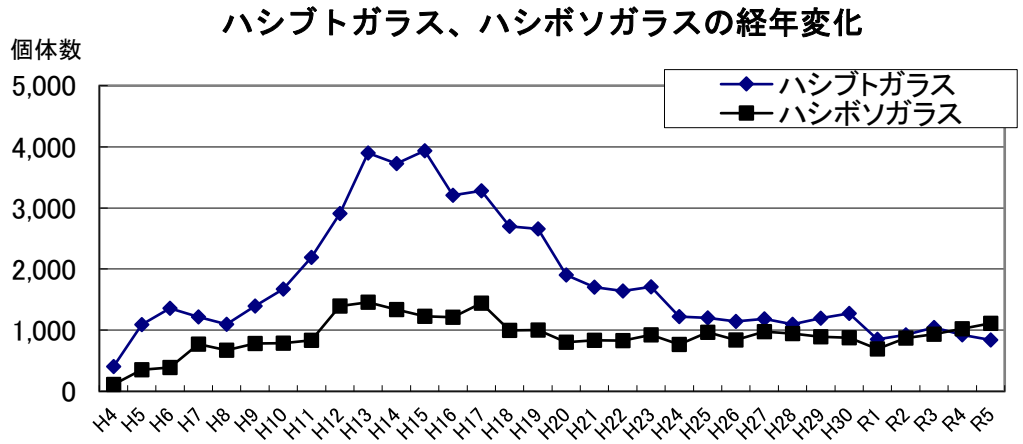


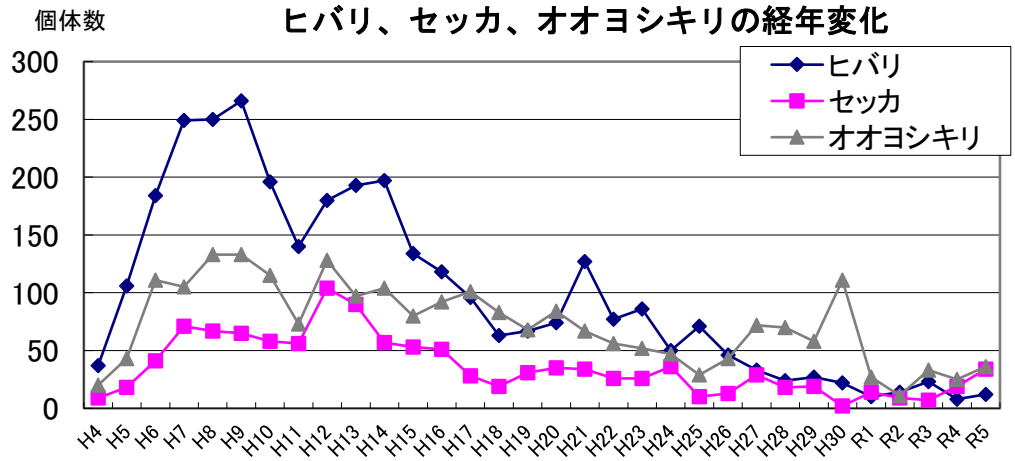

個体数
バン、オオバンの経年変化
バン
オオバン
1,000
800
600
400
200
0
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5

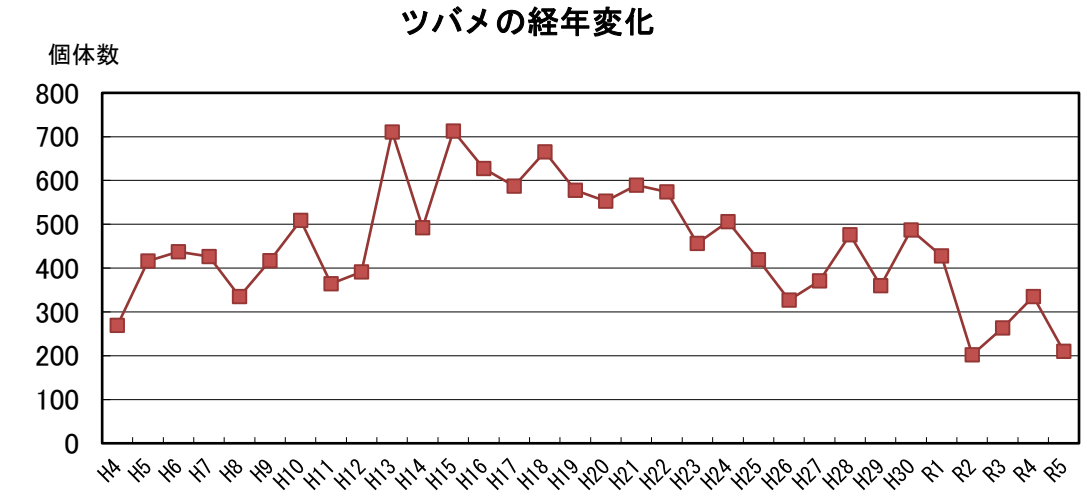

個体数
ユリカモメの経年変化
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5

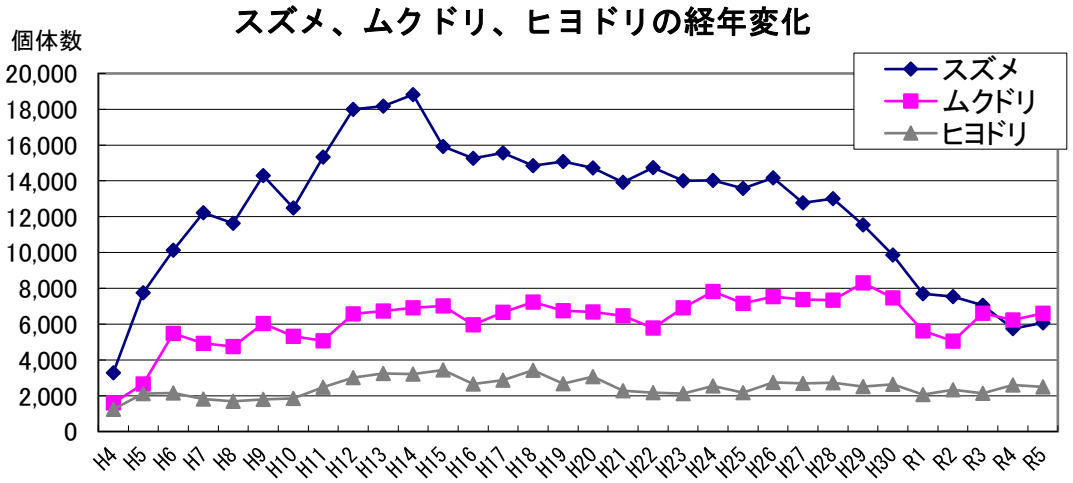

個体数
セグロカモメ、ウミネコの経年変化
セグロカモメ
ウミネコ
800
600
400
200
0
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5

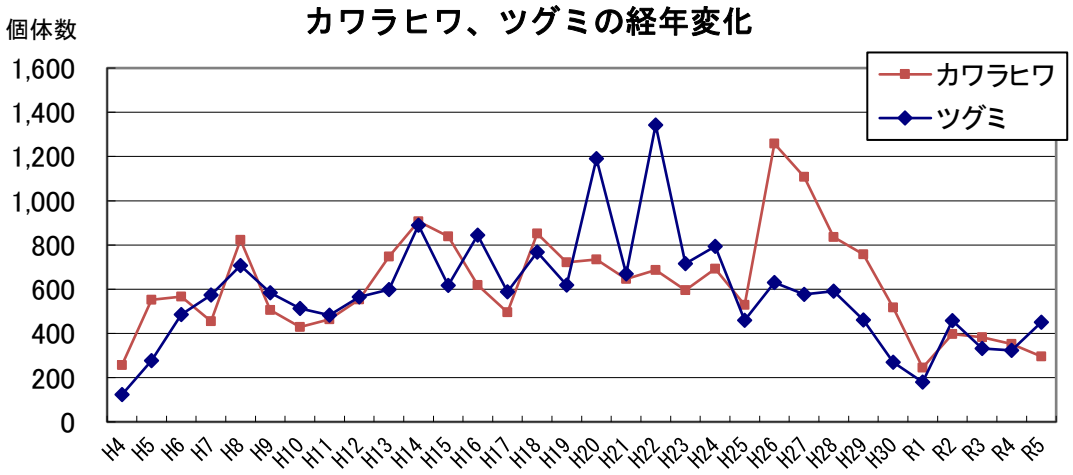

オナガの経年変化
個体数
2,000
1,500
1,000
500
0
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5


ハシブトガラス、ハシボソガラスの経年変化
個体数
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
ハシブトガラス
ハシボソガラス
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5


ヒバリ、セッカ、オオヨシキリの経年変化
個体数
300
250
200
150
100
50
0
ヒバリ
セッカ
オオヨシキリ
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5


ツバメの経年変化
個体数
800
700
600
500
400
300
200
100
0
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5


スズメ、ムクドリ、ヒヨドリの経年変化
個体数
20,000
18,000
16,000
14,000
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
スズメ
ムクドリ
ヒヨドリ
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5


カワラヒワ、ツグミの経年変化
個体数
1,600
1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
0
カワラヒワ
ツグミ
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5

Ⅲ
令和５年度
野鳥モニターによる
観察日誌・繁殖行動

目次

令和５年４月繁殖行動確認 …… 16
令和５年５月観察日誌 …… 17
令和５年５月繁殖行動確認 …… 23
令和５年６月繁殖行動確認 …… 28
令和５年７月観察日誌 …… 30
令和５年７月繁殖行動確認 …… 35
令和５年９月観察日誌 …… 38
令和５年９月繁殖行動確認 …… 45
令和５年１０月繁殖行動確認 …… 46
令和５年１１月観察日誌 …… 47
令和６年１月観察日誌 …… 54
令和６年３月観察日誌 …… 61
令和６年３月繁殖行動確認 …… 68

令和５年４月（繁殖行動確認）

確認日	種　名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
１３	ツミ	高道東公園（西新井五丁目）	営巣 交尾	（１）１３日に営巣準備（枝折）を確認。 （２）１４日、１６日、２３日に付近のテレビアンテナ上で、交尾を確認。	Ｂ－１４
１４					
１６					
２３					

令和５年５月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
1	コアジサシ メダイチドリ タシギ イソシギ コチドリ	（１）今年度新たに兼務することになった地域なので、早い日程で行った。穏やかに晴れた、また大潮の干潮時で、初回としては良い状況だった。 （２）ちょうど千住桜木地区との境になる河川敷干潟では、水辺の鳥たちの楽園の様だった。コアジサシが飛びかい、メダイチドリも複数見られ、タシギ、イソシギ、コチドリなど、この干潟だけで１０種の鳥が見られた。	Ａ－１
1	オオヨシキリ セッカ イワツバメ ツバメ	（１）夏鳥のオオヨシキリ、セッカ、イワツバメ、ツバメが帰ってきた。	Ａ－２
3	カワラヒワ コアジサシ	（１）カワラヒワは、さえずりをしている個体が見えましたが、他は見つけられませんでした。 （２）コアジサシが、河川を飛び回っていました。 （３）どの鳥もこれから雛が生まれ成長し、巣立つのが楽しみです。	Ｅ－３９
4	カルガモ オナガ	（１）カルガモが４月下旬に生まれたそうだ。昨年よりずっと早い。１４羽生まれ、猫にやられたそうで、１１羽確認。１羽池の中の草むらでじっとしていた。立ち上がった際、足を痛めていた。 （２）オナガ、オリーブの樹に巣があり、カラスが入り込んだ。オナガの威嚇が始まり、群れで声を上げていた。カラスは１羽去り、残る１羽が飛び去る時、オナガが体当たりする空中戦を目撃した。	Ｄ－２３
4	オナガ	（１）しょうぶ沼公園で「ギューイ、ギューイ」と鳴きながら、オナガが群れていた。	Ｅ－３３
4	ツミ カルガモ	（１）ツミのつがいが、高い木の上でハトを食べていました。 （２）池でカルガモの親子が泳いでいたところ、カラスが子ガモに寄ってきました。そのとき親ガモが、カラスに対し威嚇して追い払いました。	Ｅ－４０

令和５年５月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
4	チュウシャクシギ キアシシギ コチドリ タシギ トビ ハシボソガラス チョウゲンボウ ヒバリ	（１）５月上旬なのに、土手や河川敷に雑草がかなり繁茂していて見通しが悪かった。 （２）チュウシャクシギ・キアシシギ・コチドリ・タシギについては、西新井橋近くの干潟部分で観察した。 （３）日暮里・舎人ライナーの高架近くで、トビがハシボソガラスに追われ、西新井橋方面に飛び去った。 （４）日暮里・舎人ライナーの高架下から、「江北橋～扇大橋」の担当地域を見る形での観察。チョウゲンボウが、ハシボソガラスを荒川側から南側の土手側に追いかけていた。チョウゲンボウはしばらく旋回し、荒川方面に飛び去って行った。 （５）パークゴルフ西側の野球場前の土手に、ヒバリが降りた、近寄ったところ、飛び立ったのを２回繰り返した。１羽だと思ったが、写真を確認したら２羽一緒に飛んでいたので、つがいと思われる。	Ｂ－１０
5		（１）晴れ、南の風、風力１、巻層雲が広がる。新緑が多い。街中でツバメを見なかった。 （２）河川敷ではクワの赤い実がたくさんあった。まだ熟していない。歩くだけで汗をかく。	Ａ－４
5		（１）担当地域の河川敷は「アシ原再生工事」のため、６月３０日まで立入禁止です。水際の鳥は西新井橋の上から観察しました。 （２）モニター観察に来る度に、アカメガシワが目に見えて大きくなっています（すごい）。	Ａ－６
5	ドバト	（１）観察した個体は少なかった。特にドバトが激減していた。 （２）荒川上空をタカ（チュウヒ？）がゆっくり旋回していた。	Ｂ－１６
5	アオサギ ダイサギ コサギ イソシギ トビ	（１）晴天に恵まれた暖かい日、大潮の干潮時に近く、干潟も現れた。 （２）アオサギ、ダイサギ、コサギも複数確認でき、久しぶりにイソシギが仲良くゴカイなどをついばんでいた。 （３）アオサギがカラスの縄張りに入り込んだのか、執拗に追い払われていた。上空に現れたトビも同様に、追いかけまわされていた。	Ｃ－１８

令和５年５月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
6	カルガモ アオサギ カワウ ツバメ ハクセキレイ スズメ	（１）見沼代親水公園から調査を開始しました。水路ではカルガモ３羽（古千谷本町）、アオサギ（舎人四丁目）を確認しました。 （２）毛長川では砂小橋と新砂子路橋間で新たな堤防工事が始まり、水辺の野鳥は全く確認できませんでしたが、川の上を飛翔するカワウ、カルガモ、ツバメを観察しました。 （３）ハクセキレイ、スズメは河川敷での確認です。	Ｃ－２１
6	ムクドリ スズメ	（１）モニターで、これほど風が強い日は経験したことがなかったが、こういう時の鳥の様子にも興味があったので出かけた。 （２）外へ出た途端、ムクドリとスズメとカラスの声が聞こえて期待できそうだった。 （３）新モニターさんに、観察の要領を説明しながらだったので、少し見落としたかもしれない。風の葉音が大きかったので小鳥の小さな鳴き声は聞き辛かった。モニターの日は、やはり風が弱い方が良いが、風に流されたり、逆風に向かったりして飛ぶ鳥たちの様子も、観察を楽しませてくれた。いつもより少し早めに終了。	Ｅ－３８
9	アオサギ	（１）「川」は拘置所脇の水路。ベンチで記入していたら数メートル先にアオサギが飛んできて、ポーズをしばらく決めてくれて、楽しませてくれた。	Ｄ－２６
１０	シジュウカラ スズメ	（１）今月が初観察でしたが、いろいろな種類の野鳥を見ることができました。ここ数日、はっきりしない天気でしたが、今日は快晴でした。シジュウカラのさえずりが、数か所で聞こえました。 （２）令和３年度と同じ位置（大谷田一丁目団地４号棟）にスズメの営巣を確認しました。	Ｅ－３１
１０	ツバメ	（１）晴れ、風弱く、湿度低い。 （２）垳川には鳥の姿はまったく無く、時々見かけるカルガモも今日はいなかった。 （３）神明六木遊歩道の中川側入り口上空と民家の間をツバメが２羽飛び回っていた。１、２羽で行動している鳥が多く、あまり群れている様子が無かった。	Ｅ－３６

令和５年５月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
１０		（１）野鳥生息調査の初日であり、できるだけゆっくりと調査したつもりでしたが、「声はすれども姿が見えず」な状況が多々あり、苦慮した。 （２）４月初旬ごろまでは中川に多く生息していたオオバンやヒドリガモなどの姿も無く、寂しい限りでした。 （３）六木二丁目工場の軒先にあるツバメの巣も雛の気配は無く、巣立ちも確認できなかった。	Ｅ－３４
１１	ハシブトガラス オナガ ムクドリ スズメ カワウ	（１）本日は大谷田公園を６時にスタートし、２時間ほどかけてゆっくりと野鳥生態調査を行いました。 （２）大谷田公園の中央部にある２本のクスノキにそれぞれハシブトカラスの巣があり、一つは放棄された様で、他の巣では子育て中で親鳥の威嚇行動が見られた。また、同じ公園の北東部のイチョウの木にオナガの巣があり給餌？の様子や雛の鳴き声が聞こえた。 （３）エリア全体にムクドリが多く、スズメは７時頃から確認できた。中川は昨日同様に閑散としていてカワウのみ確認。	Ｅ－３２
１１	オナガ シジュウカラ	（１）青葉が茂りウツギの花が咲く千草園で、オナガの「ゲェーイ、ゲェーイ」と鳴く声と、シジュウカラの鳴き声が聞こえた。	Ａ－９
１４	スズメ シジュウカラ ツバメ	（１）６時５０分、雨上がり調査開始。 （２）７時００分、神明南公園にスズメ７羽、シジュウカラ１羽を確認。同公園で清掃ボランティアの方々と挨拶を交わす。 （３）７時２５分、雪見公園。花畑川を視るも、鳥の姿無し。 （４）８時０５分、神明町一丁目個人宅駐車場の内壁にツバメの巣があり、ツバメ一羽が飛び立つのを確認。同所から約５０ｍ離れた個人宅駐車場にも天井設置の丸型電灯にツバメの巣があり、一瞥（べつ）ではツバメは確認できなかった。しかし傘が逆さに吊るされ車にフン等が落ちないよう工夫されていたことから営巣確認とした。 （５）８時１０分、北加平町の電柱に交尾中のスズメ２羽確認。 （６）８時５０分調査終了。	Ｅ－３７
１４	ハシブトガラス	（１）朝方まで雨が降っていた。残念ながら毛長川の水鳥は皆無！ （２）公園でハシブトガラス（２羽）に執拗に追いかけられた。必死でその場を離れて「巣でもあるのか」と思い、見回したが、見つけられなかった。	Ｄ－２８

令和５年５月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
１６	ムクドリ キジバト ハシボソガラス カルガモ ツバメ コゲラ	（１）７時００分、舎人ライナー舎人公園駅西側公園入口から調査開始。同公園Ａ地区、ムクドリ１羽、キジバト１羽、ハシボソガラス１羽を確認。 （２）７時１５分、Ｂ地区に入る。カルガモ２羽、ツバメ１羽を確認。 （３）７時４０分、大池の東側にあるヤナギの木に、縦に２つ並んだコゲラの巣穴があり、下の巣穴からコゲラが顔を出したのを確認。同コゲラを撮っているカメラマンら８名と挨拶を交わす。 （４）７時５５分、大池西側ベンチ前の木にハシボソガラスの巣がある。前年度３月２０日にはハシボソガラスの出入りがあったが、今回は未確認。 （５）８時１５分、Ｃ地区に入る。 （６）８時４０分、Ｄ地区に入る。 （７）９時００分、舎人公園駅西側に到着。調査終了。	Ｃ－２０
１７	オオヨシキリ	（１）天気予報では、今日は真夏日になるとか。途中で上着を一枚脱いでのモニターとなりました。 （２）鳥の種類も数も今ひとつでしたが、河川敷の鉄塔下の池で、オオヨシキリとウシガエルの合唱が聞こえて、それなりに楽しい野鳥観察となりました。	Ｂ－１７
１８	ムクドリ ハシブトガラス	（１）いつもより野鳥の種類、数ともに少なかった。 （２）ムクドリが３羽で、ハシブトガラスを追い回していた。 （３）空き地の開発がだんだん進んできて、野鳥が見られる場所が減少してきた。	Ｂ－１１
１９		（１）河川敷に、一部土木トラック出入りあり。	Ｂ－１３
２１	ムクドリ スズメ	（１）曇天、風の無い静かな朝でした。湿気が感じられました。 （２）野鳥の種類は少なかったものの、ムクドリやスズメの活動が目立ちました。 （３）日の出が早まり、暖かくなりまして６時台のウォーキング、ジョギングをする人も増えた印象です。	Ａ－５
２１	スズメ	（１）スズメがいつもに比べて数多く見られました。	Ｄ－２７
２１	ツバメ	（１）ツバメが畑地の低空を飛んでいました。久しぶりの確認です。	Ｄ－３０

令和５年５月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
２２	スズメ ツバメ ハクセキレイ セッカ ムクドリ ヒヨドリ	（１）荒川は白いモヤに包まれて素敵でした。小鳥たちは多く見かけました。スズメ、ツバメ、ハクセキレイ、セッカ、ムクドリ、ヒヨドリなど。	Ｂ－１２
２４	ドバト	（１）今日は晴天なのに、昨日の雨のためか、全体に鳥の数、種類ともに、非常に少なかった。ドバトの数も少なかった。	Ｄ－２５
２５	ヒバリ イソヒヨドリ	（１）最近ほとんど見られなくなったヒバリが、シロツメクサの低草地で採食していた。 （２）イソヒヨドリを、住宅街の電柱上部にオス、ファミリー公園の時計塔の上にメス、それぞれ１羽ずつ確認した。 （３）オナガ５羽、５月７日日曜日、７時１０分、調査日以外。江南公園と民家の５階建て屋上を鳴きながら移動していた。	Ａ－８
２８	ムクドリ オナガ ハシボソガラス	（１）公園に隣接する民家の雨戸にムクドリが営巣しており、親鳥がしきりに餌を運んでいました。 （２）同じ場所でオナガがハシボソガラスのまわりを鳴きながら飛び回っていました。	Ｃ－２２
２８		（１）暖かくなったと同時に小鳥たちの活動も活発になってきており、かなりの鳥たちが朝から元気にさえずっていた。 （２）餌を運ぶ個体もちらほらみられた。	Ｄ－２４

令和５年５月（繁殖行動確認）

確認日	種　名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
6	ツバメ	舎人四丁目 個人宅駐車場	抱卵	（１）毎年繁殖している個人宅駐車場に、今年も営巣していた。 （２）ツバメが巣に入り、卵を温めていると思われる様子を確認した。	Ｃ－２１
6	スズメ	舎人氷川神社 舎人五丁目	営巣	（１）毛長川に沿った道路の電柱にある変圧器の下側から、何度も巣材を運ぶスズメの行動を確認した。	Ｃ－２１
7	ムクドリ	宮城一丁目 民家	餌運搬	（１）餌をくわえて、飛んでいった。	Ａ－８
9	シジュウカラ	見沼代親水公園 舎人五丁目	家族群 給餌	（１）見沼代親水公園のモミジの木に５羽の家族群を確認した。 （２）親鳥が虫を捕まえて、雛に与える様子を観察した。	Ｃ－２１
１０	スズメ	六木三丁目 電柱	雛の声 巣の出入り	（１）電柱トランスに親鳥２羽が出入りし、雛の声がした。	Ｅ－３６
１０	スズメ	大谷田一丁目団地 ４号棟	営巣	（１）４号棟の４の数字の横バーに、枯れ枝や藁状のものが詰め込まれていた。その下の壁面は、糞で白くなっていた。 （２）４の横バーの上には成鳥が４羽とまっており、そのうち２羽ずつが、周辺を行き来していた。	Ｅ－３１

令和５年５月（繁殖行動確認）

確認日	種　名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
１０	シジュウカラ	大谷田一丁目団地公園樹上 大谷田一丁目第三児童公園樹上	さえずり	（１）綺麗なさえずりが、良く聞こえた。	Ｅ－３１
１０	ツバメ	六木二丁目町工場軒先	営巣	（１）親鳥の姿もなく、さえずりも聞こえない。出勤した人に巣の状況を聞いたが「まだ巣立ちはしていないのでは」とのこと。しかし、気配を感じない。	Ｅ－３４
１１	ハシブトガラス	大谷田公園中央部クスノキ	営巣	（１）大きなクスノキの上部で確認はできないが、巣の上で他の鳥に対する威嚇行動が確認できた。（７月９日巣立ち後の巣を確認）	Ｅ－３２
１１	オナガ	大谷田公園北東　イチョウ	営巣 雛の声 給餌	（１）親鳥の給餌の様子が見られた。 （２）巣が高所にあるため、確認はできない。	Ｅ－３２
１１	キジバト	さかえ公園付近	営巣	（１）営巣場所までは確認できなかったが、木の枝を持って飛んでいるところを確認した。	Ｂ－１４
１１	スズメ	桜堤中学校前民家	営巣 雛の声	（１）雛の鳴き声が聞こえた。その民家のひさしにスズメが入っていった。	Ａ－９
１１	ムクドリ	柳原二丁目民家の戸袋	営巣 雛の声	（１）道端に落ちていた小さな長方形のビニールをくわえ、電線にとまる。しばらく様子を見て、近くの民家の戸袋に入った。	Ａ－９

令和５年５月（繁殖行動確認）

確認日	種　名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
１２	スズメ	花畑川桜木橋	巣の出入り 餌運搬	（１）信号機の上のパイプに、餌をくわえた親鳥が入っていった。	Ｅ－３６
１４	ハシボソガラス	花畑三丁目 正覚院前の電柱	営巣	（１）４月中旬、通勤路の電柱の下にプラスチックハンガー、木の枝が散乱していた。見上げると巣があった。その後２度ほど巣の中を確認したが、抱卵かどうかはわからず。 （２）しばらく親は見ない。 （３）５月１４日、望遠カメラで覗いてみたら、かなりの量の針金ハンガーがあった。停電の原因にならないか心配。	Ｄ－２８
１４	ツバメ	神明南一丁目 個人宅駐車場・壁	営巣 巣の出入り	（１）３月の調査では巣は無く、今回の調査で確認。	Ｅ－３７
１４	ツバメ	神明南一丁目 個人宅駐車場 天井丸型電灯上	営巣	（１）例年巣ができる場所だが、３月の調査では巣が無く、今回の調査で確認。巣の下に傘を逆さに開いて置かれ、車に糞が落ちないよう措置がされている。	Ｅ－３７
１４	スズメ	北加平町	交尾	（１）電柱に交尾中の２羽を確認。	Ｅ－３７
１４	ツミ	高道東公園 （西新井五丁目）	抱卵	（１）ツミが抱卵に入ったと思われる。	Ｂ－１４
１６	コゲラ	舎人公園	営巣	（１）巣穴からコゲラが顔を出したのを確認。	Ｃ－２０
１６	ツバメ	新田二丁目 民家	抱卵	（１）駐車場外壁の巣で抱卵していた。	Ａ－２

令和５年５月（繁殖行動確認）

確認日	種　名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
１６	ムクドリ	新田二丁目 民家	巣の出入り	（１）戸袋の隙間に出入していた。	Ａ－２
１６	ムクドリ	新田二丁目 民家	巣の出入り	（１）上記横の戸袋の隙間に出入していた。	Ａ－２
１７	オオヨシキリ	河川敷	さえずり	（１）６羽が河川敷の柳の木やアシ原でさえずっていた。	Ａ－２
１８	カルガモ	見沼代親水公園 古千谷本町三丁目	家族群	（１）親水公園の堀に、カルガモの雛９羽と親鳥を確認した。（５月２８日は雛が５羽しか確認できなかった。）	Ｃ－２１
２１	スズメ	千住緑町三丁目	営巣	（１）電柱の低圧引込接続箱に営巣していた。	Ａ－５
２１	ムクドリ	扇三丁目 工場	営巣 雛の声	（１）工場の屋根裏に２、３組が営巣しており、雛の声がした。	Ｂ－１１
２２	ムクドリ	荒川河川敷付近	餌運搬	（１）子育ての最中。忙しそうに虫をくわえて飛び交っていた。 （２）１羽のムクドリが飛び立った瞬間に大事な虫を落とし、再び草原に降りて虫を見つけ、無事に飛び立てた。	Ｂ－１２
２２	スズメ	荒川河川敷付近	巣立ち雛	（１）雛がサクラの木に１羽、クワの木に１羽。可愛らしかった。	Ｂ－１２
２２	スズメ	中川公園付近の歩道	営巣	（１）ハトの羽を拾って持って帰った。	Ｅ－３９
２２	ムクドリ	広場内の木のうろ 及び 民家の戸袋	給餌	（１）昆虫などの餌をせっせと雛に運んで給餌。雛の声があちこちで聞こえた。	Ｅ－３９

令和５年５月（繁殖行動確認）

確認日	種　名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
２２	スズメ	中川河川敷	営巣	（１）河川のヨシに捉まって、穂を５本くちばしで折ってくわえ、巣へ持っていった。	Ｅ－３９
２４	カイツブリ	舎人公園 大池	家族群	（１）親鳥に続く雛３羽を確認。	Ｃ－２０
２４	オナガ	高道東公園 （西新井五丁目）	営巣	（１）２組が営巣を開始した。	Ｂ－１４
２４	キジバト	高道東公園 （西新井五丁目）	営巣	（１）２組が営巣を開始した。	Ｂ－１４
２５	スズメ	江南公園	給餌 幼鳥	（１）成鳥が幼鳥に給餌。２組。	Ａ－８
２５	スズメ	氷川神社	さえずり 幼鳥	（１）成鳥が幼鳥に給餌。３組。	Ａ－８
２７	カルガモ	見沼代親水公園	家族群	（１）成鳥２羽が幼鳥４羽を連れていた。	Ｃ－１９
２７	スズメ	関原三丁目 電柱	巣の出入り	（１）電柱のボックスの穴から、スズメが出入りしているのを確認した。中に巣があると思われる。	Ｂ－１０
２７	ムクドリ	関原三丁目 民家	営巣 雛の声 巣内雛 給餌 餌運搬	（１）数日前から声がしていた。電線上で、餌をくわえた親鳥が、給餌しているのを確認した。 （２）アパート２階（無人）のサッシ上の穴に、雛３羽が顔を出して餌をねだっていた。	Ｂ－１０
２８	ムクドリ	白旗公園近隣 民家	営巣・給餌 雛の声 巣の出入り	（１）雛が１羽顔を出した。	Ｃ－２２
２８	ﾜｶｹﾎﾝｾｲｲﾝｺ	氷川神社	営巣	（１）木の洞から、顔を出していた。	Ｃ－２２

令和５年６月（繁殖行動確認）

確認日	種　名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
1	スズメ	帝京科学大学前信号機	巣内雛	（1）帝京科学大学前の信号機下の細い管の中に、親鳥１羽が出入りしていた。	Ｂ－１２
3 9 ２５ ２６ ２７	ツミ	高道東公園（西新井五丁目）	巣内雛 餌運搬 給餌 巣立ち雛	（1）３日付近に孵化したものと思われる。 （2）９日には雛が目視で確認できた（5羽）。 （3）２５日に雛が１羽巣から落ちてしまったが、自力で巣のある隣の木に登り、翌２６日には巣の付近に戻った。 （4）さらに翌２７日には、６羽すべての雛が、巣立った。	Ｂ－１４
7	ツバメ	新田一丁目民家	抱卵	（1）玄関の壁にある巣で抱卵。	Ａ－２
7	ツバメ	新田一丁目民家	抱卵	（1）上記玄関の壁に、もう一つの巣があり、抱卵している。	Ａ－２
7	ツバメ	新田一丁目民家	抱卵	（1）上記向かいの家の玄関の壁に巣があり、抱卵している。	Ａ－２
１１	ムクドリ	六木三丁目	給餌 餌運搬 幼鳥	（1）電線にとまった幼鳥に、親鳥２羽が何回も餌を運んで食べさせていた。	Ｅ－３６
１３	ハシボソガラス	神明六木遊歩道	雛の声 幼鳥 家族群	（1）樹上から幼鳥の鳴き声がしたので見ると、すぐに親鳥が飛んできた。威嚇はされなかったが、ずっとこちらの様子を見ていた。	Ｅ－３６

令和５年６月（繁殖行動確認）

確認日	種　名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
２４	オナガ	高道東公園（西新井五丁目）	巣立ち雛	（１）雛が巣から落ちてしまったが、自力で巣のある木に戻った。	Ｂ－１４
２４	キジバト	高道東公園（西新井五丁目）	巣内雛	（１）雛が、巣から顔を出しているのを確認。	Ｂ－１４
２７	カルガモ	舎人公園大池	家族群	（１）親鳥に続く雛１羽を確認。	Ｃ－２０

令和５年７月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
1	キジバト ムクドリ	（１）少し強めの湿った南風の中、出発。 （２）６時３５分。東方の厚い雲の隙間から太陽が顔を出し、暑い。西の空は黒っぽい雲。 （３）６時５５分。谷中公園で、気になる雨が降り出すが、９時までは、降水量予報０㎜だったので続行。 （４）７時２０分。空が少し明るくなって雨が止んだ。湿度が高いせいか、鳥たちはひと仕事済んで休憩中か。少し数が少なめに感じた。 （５）８時１０分。ビルのアンテナで縄張り宣言をしているキジバトを眺め、ムクドリが上空を横切るのを確認して終了。お疲れ様でした。	Ｅ－３８
1	オナガ	（１）小雨であったが、観察を実行した。 （２）オナガの鳴き声が、しょうぶ沼公園に響きわたっていた。	Ｅ－３３
2	スズメ カルガモ	（１）午前７時００分、神明南公園にスズメ５羽確認。同公園で清掃中の方と挨拶を交わす。 （２）午前７時１０分、神明南一丁目、スズメ２羽を確認。 （３）午前７時１５分、スズメ３羽確認。 （４）午前７時２５分、花畑川にカルガモ２羽確認。 （５）その後、スズメ確認が多く続き、定時調査終了。	Ｅ－３７
3		（１）１４種観察された。例年と同様、鳥の種類が少なかった。	Ａ－２
4	ムクドリ ハシボソガラス キジバト カルガモ カイツブリ コアジサシ ヒメアマツバメ ドバト アイガモ ハシブトガラス スズメ	（１）午前７時００分、舎人公園Ａ地区から調査開始。ムクドリ２羽、ハシボソガラス３羽、キジバト１羽を確認。 （２）午前７時２０分、Ｂ地区に入る。大池にカルガモの親１羽と子５羽、カイツブリ３羽、コアジサシ１羽、ヒメアマツバメ２０羽を確認。同池西岸にドバト５羽、アイガモ１５羽等確認。 （３）午前８時１５分、Ｃ地区に入る。ハシブトガラス１羽、ムクドリ２羽を確認。 （４）午前８時４０分、Ｄ地区に入る。スズメ５羽等確認。 （５）午前９時００分、舎人公園駅西側に到着。調査終了。	Ｃ－２０
5	ツバメ	（１）この地区には普段見られないツバメ２羽が観察された。巣は発見できなかった。 （２）蒸し暑い日で、全体に数、種ともに少なかった。	Ｄ－２５

令和５年７月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
5	ムクドリ	（1）ムクドリ２６羽の群れ。その内、若鳥５羽。 （2）ムクドリ２８羽の群れ。増えた！その内、若鳥１０羽。 （3）今年はヤマモモの実が当たり年の様で、６月中頃までアッチコッチでムクドリの姿と大声が聞こえました。 （4）東京拘置所脇水路で、数年、夏に見かけなかったコシアキトンボの姿を見ました。	Ｄ－２６
6	カワウ オナガ	（1）直前まで雨で、霧雨残る中の朝でした。晴れてくるのと同時に高いところから鳴き声がしていたが、姿は見えなかった。 （2）カワウはベルモント公園入口上空を西へ向かって行った。 （3）旧４号線脇で屋根にカラス、電柱にオナガがにらみ合いの様に向かい合っていた。 （4）ベルモント公園は池の清掃日で、周りに鳥が来なかった。人も少なかった。	Ｄ－２３
7		（1）外気温、３０℃。 （2）一部河川敷に、工事用土木車両あり。	Ｂ－１３
7	ハシボソガラス	（1）夏枯れ状態といったところで、種類・個体数ともに少なかった。 （2）ハシボソガラスが、パークゴルフ場の芝生でしきりに採食していた。遠くて、何を食べているかはわからなかった。	Ｂ－１０
8		（1）曇り。野鳥の影薄し。	Ｂ－１６
8	ツバメ スズメ ムクドリ	（1）朝から不安定な天気だったが、５時４０分に自宅を出て６時１０分に観察スタート地点に到着。霧雨模様だったが観察を始める。 （2）天候のせいか野鳥の観察数が極めて少ない。この春巣立ったツバメが目立った。六木二丁目町工場の営巣場所から佐野いこいの森と中川のエリアを元気に飛び回っていた。 （3）７時を過ぎ、曇り空も安定し人の出も多くなるとともに、スズメやムクドリの姿も見かけるようになった。	Ｅ－３４
8		（1）時折小雨の交じる曇り空です。	Ａ－６
9	ハシボソガラス ツミ スズメ ムクドリ	（1）ハシボソガラスが猫を威嚇して追い払っていました。 （2）ハシボソガラスがドバトを食べていました。 （3）ツミを観察しに数人がバードウォッチングしていました。 （4）最近スズメが少なくなりました。それに対してムクドリが増えた感じがします。	Ｅ－４０

令和５年７月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
9	スズメ ハシブトガラス	（１）晴れ。風弱く、朝から高温多湿。セミやウシガエルの声が大きく、鳥たちの声を頼りに探すことは難しい。 （２）スズメが２羽、畑の畝の間で砂浴びをしていた。 （３）ハシブトガラスが民家の庇と窓枠の隙間から、貯食していたものを取り出して食べていた。 （４）神明六木遊歩道に１．５ｍぐらいのヘビがいた（アオダイショウか、シマヘビ？）このあたりで時おり野鳥の羽だけが大量に散らばっているのを見かけるが、関係があるのか？	Ｅ－３６
9	ムクドリ スズメ	（１）昨日の観察に続いて今日も曇り模様で心配したが、雨が降ることも無く、６時１０分、大谷田公園を皮切りに観察を開始した。 （２）大谷田公園はムクドリ・オナガ・ドバトなどが多く見られるエリアで､今日もムクドリが多く草場で捕食していた。 （３）６時台はスズメの声はするものの、電柱の構造物や家屋に隠れている模様で、人が活動する時間になると頻繁に目撃できる。 （４）５月は工事中で閉園されていた柳原公園も、改修工事が終了し、通常通り開園されていた。また５月の調査日は平日の２日間（Ｅブロック・２エリア）で行ったので、今回は人出の少ない土日で実施しましたが、ゴミの回収が無いせいかカラスの数が極めて少なかった。	Ｅ－３２
１０	スズメ	（１）スズメの個体数が思ったよりあった。 （２）千草園の池にミシシッピアカミミガメがいた。誰かが放したのか…？	Ａ－９
１１	スズメ	（１）今月が２回目の観察でしたが、梅雨明け前の昨日から続く猛暑の影響か、あまり野鳥を見ることができなかった。 （２）飯塚橋歩行者用階段登り口の電柱の街灯設置用角パイプに、スズメの営巣を確認しました。	Ｅ－３１
１３	カルガモ アオサギ コサギ コアジサシ イソシギ	（１）仕事と潮目との兼ね合いで、猛暑予想日に観察調査。５月初めの調査日に比べると、冬鳥のいなくなった干潟はさびしい。それでもカルガモやアオサギ、コサギの他、コアジサシ、イソシギも観察された。	Ａ－１
１６		（１）暑い夏なので、いつもより３０分早めに調査をしました。結果はまずまずでした。	Ｄ－２７

令和５年７月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
１６		（１）熱中症警戒アラート発令中。種数はまずまずですが、個体数はいつもより少ない感がする。純毛に包まれた野鳥たちは大変でしょう。	Ｄ－３０
１９	カルガモ カワウ ハシボソガラス カワラヒワ	（１）気温の高い日が続いていますが、見沼代親水公園から調査を開始し、５月の調査とは別に２組のカルガモの繁殖を確認しました。 （２）毛長川では河川工事が継続されていますが、工事区間の下流でカワウが移動しながら餌を探していました。また、上流ではカルガモを観察しました。 （３）舎人四丁目公園では、ハシボソガラスの親子がセミを捕らえて与えている様子を観察しました。 （４）舎人緑道公園に接する舎人第一小学校にある木から、野鳥の雛と思われる声が聞こえたので暫く観察していると、木の上で雛に給餌するカワラヒワを観察しました。	Ｃ－２１
１９	カワウ トビ	（１）暑さの続く中で、曇り空でやや気温が低い日を選んでのモニターとなりました。 （２）カワウが盛んに魚を追っていましたが、すぐに上がって来ます。まるで入れ食い状態なのでしょうか。 （３）トビを久しぶりに見ました。扇大橋近くの杭に止まり直ぐに飛び去りましたが、近くで見るとかなりの大きさでした。	Ｂ－１７
２１		（１）比較的涼しい日。曇り、東の風１、セミもあまり鳴いていない。ギンナンの実が青いが、もう大きくなっている。	Ａ－４
２２	ムクドリ スズメ オナガ	（１）耕作した畑でムクドリとスズメが群れて餌を探していた。 （２）いつも群れでいるオナガが、珍しく単独でいた。	Ｂ－１１
２３	オナガ	（１）ここ数日の酷暑に比べ、朝は比較的涼しい日でした。 （２）オナガが、非常に元気に飛び回っていました。	Ｄ－２４
２３		（１）９時開門の都市農業公園では暑さも影響してか、ヒヨドリ、ムクドリすら姿を見せなかった。	Ｃ－１８
２３	シジュウカラ	（１）シジュウカラの雛がトコトコと歩いて、木の根っこにしがみついた。くちばしもまだ黄色く、とても可愛かった。親鳥は、木の上で鳴いている。	Ｄ－２８
２４	アマツバメ	（１）雲一つない青天でした。荒川は穏やかに流れて、水がきれいに見えました。 （２）アマツバメに会えて、懐かしく思いました。	Ｂ－１２

令和５年７月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
２６	スズメ	（１）連日猛暑日が続いています。本日も快晴で早朝から暑さを感じました。風はなく、夏のラジオ体操会に集まった人の声が集合住宅に響いていました。 （２）野鳥の種類、個体数とも少なく、スズメのみ活発に飛び回っていました。 （３）ツバメも巣立ったようで、千住大橋駅ガードや政和自動車内の巣も空でした。 （４）後半は日射が強く、日陰を出ないスズメも見かけました。夏本番の雰囲気でした。	Ａ－５
２９		（１）朝から強い日差しに気温も上昇。鳥の数も少なかったです。うっそうと繁る神社は、カラスたちの憩いの場所となっていたようです。	Ｃ－２２
２９	ドバト	（１）雨らしい雨がなく、連日暑い日が続いている。鳥たちは、どこでどうしているものか。 （２）強い日差しの中、ドバトだけは団体で見かけた。３カ所の公園で…、８羽、１６羽、１２羽。	Ｄ－２９
３０		（１）とにかく暑くて、鳥もいない。	Ｅ－３５

令和５年７月（繁殖行動確認）

確認日	種　名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
4	カルガモ	見沼代親水公園 古千谷本町三丁目	家族群	（１）親水公園の堀で７羽の雛と親鳥を確認した。 （２）７月１９日の観察で雛は４羽しか確認できなかった。（５月の繁殖報告とは別の家族群）	Ｃ－２１
5	スズメ	柱上トランス下	給餌	（１）親が近づくと鳴き声。 （２）交互に給餌して、忙しそう。	Ｄ－２６
5	ムクドリ	五反野コミュニティ公園	幼鳥	（１）２８羽の群れの内、幼鳥が１０羽。	Ｄ－２６
7	シジュウカラ	竹の塚六丁目	巣内雛 巣立ち雛	（１）ケヤキに２羽が入り、親鳥は食べ物を見つけて、給餌していた。	Ｂ－１２
8	ツバメ	六木二丁目 町工場軒先	巣立ち雛	（１）５月度に営巣報告をした工場の軒先だが、巣立ちも終え、巣を起点に周辺の地域を元気に飛んでいた。 （２）１５羽程度確認。	Ｅ－３４
8	コアジサシ	荒川河川敷	幼鳥	（１）幼鳥が飛んでいた。	Ａ－６
8	セッカ	荒川河川敷	さえずり	（１）河川敷で久しぶりにさえずりを聞いた。	Ａ－６
9	オナガ	大谷田公園北東部 イチョウ	幼鳥	（１）５月に確認した巣も、現在は使われていない様子。 （２）幼鳥が確認できた。	Ｅ－３２

令和５年７月（繁殖行動確認）

確認日	種　名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
１１	スズメ	大谷田一丁目団地４号棟	巣の出入り	（１）５月に確認した大谷田一丁目団地４号棟の４の数字のところの巣は健在で、成鳥が２羽、出入りを繰り返していた。	Ｅ－３１
１１	スズメ	飯塚橋陸橋 階段上り口付近 街灯設置用 角パイプ	巣の出入り	（１）２羽の成鳥が、行き来していた。幼鳥の確認はできなかったが、角パイプの中は電線で、かなり狭そうだ。	Ｅ－３１
１１	スズメ	マーケット 隣接駐車場 ２階　広場	さえずり	（１）出発時点の６時３０分には、かなりの数のスズメのさえずりが聞こえた。 （２）終了時の８時３０分の段階では、暑さのせいか、殆どさえずりが聞こえなかった	Ｅ－３１
１９	カルガモ	見沼代親水公園 古千谷本町四丁目	家族群	（１）親水公園の堀で６羽の雛と親鳥２羽を確認した。（５月及び７月４日の繁殖報告とは別の家族群）	Ｃ－２１
１９	カワラヒワ	舎人第一小学校	雛の声 巣立ち雛 給餌 家族群	（１）舎人緑道公園に隣接する舎人第一小学校の敷地にある樹木で雛の鳴き声を聞き、暫く観察すると、木の上でカワラヒワの雛３羽を確認した。 （２）雛に給餌する様子も確認した。	Ｃ－２１

令和５年７月（繁殖行動確認）

確認日	種　名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
１９	ハシボソガラス	舎人四丁目公園	給餌 家族群	（１）公園の草むらに３羽の幼鳥と親鳥を確認した。 （２）親鳥がセミを捕らえて雛に与えている様子を確認した。	Ｃ－２１
２２	カルガモ	見沼代 親水公園内の川	家族群	（１）成鳥１羽が幼鳥（成鳥の半分くらいの大きさ）２羽を連れていた。 （２）成鳥１羽が、幼鳥（とても小さくて生まれてそれほど経っていなさそう）７羽を連れていた。 （３）成鳥１羽が、幼鳥（とても小さくて生まれてそれほど経っていなさそう）６羽を連れていた。	Ｃ－１９
２４	ハシブトガラス	荒川 街灯の上	家族群 幼鳥	（１）子どもが２羽、大きな声で鳴いていた。親鳥を待っていたようだ。親鳥が子どもの前を素通りすると、大きな子どもは気づいてすぐに後を追った。 （２）赤ちゃんカラスは、２羽が飛んで行った方向をしばらく見ていた。	Ｂ－１２

令和５年９月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
2	キジバト オナガ スズメ	（１）西空に薄く消えそうな大きく丸い月、東に真夏の熱い太陽の下、キジバトの鳴き声を聞きながら出発。 （２）草むらでは、大分前から２種類以上のコオロギの声。日の当たる所は暑さがきついが、７時少し前から弱い東風が吹き出して心地良い。８月半ば過ぎから咲き出したサルスベリの花があちこちで満開。 （３）８時１５分、北三谷公園でオナガ、キジバト、スズメ、ツクツクボウシの声を聞きながら、終了。 （４）６時前は、鳥の声が聞こえて期待できたが、観察を始めてから終わりまで、途中ほとんど声が聞こえず、木の枝の間や、電線、アンテナ、電柱のトランス回りなど、とまっていそうな所や、大きな木の葉陰の枝から枝に移動している鳥の姿を見つけるしかなかった。７、８カ所、鳥の鳴き声が聞こえる所では嬉しくなって、姿を見つけようと暫く頑張った。	Ｅ－３８
2	スズメ ムクドリ ハシボソガラス ツミ	（１）風の無い穏やかな日でした。 （２）スズメが少なく、ムクドリが多かった。ハシボソガラスが少なかった。 （３）ツミ２羽は、５月、７月には野球場近くで観察しました。今回は東綾瀬温水プール近くで２羽を観察しました。	Ｅ－４０
3		（１）日中暑い日が続いているが、ツクツクボウシやカネタタキ、エンマコオロギなど秋の昆虫が鳴き始めた。野鳥が少なかったのは、残念だった。	Ｅ－３３
7	スズメ ハシボソガラス	（１）中間付近の草むらから、スズメが３ｃｍくらいの緑色のバッタをくわえて土手下の道路に飛び出してきた。何度かバッタをつつき、土手を超えて市街地に飛び去った。 （２）西新井橋沿いの荒川を挟んだ高圧鉄塔間の一番にある架線に、ハシボソガラスが８羽とまっていた。川面から約３０ｍはあり、風が吹くと揺れて不安定なため、なぜわざわざ高い所にとまるのかと思った。	Ｂ－１０

令和５年９月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
９	ムクドリ ドバト スズメ シジュウカラ	（１）早朝霧雨だがスマホ天気予報では曇り、調査地へ向かう。途中、ムクドリとスズムシの声がして寂しげである。 （２）午前７時００分、神明コミュニティ広場から調査開始するも鳥の姿なし。 （３）午前７時２５分、３つ目の公園、雪見公園でカワラバト（ドバト）４羽確認。 （４）午前８時５５分、神明コミュニティ広場に到着して見回すとスズメ１１羽、シジュウカラ１羽、カワラバト１羽を確認。雨が降り出す。定時になり調査終了。	Ｅ－３７
１０	スズメ ムクドリ ドバト シジュウカラ オナガ ﾜｶｹﾎﾝｾｲｲﾝｺ コゲラ ｾﾝﾀﾞｲﾑｼｸｲ	（１）残暑が厳しく、カラスやスズメが木の中で動かず暑さを凌いでいた。ムクドリとドバトが一緒に日陰の地面をつついて食事していた。カラスもスズメもムクドリもシジュウカラも、幼鳥が混ざっており、まだ親鳥にねだる姿もみられたが、だいぶ自分で餌をとっていた。 （２）オナガが騒がしく鳴いていたが、公園の外の住宅街にいるようで姿は見えなかった。 （３）ワカケホンセイインコが、鳴きながら頭上を通り過ぎた。 （４）シジュウカラも家族が結構いて、移動してご飯を食べていたのをついて歩いたら、コゲラも来たので、コゲラの写真を撮ろうとしたら、その下にセンダイムシクイが静かに混ざって食事をしていたのでびっくりした。はじめ小さくておなかが白くてグリーンぽい羽が見えて、メジロももう混群に混じっているのかと思ったら、目がウグイスみたいで下くちばしが黄色くて細いのが見えたので、こんなところにムシクイが、と慌ててシャッターを切ったが、かわいい顔は撮れずおなかばかりが撮れた。頭のてっぺんに線があったので、センダイムシクイだと思います。 （５）今月２週目３週目に、またシジュウカラに混ざって、コサメビタキ、キビタキ（メス）、サンコウチョウがいて目の前でフライングキャッチを繰り返し、とても感動しました！私は初めて見たのですが、こんな低い木の、開けたところへも寄るのだと感動しました。 （６）他に鳥見している女性がいて、毎年エゾビタキやハヤブサ、ハイタカ、チョウゲンボウも来ると教えてくれ、中川での鳥見が更に楽しみになりました。	Ｅ－３９

令和５年９月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
１０	オナガ カワセミ アオサギ カイツブリ ムクドリ シジュウカラ	（１）午前７時００分、舎人公園Ａ地区から調査開始。 （２）午前７時０５分、レーガン桜付近でオナガの鳴き声。市街地と違い樹木が多く双眼鏡を使い、さらに正確を期するため近寄り、オナガ５羽確認。 （３）午前７時１５分、Ｂ地区に入る。 （４）午前７時４５分、大池東岸にカワセミ１羽、アオサギ１羽、カイツブリの幼鳥２羽確認。カメラマン３名がカワセミを撮影していた。 （５）午前８時１０分、Ｃ地区に入る。ムクドリ２０羽、オナガ３羽、シジュウカラ２羽確認。 （６）午前９時００分、舎人公園駅西側に到着。調査終了。	Ｃ－２０
１０	スズメ ムクドリ	（１）朝５時３０分に自宅を出発。ウォーキングコースで彩を添えていたサルスベリの花も、台風１３号の影響で幾分華やかさを欠いている。 （２）６時に調査起点に到着。先日より、土手の草刈りが始まり、コースの半分程度（起点～佐野いこいの森）が除草を完了している。野鳥観察にも期待が持てそうだ。 （３）電柱のトランス部分にスズメが多く見受けられる。 （４）ゴルフ練習場の芝生にムクドリが２０羽程捕食している。 （５）中川と花畑運河の内側の造成地にスズメを４０羽程見かける。大雨の後のミミズなどの捕食と思える。 ※　花畑運河にはアオコや藻が大量発生している。河川工事の影響か。 （６）７時を過ぎ六木二丁目の住宅街に入ると、鳥の姿、鳴き声が消え発見できない。７月の調査時にツバメで賑わっていた工場も閑散としている。佐野いこいの森のカラスさえ鳴き声がしない。不気味なくらい静かな日曜の朝だ・・・。カラス、オナガが１羽も確認出来なかったのが不思議である。	Ｅ－３４
１０	シジュウカラ	（１）９月になっても朝から暑い。暑さのせいで人出も少ない都市農業公園だが、野鳥の数も少なく、シジュウカラが梢を飛び交う姿が目立った。	Ｃ－１８
１１	ガビチョウ	（１）曇りのち晴れ。早朝６時から観察した。蒸し暑く、不快な汗をかいた。 （２）鳥の種類（１５種）も、数も少なかった。 （３）河川敷のベンチで、ガビチョウ２羽が観察された。	Ａ－２

令和５年９月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
１１	ムクドリ オナガ スズメ ハシボソガラス	（１）５時３０分、自宅を出発。調査起点の大谷田公園に５時５５分到着。公園南側の広場は雑草が伸び放題といった感じ。 （２）虫の音に背中を押され調査開始。ハトやムクドリは雑草を避け、草の少ない木陰で採食していた。オナガは公園北側門近くのイチョウの木（営巣場所）を起点にムクドリなどを威嚇しながら、エノキの実などを忙しなく食べている。 （３）公園を後にして調査コースを進む、スズメを数羽見かける程度でさえずりも無く静かだ。 （４）柳田公園に着くが相変わらず鳥の姿がない。 （５）気を取り直して郷土博物館に向かう。本格的に工事が始まり、正面口はフェンスで囲まれているが、南側外周でムクドリが数羽、賑やかに採食していた。 （６）中川に向かう途中の老人介護施設の給食施設（別棟）の残飯置き場で４羽のハシボソガラスを見かける。 （７）中川土手下人家で庭先のイチジクの木に大量（４０羽以上）のムクドリがいて、旬のイチジクを食い荒らしていた。	Ｅ－３２
１２		（１）今朝の気温３０℃。一部河川敷、工事箇所あり。	Ｂ－１３
１２	スズメ ヒヨドリ オナガ ムクドリ	（１）荒川の空に白くて大きい雲が浮かんでいました。荒川は静かに流れていました。小鳥たちは暑い中ですが、多くいました。 （２）スズメ、ヒヨドリ、オナガ、ムクドリは、思いのほか多くいました。草の中に入ったり、木の枝にとまったり、可愛らしい姿を見ることができました。	Ｂ－１２
１３	ムクドリ	（１）相変わらずの暑い朝、大潮の引き潮に合わせて河川敷を調査。 （２）サギ類は３種観察できたが、期待したシギ類は２羽がすぐ飛び立ち特定できず。ムクドリが干潟を占めていた。	Ａ－１
１３		（１）連日猛暑の記録更新の日々、鳥がいない！！	Ｄ－２６
１３	ダイサギ	（１）快晴。９時ですでに３０℃越えの体感。グラウンドの利用者無し。人影も鳥の姿も少ない。ダイサギが目立った。	Ｂ－１６

令和５年９月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
１４	スズメ	（１）南は青空、北は白い雲、上空は灰色雲から陽が見える。ベルモント公園入口、ギーギーと小さい声。鳥か虫か、不明。サボテンの黄花ユーカリ、デイゴの赤花。 （２）ベルモント公園のオリーブの樹に、スズメ１０羽程度の群れが、近くの屋根に移ったり、また戻ったりしていた。オリーブは実をつけていた。食べるのかは確認できず。スズメを見つめるのに時間を使った。	Ｄ－２３
１７	イソヒヨドリ チュウサギ	（１）イソヒヨドリが足立区で見られるということは、モニターの方から聞いていましたが、実際に自分の調査地域で観察したのは初めてです。 （２）イソヒヨドリの、短いさえずりも聴けました。チュウサギも珍しいと思います。	Ａ－６
１７	スズメ ムクドリ ﾜｶｹﾎﾝｾｲｲﾝｺ	（１）スズメの小さな群れが、多く見られた。 （２）ムクドリが、電線に群れてとまっていた。 （３）ワカケホンセイインコが、鳴きながら上空を飛んでいった。	Ｂ－１１
１７		（１）猛暑が続いているせいでしょうか、個体数が少なく感じました。	Ｄ－３０
１７	ﾜｶｹﾎﾝｾｲｲﾝｺ	（１）鳴き声が珍しい、ワカケホンセイインコを見ました。	Ｄ－２７
１７	ムクドリ	（１）全体に、暑さのためか種類、数とも少なかったです。 （２）公園でムクドリが餌をあさっていました。	Ｄ－２５
１８	オナガ	（１）周辺の環境変化によるのか、最近オナガが観察されるようになった。	Ａ－８
１９		（１）朝から日差しが強く暑い。鳥、いません。	Ｂ－１５
２０	スズメ シジュウカラ	（１）柳原一、二丁目の桜並木を歩くも、鳥の姿、声全くなく、気配も感じられなかったが、柳原稲荷神社近くでスズメ１５羽たむろしていたのと、シジュウカラの鳴き声が聞こえてきた。 ※　対岸にダイサギ２羽（国土交通省綾瀬排水機場前）	Ａ－９
２２		（１）今月が３回目の観察でしたが、猛暑続きの影響か、ほとんど野鳥を見ることが出来なかった。今日は、３０℃を久しぶりに下回る気温でしたが、残念ながら、野鳥を見ることは出来ませんでした。 （２）以前、確認できた巣からの成鳥の出入りは、確認できませんでした。	Ｅ－３１

令和５年９月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
２４		（１）やっと猛暑が去ったので実施。曇り、北の風１くらい。富士山をはじめ筑波山、日光、関東の山々が見えるので、空気は乾いている。気温は２０℃を少し越したくらいか。 （２）ギンナンの実が落ちている。河川敷にはヒガンバナが咲いていた。後半から晴れて少し暑くなってきた。 （３）日曜日に実施したので、河川敷では朝からスポーツを楽しむ人が多く、野鳥はあまり見られなかった	Ａ－４
２４	アオサギ ドバト ハシブトガラス	（１）曇り、風弱く、湿度低い。ようやく少し涼しくなってきたが、まだ野鳥の数は少ない。 （２）アオサギが垢川の柵にとまっていたが、ランニングしている人がやってくると、中川の方へ飛び立ってしまった。 （３）垢川の平成泉橋で、パンくずを撒いている人がいた。すぐにドバトとハシブトガラスが何羽も集まってきたので、定期的に行っているのかもしれない。 （４）花畑川の月見橋と桜木橋近くの水面が、アオコで一面緑色になっている。この辺りには野鳥は全くいない。工事で一部埋められているからか、猛暑の影響なのか？	Ｅ－３６
２４	スズメ	（１）久々の涼しさを感じた朝！種は少なく淋しいかぎり…。 （２）半分くらい歩いて「スズメが一羽もいなかった…。」と、文教大学に入り、本日初の「スズメさん」に会う。	Ｄ－２８
２５	カルガモ カワラヒワ アオサギ カワウ ダイサギ	（１）今年は猛暑が続きましたが、ようやく秋の気配が見え始めた本日調査を実施しました。 （２）見沼代親水公園から調査を開始してカルガモ１８羽を古千谷本町で、１羽を舎人五丁目で観察しました。この中には今年繁殖した少し小さめのカルガモも確認しました。 （３）カワラヒワは毛長川沿いの電線で２羽、毛長緑道では群れを確認しましたが、枝の中で動き回っており確認できた数は６羽でした。 （４）毛長川では工事用の杭にアオサギ、カワウ２羽を確認し、川沿いの電柱でカワウ、更に上空を飛翔するダイサギ２羽観察出来ました。	Ｃ－２１
２５		（１）暑さ寒さも彼岸までとはよく言ったもので、秋風と虫の声を聞いてのモニターとなりました。 （２）この時期としてはまあまあの、鳥の種類も数も、観察することが出来ました。	Ｂ－１７

令和５年９月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
２５	キジバト	（１）数日前より涼しくなりましたが、蒸し暑さを感じました。風がある朝でした。 （２）野鳥の種類も個体数も前回７月より少なかったです。カモメ類も観察できませんでした。キジバトのみ、いつもより多い印象でした。	Ａ－５
２９		（１）彼岸は過ぎたというのに、暑さは続きそう。長い夏…。今日も真夏日となりそうである。ようやく咲き始めたヒガンバナが高く青い空に映え、風は爽やかである。なのに…、鳥たちはどこへ行ってしまったのか、まるで見当たらなかった。	Ｄ－２９
２９		（１）いつまでも暑い。鳥も少ない。異常気象の影響でしょうか？	Ｅ－３５
３０		（１）朝晩は涼しくなってきたため、小鳥たちも元気そうだった。	Ｄ－２４
３０		（１）まだ暑さが残る日で、鳥の姿も数も少なく、寂しい一日でした。	Ｃ－２２

令和５年９月（繁殖行動確認）

確認日	種　名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
１０	カルガモ	見沼代 親水公園内の川	家族群	（１）成鳥１羽が幼鳥３羽を連れていた。	Ｃ－１９
１２	スズメ	荒川土手	巣立ち雛	（１）サクラの木の中で、雛１羽が親鳥１羽から食べ物をもらっていた。	Ｂ－１２
２８	オナガ	竹の塚六丁目	幼鳥	（１）オナガ数羽がケヤキの中で賑わっていた。 （２）幼鳥の写真を撮ることができた。	Ｂ－１２

令和５年１０月（繁殖行動確認）

確認日	種　名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
１１	オナガ	竹の塚六丁目	巣立ち雛	（1）雛１羽、ケヤキの上で羽を震わせながら親鳥を待っていた。	Ｂ－１２

令和５年１１月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
2	ヒドリガモ ハシビロガモ コガモ キンクロハジロ クイナ バン オオバン タシギ オシドリ オオタカ ジョウビタキ アオジ ツグミ ウグイス メボソムシクイ上種 メジロ シジュウカラ ツツドリ	（１）今年は１０月末まで暑い日が続いていましたが、１１月に入り、朝夕の気温は秋を感じるようになりました。 （２）大池周辺から観察を始め、冬に飛来する水辺の鳥は、大池でヒドリガモ、ハシビロガモ、コガモ、キンクロハジロ、クイナ、バン、オオバン、タシギを確認しました。 （３）自然観察園（バードサンクチュアリ）ではコガモを、舎人公園では非常に珍しいオシドリを、観察しました。オシドリを狙って、オオタカの幼鳥が急降下して近づく行動を２回見ましたが、オシドリは水に潜って回避していました。 （４）水辺以外では、ジョウビタキ、アオジ、ツグミ、ウグイスを観察出来ました。また、秋の渡りの立ち寄りと思われる、メボソムシクイを、メジロやシジュウカラの群れと共に観察しました。 （５）桜広場で、例年は１０月末には姿を見られなくなるツツドリが、地面に降りて虫を捕る様子を観察しました。	Ｃ－２０
3		（１）ようやく秋の景色になり、鳥の声も元気に聞こえます。足元の草に朝ツユ。秋ではなく初冬かな。	Ｄ－２６
3	ドバト	（１）快晴。風なし。満潮。 （２）グランドに、モグラの穴多し。 （３）ドバト以外、鳥の影は少なかった。	Ｂ－１６
3	モズ ハクセキレイ	（１）中央付近の広場の川沿いの木の頂上に、モズ（オス）が１羽とまっていた。 （２）ハクセキレイが、飛びながら逃げるもう１羽のハクセキレイを執拗に追い回していた。あおり運転の車が、前の車にギリギリまで近づいて、追跡しているかのようだった。	Ｂ－１０
3	メジロ シジュウカラ ハクセキレイ ドバト	（１）メジロ、シジュウカラ、ハクセキレイと、数は少ないけれど、いつもより多い種類が見られた。 （２）ドバトの大群が上空を飛んでいたが、正確数はわからず、約３５羽とした。	Ｄ－２５

令和５年１１月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
4	ヒヨドリ ハシブトガラス シジュウカラ スズメ カルガモ	（1）明るくなったのを確認して、出発。１１月だというのに心地良い空気の感じ。 （2）ヒヨドリとハシブトガラスの声が聞こえる中、鳥の姿を探すが最初の数分は見えず。声のする方を探して漸く、ヒヨドリ発見。その仲間たちが、近くで飛び交っていた。 （3）直ぐに、シジュウカラの姿を確認して、今日はいろいろな種類に会えるかも知れない、と期待して先に進む。 （4）ハシブトガラスは２羽とか数羽で行動している感じだった。 （5）葛西用水親水公園の木々の間で、スズメの声を頼りに姿を探したが、木の葉が多くて見つけにくかった。家の屋根付近や電柱のトランス付近などで、何とか見ることはできた。 （6）東和親水公園では、カルガモが１３羽戻っていた。１２月になると２０羽以上になると思われる。 （7）公園や街路樹の木の葉がまだ多く残っていて、鳥の姿を見つけきれなかった。野鳥モニターには気持ちの良い朝だったが、気候不順が心配になる。	Ｅ－３８
4	イソヒヨドリ	（1）１７種観察された。 （2）河川敷でイソヒヨドリのオスとメスが数日前から認められ、今日も同じ場所でオスが杭にとまっていた。 （3）１１月６日に、ジョウビタキのオスとメスも同じ場所で認められた。	Ａ－２
8	カルガモ オオバン コガモ アオサギ ヒヨドリ	（1）見沼代親水公園から調査を開始し、初夏に繁殖した若鳥を含めて、カルガモ８羽を確認しました。 （2）毛長川では河川工事が継続して行われていますが、境川部屋近くでオオバンと新砂子橋付近でコガモ２羽を観察しました。また、川の上をアオサギが下流方向に向けての飛翔を観察しました。 （3）舎人緑道公園の木々には赤や青に色づいた実が多く、ヒヨドリが飛び回り食べていました。	Ｃ－２１
１０	ユリカモメ オオバン マガモ	（1）千住桜木自然地の干潟に、多くのユリカモメが来ていました。近くで観察していた人によると、３日ほど前から集まり始めたとのことでした。小台地域の部分だけでも４０羽はいました。 （2）オオバンは１０羽以上、マガモも４羽観察できて、季節の移り変わりを感じます。	Ａ－１

令和５年１１月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
１１	カワウ オオバン ハシブトガラス スズメ ムクドリ	（１）５時４０分自宅を出発、気温は１３℃、曇り空で風が強い。立冬も過ぎ、初冬の寒さが身に沁みる。冬支度で正解だ。 （２）６時１０分から調査開始。辺りは薄暗く、川面は波が立っていて鳥の気配は感じない。 （３）波の中にカワウとオオバンを発見。中川土手沿いを花畑運河に向かって歩みを続ける。 （４）大谷田から佐野地区は燃えるゴミの収集日のせいか、ハシブトガラスが目立つ。 （５）ゴルフ練習場のネットに２０羽程のムクドリがいた。ムクドリにとっては芝での虫の捕食と、護身のネットが良い環境なのか？ （６）９月にイヌムギ等の雑草で覆われていた空地も整地され、スズメやムクドリの姿を見る事が出来なかった。７時過ぎに六木二丁目の住宅地に着いた頃から、スズメの姿を多く見かける様になった。やはり人間との共生を感じる鳥だ。	Ｅ－３４
１２	ウグイス	（１）気温１０℃、霧雨、曇り。河川敷一部土木作業中。 （２）ウグイスの地鳴きが多い。	Ｂ－１３
１２	ヒヨドリ ツグミ オオバン	（１）途中細かい雨が降ってきた。「ヒヨドリ祭り」だった！ （２）冬鳥は「ツグミ」が初お目見え。河も「オオバン」のみで淋しい！	Ｄ－２８

令和５年１１月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
１３	ヒヨドリ ムクドリ ハシボソガラス キジバト シジュウカラ スズメ カワウ オナガ	（１）６時に自宅を出発、気温は８℃だが風も無く、雲間より日が差して暖かく感じる。 （２）６時３０分、起点の大谷田公園から調査開始。ヒヨドリの一声から始まり、ムクドリ、ハシボソガラスと期待が膨らんだが、後が続かず３０分ほど公園内の観察を続ける。 （３）夏場に撤去されたクスノキのカラスの巣が、また同じ木に枝を変えて作られている（撤去予定の掲示あり）。 （４）また、キジバトの巣が、梅園横の藤棚とバーベキュー施設内の梅の木にあり、キジバトを確認したが、繁殖行動は見られなかった。 （５）大谷田公園を後にして観察を続ける。谷中住区センターの植え込みで、担当エリアで初めてのシジュウカラをペア？で確認した。 （６）大谷田五丁目に差し掛かった７時３０分頃から、スズメの姿を見かける様になった。 （７）風も無く穏やかな中川沿いの観察を始めるが、カワウが２羽のみ。 （８）終了地点の大谷田公園に戻ると、調査開始時に見られなかったオナガを８羽確認。ヒヨドリの飛来に伴い活動時間が変わったのか？調べてみたい。	Ｅ－３２
１４		（１）今回の調査ではどういう訳か、カラスが全く確認されなかった。	Ｂ－１４
１６	スズメ	（１）夜明けが遅くなり、少し遅く始めた。声の方を頼りに樹の下から見つけることが多かった。 （２）スズメがトランスに２羽、電線をカバーする丸筒に３羽が出たり入ったり。繁殖行動としては確認できず。 （３）第四中学校のピラカンサの赤い実が、たわわになっていた。工事中のためか、鳥たちはいなかった。	Ｄ－２３
１８	オカヨシガモ スズガモ	（１）河川敷の工事が終了して、僕の担当地域に２つのワンドができました。これはすごく嬉しい！ （２）オカヨシガモのオス２羽と、スズガモのメス１羽を観察しましたが、これは当地初記録だと思います。 （３）満潮だったので水際に近づけませんでした。ヨシ原の陰にカウント漏れのカモがいる可能性高いです。種類豊富で楽しい調査でした。	Ａ－６

令和５年１１月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
１８	ハシボソガラス	（１）晴天。ハシボソガラスがいつもより少なかった。 （２）ツミは見つかりませんでした。	Ｅ－４０
１９	モズ ムクドリ	（１）モズを久しぶりに見ることができた。（以前見られた同じ場所。畑の跡地のカキの木。） （２）ムクドリが電線に群れてとまっていた。	Ｂ－１１
１９	ヒヨドリ	（１）この一週間ぐらいの寒さで、イチョウなどの紅葉が進んだ。 （２）今日も冬の訪れを誘う如く、ヒヨドリが盛んに鳴いていた。	Ｅ－３３
１９	スズメ オナガ ハシブトガラス シロハラ	（１）１１月に入って一気に寒くなり、秋を通り過ぎて冬になったような気候です。調査コース全体を通して、各所に紅葉が見られます。特に、ケヤキの黄色とサクラの赤茶色のコントラストが綺麗です。また、どのエリアもスズメのさえずりが聞こえて気持ちよかったです。 （２）中川沿いのカキの実を２０羽程のオナガが突いていました。そこへハシブトガラスが１羽やってきましたが、オナガは素知らぬ顔で食べ続けていました。 （３）調査の最後のエリアで、シロハラが「チーチー」と鳴いていました	Ｅ－３１
２１	トビ	（１）１１月と言うのに暖かい日が続き、その中でのモニターとなりました。この時期としてはカモ類の数が少なく、また小鳥の数も少ない感じでした。 （２）トビが扇大橋のワンドから飛び去り、その大きさはかなり迫力がありました。	Ｂ－１７
２２		（１）冬の入り口という感じの、空気がスキッとした朝でした。 （２）小鳥たちもフワっとまるくなっている個体がおり、寒くなってきたなと実感しました。	Ｄ－２４
２２	ムクドリ ヒヨドリ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カンムリカイツブリ イソシギ イソヒヨドリ モズ ツグミ	（１）空の色は青く、荒川は薄い水色と白い線が混じり、素敵な風景でした。小鳥たちは多くいました。ムクドリ、ヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カンムリカイツブリ、イソシギ、イソヒヨドリ、モズ、ツグミ。うららかな小春日和に調査ができました。 （２）調査終了後、カメラを見ると、猛禽が写っていました。一見羽を広げて飛んでいるように見えますが、片方右の羽は水の中、左の羽はピンと高く伸びていました。写真の撮影が良くないため、種類は確認できませんでした。	Ｂ－１２

令和５年１１月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
２２	アオジ カシラダカ	（１）やっと冬鳥が揃い始めましたね。アオジ、カシラダカはともに１羽しか目撃できませんでしたが、絶対もっといるでしょうね。	Ｂ－１５
２２	メジロ ジョウビタキ	（２）快晴の静かな朝でした。手が痛くない程度の寒さでした。冬ガモが到来し、陽射しがあるところでは野鳥の活動が活発でした。 （３）千住神社では拝殿前の樹木から小さなつぶやきのようなさえずりが聞こえ、メジロが飛び込んだタイミングでジョウビタキのメスが出てきました。	Ａ－５
２３	ハシボソガラス ハシブトガラス ジョウビタキ	（１）ハシボソガラスとハシブトガラスの両方が確認されました。 （２）ジョウビタキは１年ぶりの確認でした。	Ｄ－３０
２３	ヒヨドリ メジロ	（１）ヒヨドリが賑やかでした。 （２）メジロは久しぶり。季節を感じました。	Ｄ－２７
２４	メジロ	（１）熟したカキの実を、メジロが啄んでいる様子が、とても可愛らしかったです。	Ｅ－３５
２４		（１）快晴、風弱し。紅葉したサクラの葉がたくさん落ちていた。太陽を背に歩いていると暑くなる。今夜から寒波が来るという予報だが、やはり暖かい秋のように感じる。	Ａ－４
２４	カワウ キンクロハジロ マガモ オオバン ﾜｶｹﾎﾝｾｲｲﾝｺ	（１）中川の上空に大群のカワウの雁行が見えた。北西方向に飛んで行ったので通過個体と思われるが、一応調査票に記載した。 （２）花畑川は整備工事のため３分の１近く埋め立てられているが、今年もキンクロハジロ、マガモ、オオバンが来ている。数は少ないが。 （３）神明六木遊歩道にはワカケホンセイインコがいた。数日前に担当地域外のゴルフ場でも見たが、別の群れだろうか？	Ｅ－３６
２５	メジロ アオジ ヒヨドリ	（１）とても寒かった。メジロの声があちこちからしたが、この日はみつけられなかった。 （２）野球場の前のススキがある場所にも、アオジの地鳴きかと思われる声がしたが、みつけられなかった。 （３）ヒヨドリが去年よりたくさん降りてきている気がする。	Ｅ－３９
２５	ヒヨドリ	（１）ようやく寒くなり、ヒヨドリたちが増えてきた感じでした。お庭にカキの木があるお宅に可愛らしい声で鳴きながら実をつついている姿が見られました。	Ｃ－２２

令和５年１１月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
２６	キンクロハジロ オオバン メジロ シジュウカラ	（１）６℃位。真冬並みの寒い朝、霧雨まで降ってきた。鳥の数は少ないが、花畑運河にキンクロハジロ、オオバンが、ほか民家の中の小さな果樹園？に、メジロ、シジュウカラが集まって来ていた。	Ｅ－３７
２８	ツグミ タヒバリ	（１）堀切橋の京成上野線の橋梁架替工事（２３年１１月６日～２４年３月３１日まで）で、周りの草地が刈られ、ロープで柵が造られていた。 （２）その先の河川敷の草原でツグミ数羽とタヒバリ１２羽が、餌をついばんでいた。	Ａ－９
２８	ジョウビタキ モズ キンクロハジロ ホシハジロ カンムリカイツブリ	（１）１１月にしては暖かな好天。都市農業公園ではジョウビタキ、モズにも出会えた。新芝川では冬鳥のキンクロハジロ、ホシハジロが例年の数近く顔を揃えた。カンムリカイツブリが１羽、盛んに潜水を繰り返していた。	Ｃ－１８
２９	ヒヨドリ	（１）観察エリア内、元渕江公園、中央部分の一角がヒヨドリで占領されており、計測不能。一応５０としておいたが、それ以上だったと思われる。いつも多く見られるムクドリ、スズメが全く見当たらなかったのは不思議としか言いようがない。	Ｄ－２９

令和６年１月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
4	ヒヨドリ ドバト	（１）自宅から担当地に行く迄にも、ヒヨドリがいた。この日見たヒヨドリはいつものシーズンより小さい。 （２）ベルモント公園の池の橋下に、寒鯉が集まり、橋桁にドバトが集まっていた。やはり寒いのだろう。	Ｄ－２３
5		（１）晴れ、風は弱い。気温３℃くらい。日が出て暖かくなってきた。 （２）東武線の鉄橋下（荒川右岸）、タヌキの死骸があった。	Ａ－４
5	ノスリ オオタカ ムクドリ ツグミ	（１）西新井橋横の野球場にドバトの羽が多数落ちていた。オオタカかハヤブサの食痕と思われるが、肉や骨は見当たらなかった。 （２）西新井橋近くの木工沈床の杭に、ノスリが止まっていた。上流方向に飛び去ったが、再度担当地域の中間付近から，斜めの杭にとまっているのを観察した。すぐ近くに、オオタカの幼鳥がとまっていた。 （３）地面で採食しているムクドリやツグミを、１羽も観察できなかった。地面に霜が降りていたためか？その代わり、中間付近にある実のなる木に、ムクドリやツグミが集まって採食していた。	Ｂ－１０
5	ムクドリ ヒヨドリ	（１）冬になって、ムクドリに代わってヒヨドリが多く確認されるようになったが、今まで塀に囲まれて中が見えなかった、梅田八丁目複合施設予定地に透明なアクリル板の塀があることに気が付き、中には入れないがその中を覗くと、５０羽程（正確な数はカウント出来ないので概算）のムクドリの群れが確認出来た。今後はこの空地も調査対象としたい。	Ｂ－１４
5	カワウ オオタカ	（１）おだやかな快晴。カワウの群れが着水し、一斉に潜ったのが印象的だった。河川敷では、正月早々に富士山とタカを見ることができた。オオタカが荒川上空を旋回。 （２）種名が特定できない、地味なカモの群れを観察。	Ｂ－１６

令和６年１月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
6	ハシブトガラス ヒヨドリ ドバト ムクドリ ワカケホンセイインコ ハクセキレイ メジロ カワウ	（１）南の空に有明の月を見て、ハシブトガラスの声を聞きながら出発。ヒヨドリが南南西の方に向かって鳴きながら飛び去る。指先が凍えてくる。 （２）稗田公園の東側入口を入ると右、左、さらに右前方にスイセンの花が大分咲き始めていた。春は、間近か。 （３）谷中公園では、ドバトの群れとヒヨドリ、ムクドリの混群が、ケヤキの大木とネズミモチの木に群れていて、数えるのに手間取った。 （４）終盤、キイーッという聞きなれぬ声が聞こえて見上げると、電線に１羽、ワカケホンセイインコが朝日を浴びて鮮やかな姿を見せていた。写真を撮ろうと思ったら、キイーッと２度鳴いて飛び去ってしまった。今年は初めての対面。 （５）時間を過ぎてしまい急いだ北三谷公園では、ドバト７羽とハクセキレイ１羽が地面で食餌し、メジロが４羽以上木々の間を飛び回っていた。 （６）途中、ヒヨドリ、カワウ、ムクドリが南南西の方に向かって飛んで行ったが、どこに向かっていたのか？	Ｅ－３８
6	ムクドリ	（１）ツミを見つけることができませんでした。 （２）カラスが少なかった。 （３）相変わらずムクドリが多かった。 （４）バードウォッチングしている人が２、３人いました。	Ｅ－４０
6	チョウゲンボウ カワウ ガビチョウ アオジ オオジュリン ムクドリ	（１）７時にスタート。霜柱が立ち、吐く息が白い。風が弱く、日差しが暖かいせいか、２７種の鳥が観察された（昨年は２０種）。 （２）学校のコウバイ（紅梅）が美しい。ハクバイ（白梅）はまだ蕾だ。白い富士山がくっきり。ヤナギの木の頂にチョウゲンボウ（オス）。一富士、二鷹と、縁起が良い。 （３）上空に、１２０羽を超えるカワウが雁行する。美しい。 （４）ガビチョウの美声に誘われてか、アオジとオオジュリンがガビチョウのそばに姿を見せた。 （５）ムクドリがカキの木に群れ、その実をついばんでいた。	Ａ－２

令和６年１月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
6	ハクセキレイ カワラヒワ メジロ オナガ シジュウカラ ムクドリ コガモ オオバン カルガモ アオサギ スズメ ヒヨドリ	（１）新年を迎え、担当地域内にある舎人氷川神社に向かい、入り口でハクセキレイの出迎えを受け、参拝を済ませた後に調査を開始しました。 （２）神社の木々にはカワラヒワ、メジロ、オナガ、シジュウカラ、ムクドリを観察しました。 （３）毛長川では冬に飛来するコガモ、オオバンに加えてカルガモ、アオサギを、河川敷ではハクセキレイ、スズメを観察しました。 （４）毛長川に沿った舎人緑道公園には木の実が残っており、多くのヒヨドリが捕食しながら飛び回っていました。	Ｃ－２１
7	ヒヨドリ メジロ	（１）サザンカの花の蜜を、ヒヨドリとメジロが吸いに来ていた。	Ｅ－３３
7	コサギ カルガモ	（１）コサギが上空を飛行した。 （２）カルガモが、五反野コミュニティーセンター前の川の上流にある浮巣に２羽いた。この浮巣で以前、産卵したことがありました。傾いて水没しているものがあります。	Ｄ－２６
8	ヒヨドリ メジロ シジュウカラ キンクロハジロ ホシハジロ コガモ	（１）今日はお天気だったが寒かった。風が冷たい。 （２）代行調査のために頂いた地図があって助かった。 （３）ヒヨドリとメジロがよく鳴いている。シジュウカラはもっといてもいい気がしたけど１羽しかみつけられなかった。その１羽は男の子で枯れた声でツピツピしていたので、そろそろさえずりたいのかなと思った。 （４）自分が観察している区域ではあまり見られない冬鳥（キンクロハジロ、ホシハジロ、コガモ）が見られて嬉しかった。	Ｅ－３７
8	カワウ	（１）ワンドの工事が終わってから格段にカモやシギの数が増えました。 （２）隅田川方面から西新井橋上流に向かって２５０以上のカワウが飛んでいきました。	Ａ－６
１０		（１）荒川河川敷、一部土木工事作業区域在り。	Ｂ－１３

令和６年１月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
１２	ユリカモメ ヒドリガモ ダイサギ ムクドリ カルガモ キンクロハジロ スズメ	（１）自宅を６時２０分に出発。中川のスタート地点に６時５０分に到着。朝焼けを見ながらいざ、出発。 （２）いきなりユリカモメの出迎えに期待が膨らむ。続いてヒドリガモの集団を確認。中川は１１月の調査とは一変した。 （３）川岸では捕食中のダイサギを５羽発見。土手を挟んだ住宅街にはムクドリの姿が目立ち、相変わらず賑やかだ。 （４）中川を上って花畑運河に出ると、カルガモ、キンクロハジロに出会う。 （５）川沿いの観察を終え１時間が経過した。六木の住宅街に入ったのが８時。辺りは静かで鳥の気配は感じない。 （６）歩みを進めゴルフ練習場で２０羽以上のムクドリを確認。毎回この場所はムクドリが多く、ネットの円筒鉄骨支柱の空洞を巣として利用していると思える。 （７）今回は、季節柄カモ類は多く観察出来たが、カラスやスズメ、ハトなど常連さんが少なかった。	Ｅ－３４
１２	ユリカモメ オオタカ	（１）今月に入ってから朝７時半を過ぎるとユリカモメが大挙して（５０羽程度）飛来するようになった。調査当日はたまたま飛来数が少なかった。 （２）オオタカの幼鳥は２羽確認されているが、Ｂ地区とＣ地区に分かれて狩り（主にドバト）をしている模様である。	Ｃ－２０
１３	オナガ ハシボソガラス ムクドリ シジュウカラ ヒドリガモ カワウ スズメ メジロ ドバト	（１）６時２０分に自宅を出発。６時４０分にスタート地点の大谷田公園に到着。薄暗い中、観察を開始する。 （２）プラタナスの木では、オナガにハシボソガラスの威嚇行動が騒がしい。 （３）３０分ほど公園内を観察するとムクドリが増えてきた。梅園ではカンコウバイ（寒紅梅）・トウジバイ（冬至梅）の花が咲きだしており、シジュウカラを確認。途中ベランダの鉢植え柿の実１つをムクドリが競い合っていた。 （４）郷土博物館まで来たがスズメは確認できない。 （５）８時１０分中川土手に到着。ヒドリガモ、カワウを確認。同時刻にスズメが土手沿いのヨシやイヌビエの種を食べているのを確認。 （６）観察も後半になり足を早める。葛西用水沿いで花をつけたカンコウバイにメジロを確認し、ほっと一息。 （７）スタート地点の大谷田公園に向けて観察コースを進む。９時近くになると、電信柱の設備品にスズメをわずかに認めるが、今日はムクドリ、ドバトが主要メンバーとなった。	Ｅ－３２

令和６年１月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
１４	カワセミ キジバト メジロ スズメ カワラヒワ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ ダイサギ コサギ	（１）快晴、気温２℃。水たまりに氷が張っている。 （２）垢川で川面を飛ぶカワセミを確認。近くにいた人から「野鳥調査しているの？カワセミいたね。」と、声をかけられた。 （３）民家の屋根にキジバトが３羽とまって、軒樋にたまった落ち葉をつついたり、くわえて外に落としたりして、中にいる虫を食べていた。 （４）キンカンの木でメジロとスズメの群れが、実を食べている様子を観察。 （５）神明六木遊歩道でカワラヒワ４羽確認。オナガ、ムクドリの姿は見られなかった。 （６）花畑川にコガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ダイサギ、コサギがいた。	Ｅ－３６
１４	メジロ カワウ カワラヒワ コゲラ オオバン ダイサギ アオサギ ホオジロ アオジ	（１）メジロはたくさん鳴いていて、かわいい。 （２）カワウ２５、６羽の群れが２つ矢印のように並んで上空を移動。 （３）カワラヒワもコロコロ鳴きながら、アキニレとケヤキの木の上で食事。コゲラの鳴き声を何度も聞いたけれど、見つけられなかった。 （４）川ではオオバンが１羽水草をくわえて、それを他の５羽が追いかけていた。ダイサギは手前の岸で狩り、アオサギはグワッと鳴きながらカワウに追いまわされて、橋からこちらの岸へ飛んできた。 （５）カモメがたくさんいた。 （６）ホオジロとアオジが土手の枯草の茂みにわさわさといた。目視できたのは少なかったけど、多分もっといると思う。	Ｅ－３９
１４	カワウ コサギ ジョウビタキ	（１）毛長川にカワウと並んでいたコサギをはじめて見ました。 （２）公園では、ジョウビタキのメスがその可愛らしい姿を何度も見せてくれました。 （３）神社では、いろいろな野鳥たちが集っており、十分楽しませてくれました。	Ｃ－２２
１９	カンムリカイツブリ	（１）寒い日が続き、暖かそうな日を選んでのモニターとなりました。河川敷には既にオオイヌノフグリやホトケノザなどが、ちらほらと咲いていました。 （２）風もなく鏡のような荒川を滑る様に泳ぎ、そして潜る、を繰り返すカンムリカイツブリが、目にやきついています。	Ｂ－１７

令和６年１月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
１９	ヒヨドリ スズメ メジロ	（１）令和６年最初の野鳥観察。１月に入って、正月は暖かで春みたいな気候でしたが、それ以降は真冬の寒さが続きましたが、今日は曇り空ということもあってか、暖かな日でした。 （２）調査コース全体を通して、ヒヨドリとスズメのさえずりが聞こえ、どこの電線にも数羽見かけられました。ウメの木は、全体につぼみがついていて、開花が楽しみです。 （３）また、毎回見られたオナガが一羽も見られませんでした。明神の湯の駐車場のクスノキにメジロを２羽見つけられたことが、今日一番の収穫でした。	Ｅ－３１
２３	オナガ	（１）オナガの数が増えていると思った。それに比べカラスの数が減っているように思える。一時的かもしれないが。数は少ないが、多くの種類が観察された。	Ｄ－２５
２３	ツグミ メジロ	（１）見る機会が少なくなったツグミを３羽見ることができた。 （２）メジロがツバキの花に群がっていた。	Ｂ－１１
２５		（１）冬日となり風も少し出ました。墨田川のカモ類は例年より少なかった気がします。後半は風もおさまり、鳥の活動が活発な印象でした。 （２）橋戸町のタワーマンションの建設が進行中です。隣接する歩道（墨田川への通路）ではイソヒヨドリが見られなくなりました	Ａ－５
２６	イカルチドリ ハクセキレイ ツグミ カワウ	（１）快晴ではあったが風強く、期待した干潟でもイカルチドリとハクセキレイしか見られなかった。 （２）河川敷では、ツグミとたびたび出会えた。 （３）カワウが大きな２つの群れで、荒川上空を上流に移動していった。	Ａ－１
２６	カンムリカイツブリ ツグミ カワウ ヒヨドリ ムクドリ アオサギ コサギ ダイサギ	（１）空は見渡す限り真っ青でしたが、風は冷たくなり、荒川は流れが速くなりました。 （２）広～い水面にカンムリカイツブリが１羽、浮かんでいました。 （３）小鳥たちは多くいました。ここ数年、ツグミは１羽いるかいないかでしたが、今回は多くのツグミに出会えてうれしく思いました。 （４）カワウ、ヒヨドリ、ムクドリ、アオサギ、コサギ、ダイサギはいましたが、スズメは何処に行ってしまったのでしょうか。１羽も見られませんでした。	Ｂ－１２

令和６年１月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
２６	カワウ オオタカ トビ オオジュリン ウグイス	（１）カワウが編隊を組んで、約４０羽が上流に向かって飛んで行きました。その後、遅れをとった９羽もＶの字になって飛んで行きました。 （２）帰りがけに、上空にオオタカを発見。オオタカのそばに突然トビが…。ここでオオタカに出会ったのは初めてです。トビは２回目です。 （３）オオジュリン、ウグイスは声のみで、姿の確認はできませんでした。	Ｂ－１５
２８	ツグミ スズメ	（１）霜柱を踏みながらの観察。第１ポイントで最初にお目見えしたのは「ツグミ」でした。 （２）仲組公園では珍しく３０羽近いスズメの群れに会い、ホッとした。	Ｄ－２８
２８	ノスリ ホシハジロ オオバン カンムリカイツブリ ツグミ	（１）鹿浜橋近くの河川敷の樹の上にいるノスリを、土手上からカメラでとらえた。 （２）新芝川ではホシハジロとオオバンが集まっていた。 （３）川ではカンムリカイツブリ、土手ではツグミと度々出会えた。	Ｃ－１８
２９	メジロ シジュウカラ オオジュリン	（１）千草園で、満開のコウバイ（紅梅）にメジロと、シジュウカラは他の樹木で、鳴きかわしていた。 （２）堀切橋の脇、荒川橋梁架替工事の現場が広く設けられ、付近のアシ原や雑草が刈られていたが、オオジュリンは飛来していた。	Ａ－９
２９	カルガモ	（１）暖かく穏やかな日であったが、鳥たちの姿は多くない。いつもは数を見かける元淵江公園も、この日は池でカルガモ１６羽を見かけただけで、他に一羽の種も数も見かけなかったのは、今までで初めてのことである。	Ｄ－２９
３０		（１）春のような暖かい天気の中の探鳥。花畑川の工事が続いているので期待の鳥が少ない。	Ｅ－３５
３１	ヒドリガモ	（１）川の沿岸が工事中で人が近づけないためか、普段はこのあたりでは見かけないヒドリガモが群れで泳いでいた。人が近づける場所には全く水鳥はおらず、鳥達はよくわかっているなという感じ。	Ｄ－２４

令和６年３月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
2	ドバト ヒドリガモ オオバン ムクドリ メジロ スズメ	（１）自宅を５時５０分に出発。６時２０分、日の出とともに強風の中、調査開始。中川は満潮で波が高い。船の係留場所でドバトを確認。波間にヒドリガモ、オオバンを多く確認する。 （２）７時を過ぎた頃から川岸の新芽を食るムクドリを頻繁に見かける。ゴルフ練習場と川沿いの餌場を行き来している様だ。 （３）花畑運河は水鳥を確認できない。桜木橋まで足を進めると、カワヅザクラにメジロを３羽確認する。 （４）７時半を回った頃からスズメやカラスを見かける様になったが、スズメの数は相変わらず少ない。 （５）今日は強風と寒さのせいか、鳥の種類、数ともに少なかった。	Ｅ－３４
2	メジロ シジュウカラ	（１）ピンチヒッターとして、公園のボランティア以外で調査をさせてもらいました。調査範囲が広く距離的にもいつもの何十倍でしたが、いろんな箇所を周りました。 （２）普段は行かないような箇所にカワヅザクラがあり、数十羽のメジロたちが忙しそうに蜜を吸っている姿が、本当に愛らしかったです。 （３）シジュウカラたちは公園内に設置してある巣箱をのぞいたりして忙しそうでした。とても楽しい調査でした。	Ｃ－２０
2	スズメ	（１）北寄りの風強め。７時４５分、雲の切れ目から太陽光が少し暖かい。日差しは春だが、風はまだ冷たい。テニスコート脇のミモザ３本、半分ほど花が咲き、黄色がきれいだ。 （２）雲が大分薄くなって青空が広がってきたところで、北三谷公園に到着、終了。いつもは小鳥の声がいくつか聞こえる公園だが、冷たい風が吹くばかりで、スズメが３羽常緑樹の辺りで出入りしていただけ。観察中ずっと寒かった。	Ｅ－３８
2		（１）晴、冬型、北西の風６、風は冷たい。５℃前後。 （２）河川敷はナズナ、オオイヌノフグリ、ホトケノザなど野草の花がたくさん咲いている。ホトケノザがいっぱいで、赤紫のじゅうたんの様だった。	Ａ－４

令和６年３月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
3	ツグミ メジロ キンクロハジロ マガモ オオバン ヒヨドリ ムクドリ ドバト	（１）観察開始場所に６時２０分頃着。準備して、６時３０分出発。初めての地域なので地図を見ながら、順路探しに少し手間取る。それでも快晴で、風も弱くモニター日和だ。 （２）最初の公園を出たところの畑のカキの木に、地面から鳥が飛び移った。ヒヨドリかムクドリか？と思ったが、久しぶりのツグミだった。幸先よし。 （３）雪見公園では大きなクスノキの間をメジロが飛び回っていた。何度か数え直して、１７羽は間違いなくいたので、記す。他の木でも２羽見たので、もっと沢山いたかも知れない。 （４）公園を出てすぐ、花畑川を覗いてみると、目の前にキンクロハジロの番。 （５）川を見渡すと、東の方にカワヅザクラが、１０数本満開。 （６）西の方には水鳥数羽。近くによって見るとマガモのペアとオオバンのペア。様子を見ている所に、ヒヨドリが来てとまり、向こう側の堤防にムクドリがとまっていた。 （７）川に沿って移動すると、オオバンが１羽で日向ぼっこしていた。 （８）そこからは、高速道路の外壁のところのドバトなどを数えながら、ゴールに向かう。 （９）途中で、電線にとまっていた白っぽい鳥がシロハラの様であったが、羽繕いをしていて、動きが止まらず、もう少しよく見ようとした途端飛び立ってしまった。特定できず記さず。２０分ほど余分にかかってしまった。	Ｅ－３７
3	オオバン ジョウビタキ	（１）毛長川にオオバン同士で水面をばたつかせながら追いかけっこをしている光景が見られました。 （２）公園には前回も見かけたジョウビタキのメスがおり、その愛らしい姿を見せてくれました。	Ｃ－２２
3	ジョウビタキ	（１）観察日は風がなく晴天だったが、早朝（午前７時頃）は放射冷却のために、かなり気温が低かった。その影響もあるのか、先月よりも野鳥の確認数が少なかった。 （２）しかしながら、亀田トレイン公園にてジョウビタキ（メス）が、この地区では私が担当となって初めて確認された。	Ｂ－１４

令和６年３月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
3	ムクドリ オナガ ドバト スズメ カワウ オオバン ダイサギ	（１）６時１０分の日の出に合わせスタンバイしたが、あたりは薄暗いため、６時２０分より大谷田公園内の観察をはじめたが、鳥の姿を確認できない。２０分ほど探鳥するが、数種を２、３羽見るのみで公園を後にした。 （２）観察コースをたどるが、昨日同様にカラスの鳴き声ばかりがうるさい。繁殖期を迎えてのエリア争いか？ （３）６時４０分頃になると、ムクドリの姿を見かけるようになるが、１月と比べると全体的に物足りなさを感じる。 （４）東淵江庭園外縁で今日初のオナガを確認。７時を過ぎるとドバトやスズメも姿を現す。 （５）中川は昨日と違い波もなく穏やかだが、カワウやオオバン、ダイサギを数羽確認するのみである。 （６）足立東高校のフェンスで多くのスズメを確認。円筒鉄柱に巣があるのか？ （７）８時過ぎに起点の大谷田公園に戻ると２０羽程のドバトの集団を確認する。餌撒き人を待っているのかと思える。	Ｅ－３２
3	ウグイス	（１）ウグイスが、中間付近のアシ原でさえずっていた。最初の「ホー」がなく「ホケキョ」のみを、間隔をあけてさえずっていた。	Ｂ－１０
4	カルガモ コガモ ハシビロガモ コサギ カワセミ カワウ ハシボソガラス	（１）見沼代親水公園から調査を開始し、カルガモ１２羽（古千谷本町：１０羽　舎人四丁目：２羽）を観察しました。 （２）担当地域の毛長川で、これまで長期にわたり河川工事が行われていましたが、今回の調査で工事は無く、多種の野鳥（カルガモ、コガモ、ハシビロガモ、コサギ、カワセミ、カワウ）を観察出来ました。 （３）カワウはこれまで少数の観察でしたが、小魚の群れを探しながら移動する９羽を観察しました。 （４）昨日１２年ぶりに本殿のご開帳が行われ、多くの人が集まった舎人氷川神社の今朝は、野鳥の鳴き声だけですが、ハシボソガラスが物干しハンガーを咥え、イチョウの木にとまり、もう１羽と合流して巣作りを始めている様子を確認しました。	Ｃ－２１
4	タヒバリ カワラヒワ	（１）ほぼ満開のホトケノザと、ヒメオドリコソウの咲く河川敷は好天で、陽ざしに恵まれた朝だった。おかげでタヒバリ数羽にカワラヒワの小群も観察できた。	Ａ－９

令和６年３月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
4	メジロ ヒヨドリ	（１）メジロがツバキの花、ウメの花の蜜を吸っていた。 （２）ヒヨドリが群れてブロッコリーの葉をついばんでいた。食べるものが無くなってきたのかな。	Ｂ－１１
4	ウグイス	（１）ウグイスの初鳴きを聞きました。	Ｂ－１５
4	ツグミ イソシギ	（１）風もなく穏やかなモニター日和となりました。 （２）一度伐採された河川敷の樹木も少しずつ成長し、これからが楽しみです。そのためか、小鳥たちも少しずつ増えた感じがします。 （３）河川敷のグランドには、この時期に合わせて少しずつ、ツグミが集結している様子でした。 （４）荒川の護岸の上では、つがいと思われるイソシギが上になったり下になったりしてイチャイチャしていました。	Ｂ－１７
4	ツグミ シジュウカラ ホシハジロ キンクロハジロ カンムリカイツブリ ハイタカ	（１）早朝にしては暖かな晴天の観察日和。 （２）都市農業公園ではツグミやシジュウカラをはじめ、９種を観察した。他にもホシハジロ、キンクロハジロ、カンムリカイツブリなど１８種が観察できた。 （３）河川敷上空を、ハイタカがゆっくりと上流方向に飛んでいった。	Ｃ－１８
5	カルガモ	（１）川は拘置所脇の水路、ゴミが多かった。遊歩道を、ゴミ拾いのコンビニ袋を持って歩いていたら、カルガモが後をついてきました。	Ｄ－２６
7		（１）曇天。年度末の掉尾（ちょうび）を飾る多種多様の観察となった。	Ｂ－１６
7		（１）住宅街のため鳥達が集まっている場所が決まっており、大きな木が多くある公園や大邸宅、寺院などが町の鳥達のオアシスになっていることがよくわかった。いかにもまだ寒い春先の住宅街、というような鳥種だった。	Ｄ－２７
9	ツグミ ムクドリ	（１）気温が低く、風が強く、身体が揺れて、鳥を視野に入れづらかった。 （２）今日は２４種観察された。ツグミは河川敷の方々で見られ、ムクドリは群れを作って行動していた。	Ａ－２

令和６年３月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
9	ツグミ ムクドリ スズメ カワウ アオジ カシラダカ ウグイス	（１）淡いブルーの荒川はいつしか濃い色に変わり、風は冷たくなり、手はかじかみました。 （２）小鳥たちは多く見かけました。ツグミ、ムクドリ、スズメ、カワウ。アオジとカシラダカは、初めて出会うことができて、嬉しく思いました。 （３）ウグイスはホケキョ、ケキョと可愛く澄んだ声で歌い続けていました。 （４）ヒヨドリの声は聞こえず、静かな朝でした。	Ｂ－１２
9	スズメ	（１）３月になってもまだまだ寒い日が続いています。昨日は、東京も早朝より雪が降り積もり、真冬の様相でした。今日は、昨日とは打って変わって、久々の快晴で気持ちがよかったです。ただ、気温は低く、スタートの７時の気温は、５℃で寒かったです。 （２）大谷田１丁目団地公園の花壇にチューリップが芽生え、春近しという感じがしました。スズメが毎年営巣する大谷田団地４号棟の「４」の壁面番号の所には、スズメが３、４羽出入りしていました。営巣の準備が始まったのでしょうか？	Ｅ－３１
9	スズメ カルガモ ヒヨドリ ツグミ ハクセキレイ キジバト	（１）スズメは高いところにいて、声ばかりで見ることができなかった。 （２）カルガモ２羽共に行動。オスメスの確認を、本を見ながらした。尾羽の白部分がオスか？繁殖行動としては弱いが、離れることなくいた。 （３）地上にいるヒヨドリを見た。チョンチョンと前進した幼鳥だった。 （４）ツグミが一時間ほどいて、初めて出会えたので追った。ハクセキレイも加わり地上で餌探しをしていた。 （５）キジバトは仲良く寄り添っていた。	Ｄ－２３
１０	ツグミ シジュウカラ	（１）早朝はまだ霜柱が残っていたが、モクレン、コブシが膨らみ、春を感じる暖かい朝だった。 （２）ツグミ、シジュウカラは、各ポイントに必ず居た。 （３）毛長川も最近では最多といえる種が居た。	Ｄ－２８
１０	オナガ ﾜｶｹﾎﾝｾｲｲﾝｺ	（１）山王堀公園でオナガとワカケホンセイインコが、共存というのか、縄張り争いなのか、お互いに追い掛け回している様子が、面白かったです。	Ｄ－３０

令和６年３月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
１０	ﾜｶｹﾎﾝｾｲｲﾝｺ アオジ	（１）カワヅザクラが咲き終わり、散り始めました。 （２）高い木の先端で「キュー　キュー　キュー」とワカケホンセイインコが鳴いていた。 （３）アオジが学校林の実を食べていた。	Ｅ－３３
１０	ジョウビタキ ウグイス メジロ シジュウカラ	（１）都住の庭にジョウビタキを観察できた。 （２）ウグイスがチャ、チャ、と地鳴きをしていた。 （３）その他、暖かくなったせいか、メジロ、シジュウカラなど普段見られない鳥を少数ながら観察できた。	Ｄ－２５
１０	メジロ ヒヨドリ ジョウビタキ カワラヒワ ツグミ モズ コゲラ ヒドリガモ	（１）快晴。無風だがかなり寒い。満開のカワヅザクラにメジロとヒヨドリの群れが活発に飛び回りながら蜜を吸っていた。 （２）神明六木遊歩道でジョウビタキのオスメス１羽ずつ、カワラヒワ、ツグミ、モズを確認し、ムクノキにコゲラがいて幹から細い枝先まで丹念に虫を探す様子を観察した。 （３）ヒドリガモの群れにアメリカヒドリらしきオスが１羽いた。見た目の特徴は図鑑等に書かれているものと殆ど一致しているが、交雑種ではないと判断できなかったため、「アメリカヒドリH」とした。	Ｅ－３６
１１	ユリカモメ オオジュリン メジロ シジュウカラ	（１）晴天に恵まれた穏やかな朝。千住桜木自然池の干潟では、前回の１月同様、ユリカモメに占領されていた。 （２）荒川の河川敷の刈り残されたアシに、オオジュリン、メジロ、シジュウカラなどが集まっていた。	Ａ－１
１１	スズメ	（１）午前６時に日が出るようになりました。数日風が強かったのですが、本日はほとんど無風で快晴でした。寒くはありましたが春めいてきました。観察当初より野鳥の活動が活発で、特にスズメが多かったです。 （２）橋戸町のタワーマンションの建設が進み、また、千住桜木町公園付近の隅田川の「左岸修景工事」がはじまりました。機材が持ち込まれ、カモやオオバン、サギ類が岸辺からいなくなりました。今後、親水テラスの整備と付近の生物相に注意が必要でしょう。	Ａ－５
１１		（１）川の沿岸工事がある程度落ち着いてから川で見かける水鳥種が増え、数自体も増えてきた。暖かい春先ということもあり、全体的に鳥類が多くにぎやかだった。	Ｄ－２４

令和６年３月（観察日誌）

観察日	種　名	観　察　日　誌	モニター番号
１３	キジバト	（１）キジバトが枝を加えて飛んでいて、巣材を集めているのかと思われた。	Ａ－３
１５	ﾜｶｹﾎﾝｾｲｲﾝｺ	（１）ワカケホンセイインコが群れで飛翔。６羽か？	Ｂ－１３
１７	シジュウカラ ヒバリ ハクセキレイ ツグミ ヒヨドリ トビ オオジュリン アオジ	（１）タンポポやユキヤナギが咲き始め、木の枝の先に新芽が出て春めいてきた。 （２）シジュウカラのさえずり、ヒバリのさえずり、ハクセキレイも歩きながらずっと唄っていた。カラスが枝やブラッシングした後の犬の毛を、くちばしいっぱいについばんで、飛んでいった。 （３）ツグミがたくさんあちこち地面に降りて、歩いてはとまり、を繰り返して採食していた。 （４）ヒヨドリが何羽か低空飛行で地面に下りて、何か食べていた。トビの鳴く声が２度聞こえたが、姿は見えなかった。（８時１８分頃） （５）オオジュリンを久しぶりに見られた。換羽中のようで顔が黒くなりかけていた。 （６）アオジも枯れ穂の上の方にとまって、黄色のおなかがきれいだった。 （７）カモメの種別は、飛んでいて区別がつかなかった。	Ｅ－３９
２０		（１）今日は野鳥が少なかった。 （２）ツミが見当たらなかった。	Ｅ－４０

令和６年３月（繁殖行動確認）

確認日	種　名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
３	ﾜｶｹﾎﾝｾｲｲﾝｺ	氷川神社	交尾	（１）交尾をしていた。	Ｃ－２２
３	ドバト	建物換気口のへこみ部分	営巣	（１）木の枝をたくさん乗せた巣につがいでいた。	Ｅ－３９
４	ハシボソガラス	荒川河川敷	営巣	（１）巣材をくわえて運ぶ姿を見ました。 （２）ハシボソガラスを２羽目撃、運んだ場所は別々です。	Ｂ－１５
４	ハシボソガラス	舎人氷川神社（舎人五丁目）	営巣	（１）プラスチックの物干しハンガーをくわえたハシボソガラスが飛来してイチョウの木にとまり、もう１羽と合流して巣作りをしていた。	Ｃ－２１
１１	ハシボソガラス	小台東公園	営巣	（１）細い枝で３０㎝くらいの１本。公園でくわえて飛び去っていった。	Ａ－１
１７	シジュウカラ	中川公園に隣接土壌改良地区	さえずり	（１）シジュウカラのさえずりが聞こえた。	Ｅ－３９
１７	ヒバリ	中川公園に隣接土壌改良地区	さえずり	（１）ヒバリのさえずりが聞こえた。	Ｅ－３９

資料編

資料１　調査月別確認種と個体数

NO.	目名	科名	種名	５月	７月	９月	１１月	１月	３月	合計
1	カモ	カモ	オシドリ	0	0	0	1	0	0	1
2			オカヨシガモ	0	0	0	2	10	2	14
3			ヒドリガモ	0	0	0	93	188	161	442
4			マガモ	0	0	0	10	10	6	26
5			カルガモ	91	117	82	158	145	181	774
6			ハシビロガモ	0	0	0	4	0	5	9
7			オナガガモ	0	0	0	0	0	3	3
8			コガモ	0	0	0	14	44	44	102
9			ホシハジロ	0	0	0	36	172	55	263
10			キンクロハジロ	0	0	0	54	49	99	202
11			スズガモ	0	0	0	1	3	0	4
12	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	2	3	2	7	5	17	36
13			カンムリカイツブリ	0	0	0	4	11	6	21
14	ハト	ハト	キジバト	123	89	93	106	153	156	720
15	カツオドリ	ウ	カワウ	78	43	43	262	1,316	234	1,976
16	ペリカン	サギ	アオサギ	17	8	24	16	24	9	98
17			ダイサギ	9	6	16	7	16	7	61
18			チュウサギ	0	0	1	0	0	0	1
19			コサギ	12	13	9	5	10	5	54
20	ツル	クイナ	クイナ	0	0	0	2	2	1	5
21			ヒクイナ	0	0	0	0	0	1	1
22			バン	0	0	0	7	7	9	23
23			オオバン	6	2	1	140	220	257	626
24	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	0	0	0	1	0	0	1
25			ツツドリ	0	0	0	1	0	0	1
26	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	0	7	0	0	0	0	7
27			ヒメアマツバメ	0	20	0	0	0	0	20
28	チドリ	チドリ	イカルチドリ	0	0	0	5	5	13	23
29			コチドリ	3	1	0	0	0	0	4
30			メダイチドリ	5	0	0	0	0	0	5
31		シギ	タシギ	4	0	0	2	1	0	7
32			チュウシャクシギ	3	0	0	0	0	0	3
33			キアシシギ	3	0	0	0	0	0	3
34			イソシギ	12	4	6	10	17	13	62
35		カモメ	ユリカモメ	6	0	0	145	161	142	454
36			ウミネコ	5	5	0	4	0	1	15
37			セグロカモメ	0	0	0	11	131	3	145
38			コアジサシ	7	7	0	0	0	0	14
39	タカ	タカ	トビ	1	1	3	3	9	2	19
40			ツミ	2	2	2	1	0	0	7
41			ハイタカ	0	0	0	0	1	1	2
42			オオタカ	0	0	0	1	5	1	7
43			ノスリ	0	0	0	0	2	0	2
44	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	0	2	4	2	2	10
45	キツツキ	キツツキ	コゲラ	1	0	1	6	0	1	9

NO.	目名	科名	種名	５月	７月	９月	１１月	１月	３月	合計
46	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	1	0	0	1	4	2	8
47	スズメ	モズ	モズ	6	0	5	28	17	13	69
48		カラス	オナガ	205	175	201	209	120	139	1,049
49			ハシボソガラス	127	154	169	226	198	236	1,110
50			ハシブトガラス	155	87	104	169	148	179	842
51		シジュウカラ	シジュウカラ	100	47	102	126	128	222	725
52		ヒバリ	ヒバリ	6	4	1	0	0	1	12
53		ツバメ	ツバメ	109	98	3	0	0	0	210
54			イワツバメ	9	0	0	0	0	0	9
55		ヒヨドリ	ヒヨドリ	130	60	140	932	738	498	2,498
56		ウグイス	ウグイス	0	0	0	14	13	11	38
57		ムシクイ	メボソムシクイ上種	0	0	0	1	0	0	1
58			センダイムシクイ	0	0	1	0	0	0	1
59		メジロ	メジロ	0	0	0	108	148	215	471
60		ヨシキリ	オオヨシキリ	16	20	0	0	0	0	36
61		セッカ	セッカ	22	10	2	0	0	0	34
62		ムクドリ	ムクドリ	1,138	1,023	1,088	929	1,237	1,187	6,602
63		ヒタキ	シロハラ	0	0	0	1	1	1	3
64			アカハラ	0	0	0	0	2	0	2
65			ツグミ	4	0	0	30	134	282	450
66			ジョウビタキ	0	0	0	11	10	16	37
67			イソヒヨドリ	2	0	2	3	0	0	7
68		スズメ	スズメ	881	950	1,025	1,089	1,002	1,114	6,061
69		セキレイ	ハクセキレイ	34	41	42	137	144	127	525
70			セグロセキレイ	1	1	0	4	2	0	8
71			タヒバリ	0	0	0	28	65	19	112
72		アトリ	アトリ	0	0	0	0	12	0	12
73			カワラヒワ	30	20	15	32	106	93	296
74		ホオジロ	ホオジロ	2	0	0	0	10	7	19
75			カシラダカ	0	0	0	1	3	6	10
76			アオジ	0	0	0	6	16	39	61
77			オオジュリン	0	0	0	6	23	51	80
種名特定できず			カモ科sp.	0	0	0	12	1	1	14
			ハト科sp.	11	0	0	0	0	0	11
			チドリ科sp.	0	0	0	1	0	0	1
			シギ科sp.	3	0	0	0	0	0	3
			カモメ科sp.	0	0	0	1	0	3	4
			タカ科sp.	1	0	0	0	0	0	1
			カラス科sp.	3	1	4	0	2	6	16
			アメリカヒドリH	0	0	0	0	0	1	1
確認種個体数合計（羽）				3,386	3,019	3,189	5,228	7,003	5,906	27,731

（参考）交雑交配種	アイガモ	12	15	35	32	28	34	156
（参考）かごぬけ	ドバト	634	708	964	1,449	1,257	1,118	6,130
	ワカケホンセイインコ	17	9	23	26	12	16	103
	ガビチョウ	0	0	2	0	1	0	3

※メボソムシクイ上種は、コムシクイ、オオムシクイ、メボソムシクイのいずれか。

資料２　ブロック別確認種と個体数

NO.	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計
1	カモ	カモ	オシドリ	0	0	1	0	0	1
2			オカヨシガモ	6	8	0	0	0	14
3			ヒドリガモ	184	50	54	21	133	442
4			マガモ	15	5	0	0	6	26
5			カルガモ	140	40	266	138	190	774
6			ハシビロガモ	2	0	7	0	0	9
7			オナガガモ	0	3	0	0	0	3
8			コガモ	79	1	18	0	4	102
9			ホシハジロ	40	55	154	4	10	263
10			キンクロハジロ	18	40	84	6	54	202
11			スズガモ	2	2	0	0	0	4
12	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	0	4	30	0	2	36
13			カンムリカイツブリ	6	7	8	0	0	21
14	ハト	ハト	キジバト	185	48	190	153	144	720
15	カツオドリ	ウ	カワウ	925	543	81	19	408	1,976
16	ペリカン	サギ	アオサギ	50	17	20	1	10	98
17			ダイサギ	19	19	10	0	13	61
18			チュウサギ	1	0	0	0	0	1
19			コサギ	23	12	8	5	6	54
20	ツル	クイナ	クイナ	0	0	5	0	0	5
21			ヒクイナ	0	0	1	0	0	1
22			バン	2	0	21	0	0	23
23			オオバン	205	124	147	21	129	626
24	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	0	0	1	0	0	1
25			ツツドリ	0	0	1	0	0	1
26	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	0	7	0	0	0	7
27			ヒメアマツバメ	0	0	20	0	0	20
28	チドリ	チドリ	イカルチドリ	23	0	0	0	0	23
29			コチドリ	2	1	0	0	1	4
30			メダイチドリ	5	0	0	0	0	5
31		シギ	タシギ	1	3	3	0	0	7
32			チュウシャクシギ	1	2	0	0	0	3
33			キアシシギ	1	2	0	0	0	3
34			イソシギ	33	24	5	0	0	62
35		カモメ	ユリカモメ	355	33	46	0	20	454
36			ウミネコ	12	3	0	0	0	15
37			セグロカモメ	17	4	0	1	123	145
38			コアジサシ	12	0	1	0	1	14
39	タカ	タカ	トビ	7	9	3	0	0	19
40			ツミ	0	0	1	0	6	7
41			ハイタカ	0	0	2	0	0	2
42			オオタカ	0	4	3	0	0	7
43			ノスリ	0	1	1	0	0	2
44	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	2	1	6	0	1	10
45	キツツキ	キツツキ	コゲラ	0	0	7	0	2	9

N0.	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計
46	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	6	2	0	0	0	8
47	スズメ	モズ	モズ	35	22	9	0	3	69
48		カラス	オナガ	105	58	208	375	303	1,049
49			ハシボソガラス	220	123	353	217	197	1,110
50			ハシブトガラス	133	109	153	116	331	842
51		シジュウカラ	シジュウカラ	100	52	292	104	177	725
52		ヒバリ	ヒバリ	9	2	0	0	1	12
53		ツバメ	ツバメ	117	23	20	5	45	210
54			イワツバメ	2	7	0	0	0	9
55		ヒヨドリ	ヒヨドリ	526	328	549	479	616	2,498
56		ウグイス	ウグイス	9	19	9	1	0	38
57		ムシクイ	メボソムシクイ上種	0	0	1	0	0	1
58			センダイムシクイ	0	0	0	0	1	1
59		メジロ	メジロ	76	40	155	41	159	471
60		ヨシキリ	オオヨシキリ	21	15	0	0	0	36
61		セッカ	セッカ	22	11	1	0	0	34
62		ムクドリ	ムクドリ	2,066	1,164	965	946	1,461	6,602
63		ヒタキ	シロハラ	0	0	2	0	1	3
64			アカハラ	0	0	2	0	0	2
65			ツグミ	221	93	91	33	12	450
66			ジョウビタキ	8	7	15	5	2	37
67			イソヒヨドリ	5	2	0	0	0	7
68		スズメ	スズメ	2,090	684	517	1,021	1,749	6,061
69		セキレイ	ハクセキレイ	218	107	94	50	56	525
70			セグロセキレイ	2	4	0	1	1	8
71			タヒバリ	90	22	0	0	0	112
72		アトリ	アトリ	0	0	12	0	0	12
73			カワラヒワ	93	29	78	12	84	296
74		ホオジロ	ホオジロ	10	4	0	0	5	19
75			カシラダカ	5	2	3	0	0	10
76			アオジ	13	25	17	0	6	61
77			オオジュリン	51	23	0	0	6	80
種名特定できず			カモ科sp.	13	0	0	1	0	14
			ハト科sp.	0	0	0	0	11	11
			チドリ科sp.	0	1	0	0	0	1
			シギ科sp.	3	0	0	0	0	3
			カモメ科sp.	0	0	0	0	4	4
			タカ科sp.	0	1	0	0	0	1
			カラス科sp.	14	0	0	0	2	16
			アメリカヒドリH	0	0	0	0	1	1
確認種個体数合計（羽）				8,650	4,043	4,750	3,776	6,497	27,731

（参考）交雑交配種	アイガモ	0	0	156	0	0	156
（参考）かごぬけ	ドバト	1,588	1,274	951	949	1,368	6,130
	ワカケホンセイインコ	0	11	41	43	8	103
	ガビチョウ	3	0	0	0	0	3

資料３　令和５年５月に確認された野鳥

No.	種　名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	8	1	4	1	3	15	1	1	17
2	イソシギ	6	2	4	0	0	12	0	0	12
3	イソヒヨドリ	2	0	0	0	0	0	1	1	2
4	イワツバメ	2	7	0	0	0	9	0	0	9
5	ウミネコ	5	0	0	0	0	5	0	0	5
6	オオバン	3	0	2	0	1	5	1	0	6
7	オオヨシキリ	7	9	0	0	0	16	0	0	16
8	オナガ	21	4	46	68	66	6	130	69	205
9	カイツブリ	0	0	2	0	0	0	2	0	2
10	カルガモ	16	5	25	23	22	42	49	0	91
11	カワウ	40	8	4	3	23	71	3	4	78
12	カワラヒワ	22	2	0	3	3	18	8	4	30
13	キアシシギ	1	2	0	0	0	3	0	0	3
14	キジバト	39	7	25	33	19	23	56	44	123
15	コアジサシ	7	0	0	0	0	7	0	0	7
16	コゲラ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
17	コサギ	7	2	3	0	0	11	0	1	12
18	コチドリ	2	1	0	0	0	3	0	0	3
19	シジュウカラ	11	10	32	13	34	8	52	40	100
20	スズメ	307	77	80	188	229	129	331	421	881
21	セグロセキレイ	0	0	0	1	0	0	1	0	1
22	セッカ	16	5	1	0	0	22	0	0	22
23	ダイサギ	2	3	3	0	1	8	0	1	9
24	タシギ	1	3	0	0	0	4	0	0	4
25	チュウシャクシギ	1	2	0	0	0	3	0	0	3
26	チョウゲンボウ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
27	ツグミ	2	2	0	0	0	4	0	0	4
28	ツバメ	56	16	19	1	17	61	9	39	109
29	ツミ	0	0	0	0	2	0	2	0	2
30	トビ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
31	ハクセキレイ	11	12	7	3	1	22	8	4	34
32	ハシブトガラス	25	16	41	14	59	26	55	74	155
33	ハシボソガラス	25	14	29	34	25	30	48	49	127
34	ヒバリ	4	2	0	0	0	6	0	0	6
35	ヒヨドリ	33	22	33	14	28	26	60	44	130
36	ホオジロ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
37	ムクドリ	325	229	175	185	224	472	391	275	1,138
38	メダイチドリ	5	0	0	0	0	5	0	0	5
39	モズ	6	0	0	0	0	6	0	0	6
40	ユリカモメ	4	1	1	0	0	6	0	0	6
	合計	1,023	466	538	584	757	1,088	1,209	1,071	3,368
＊	カラス科sp.	1	0	0	0	2	0	2	1	3
＊	シギ科sp.	3	0	0	0	0	3	0	0	3
＊	タカ科sp.	0	1	0	0	0	1	0	0	1
＊	ハト科sp.	0	0	0	0	11	0	11	0	11
	総合計	1,027	467	538	584	770	1,092	1,222	1,072	3,386

参考	アイガモ	0	0	12	0	0	0	12	0	12
	ドバト	215	128	87	94	110	289	125	220	634
	ワカケホンセイインコ	0	2	11	4	0	0	2	15	17

資料４　令和５年７月に確認された野鳥

No.	種　名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	4	2	2	0	0	7	1	0	8
2	アマツバメ	0	7	0	0	0	7	0	0	7
3	イソシギ	2	2	0	0	0	4	0	0	4
4	ウミネコ	4	1	0	0	0	5	0	0	5
5	オオバン	2	0	0	0	0	2	0	0	2
6	オオヨシキリ	14	6	0	0	0	20	0	0	20
7	オナガ	9	9	13	81	63	1	107	67	175
8	カイツブリ	0	0	3	0	0	0	3	0	3
9	カルガモ	17	0	62	0	38	78	39	0	117
10	カワウ	21	15	2	3	2	39	1	3	43
11	カワラヒワ	4	2	6	1	7	5	6	9	20
12	キジバト	20	9	24	11	25	14	26	49	89
13	コアジサシ	5	0	1	0	1	6	1	0	7
14	コサギ	10	3	0	0	0	13	0	0	13
15	コチドリ	0	0	0	0	1	1	0	0	1
16	シジュウカラ	6	1	17	5	18	1	29	17	47
17	スズメ	361	111	46	121	311	139	267	544	950
18	セグロセキレイ	0	0	0	0	1	0	0	1	1
19	セッカ	5	5	0	0	0	10	0	0	10
20	ダイサギ	3	2	1	0	0	6	0	0	6
21	ツバメ	61	4	1	4	28	56	0	42	98
22	ツミ	0	0	0	0	2	0	2	0	2
23	トビ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
24	ハクセキレイ	23	6	1	4	7	28	4	9	41
25	ハシブトガラス	13	14	15	10	35	21	27	39	87
26	ハシボソガラス	34	11	42	43	24	31	65	58	154
27	ヒバリ	4	0	0	0	0	4	0	0	4
28	ヒメアマツバメ	0	0	20	0	0	0	20	0	20
29	ヒヨドリ	28	4	8	11	9	4	24	32	60
30	ムクドリ	348	234	83	153	205	502	336	185	1,023
	合計	998	449	347	447	777	1,005	958	1,055	3,018
＊	カラス科sp.	1	0	0	0	0	0	0	1	1
	総合計	998	449	347	447	777	1,005	958	1,056	3,019
参考	アイガモ	0	0	15	0	0	0	15	0	15
	ドバト	252	120	63	169	104	261	254	193	708
	ワカケホンセイインコ	0	2	0	7	0	0	2	7	9

資料５　令和５年９月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	15	2	6	0	1	23	1	0	24
2	イソシギ	4	1	1	0	0	6	0	0	6
3	イソヒヨドリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
4	オオバン	0	0	0	0	1	1	0	0	1
5	オナガ	20	16	57	55	53	5	121	75	201
6	カイツブリ	0	0	2	0	0	0	2	0	2
7	カルガモ	33	3	33	0	13	56	26	0	82
8	カワウ	14	9	10	1	9	40	0	3	43
9	カワセミ	1	0	1	0	0	1	1	0	2
10	カワラヒワ	5	2	8	0	0	2	11	2	15
11	キジバト	26	7	16	22	22	8	34	51	93
12	コゲラ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
13	コサギ	6	2	1	0	0	9	0	0	9
14	シジュウカラ	14	10	29	20	29	14	56	32	102
15	スズメ	419	159	44	123	280	259	346	420	1,025
16	セッカ	1	1	0	0	0	2	0	0	2
17	センダイムシクイ	0	0	0	0	1	1	0	0	1
18	ダイサギ	6	6	3	0	1	13	1	2	16
19	チュウサギ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
20	ツバメ	0	3	0	0	0	3	0	0	3
21	ツミ	0	0	0	0	2	0	2	0	2
22	トビ	0	2	1	0	0	3	0	0	3
23	ハクセキレイ	24	11	2	3	2	33	4	5	42
24	ハシブトガラス	13	26	8	27	30	19	35	50	104
25	ハシボソガラス	34	33	30	38	34	54	49	66	169
26	ヒバリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
27	ヒヨドリ	31	25	50	13	21	33	53	54	140
28	ムクドリ	426	181	94	88	299	432	365	291	1,088
29	モズ	3	2	0	0	0	5	0	0	5
	合計	1,099	501	396	390	799	1,026	1,108	1,051	3,185
＊	カラス科sp.	4	0	0	0	0	0	0	4	4
	総合計	1,103	501	396	390	799	1,026	1,108	1,055	3,189

参考	アイガモ	0	0	35	0	0	0	35	0	35
	ドバト	261	194	111	101	297	354	321	289	964
	ワカケホンセイインコ	0	1	10	11	1	0	1	22	23
	ガビチョウ	2	0	0	0	0	2	0	0	2

資料６　令和５年１１月に確認された野鳥

No.	種　名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	10	3	3	0	0	15	1	0	16
2	アオジ	3	1	2	0	0	4	2	0	6
3	イカルチドリ	5	0	0	0	0	5	0	0	5
4	イソシギ	7	3	0	0	0	10	0	0	10
5	イソヒヨドリ	1	2	0	0	0	3	0	0	3
6	ウグイス	4	8	2	0	0	10	2	2	14
7	ウミネコ	3	1	0	0	0	4	0	0	4
8	オオジュリン	3	3	0	0	0	6	0	0	6
9	オオタカ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
10	オオバン	62	27	26	7	18	136	4	0	140
11	オカヨシガモ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
12	オシドリ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
13	オナガ	22	0	56	69	62	20	130	59	209
14	カイツブリ	0	0	7	0	0	0	7	0	7
15	カシラダカ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
16	カルガモ	34	3	37	40	44	98	60	0	158
17	カワウ	70	22	9	1	160	255	5	2	262
18	カワセミ	1	1	2	0	0	2	2	0	4
19	カワラヒワ	21	1	7	0	3	1	26	5	32
20	カンムリカイツブリ	0	3	1	0	0	4	0	0	4
21	キジバト	17	9	27	35	18	4	63	39	106
22	キンクロハジロ	11	0	20	0	23	48	6	0	54
23	クイナ	0	0	2	0	0	0	2	0	2
24	コガモ	7	0	7	0	0	9	5	0	14
25	コゲラ	0	0	6	0	0	0	6	0	6
26	コサギ	0	2	1	1	1	4	1	0	5
27	シジュウカラ	7	6	65	22	26	8	78	40	126
28	ジョウビタキ	3	1	6	1	0	2	6	3	11
29	シロハラ	0	0	0	0	1	0	0	1	1
30	スズガモ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
31	スズメ	321	130	117	180	341	211	350	528	1,089
32	セグロカモメ	7	2	0	0	2	10	0	1	11
33	セグロセキレイ	2	2	0	0	0	4	0	0	4
34	ダイサギ	2	2	2	0	1	7	0	0	7
35	タシギ	0	0	2	0	0	0	2	0	2
36	タヒバリ	28	0	0	0	0	28	0	0	28
37	チョウゲンボウ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
38	ツグミ	17	3	5	2	3	20	9	1	30
39	ツツドリ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
40	ツミ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
41	トビ	2	1	0	0	0	3	0	0	3
42	ハクセキレイ	55	25	31	17	9	80	42	15	137
43	ハシビロガモ	0	0	4	0	0	0	4	0	4
44	ハシブトガラス	33	14	28	33	61	21	56	92	169
45	ハシボソガラス	42	11	91	35	47	39	102	85	226
46	バン	0	0	7	0	0	0	7	0	7
47	ヒドリガモ	68	0	12	0	13	81	12	0	93
48	ヒヨドリ	190	125	162	261	194	141	459	332	932
49	ホシハジロ	4	0	32	0	0	36	0	0	36
50	ホトトギス	0	0	1	0	0	0	1	0	1
51	マガモ	8	0	0	0	2	10	0	0	10
52	ムクドリ	325	118	145	190	151	297	334	298	929
53	メジロ	16	11	55	11	15	9	67	32	108
54	メボソムシクイ上種	0	0	1	0	0	0	1	0	1
55	モズ	9	13	5	0	1	21	6	1	28
56	ユリカモメ	139	0	3	0	3	132	0	13	145
	合計	1,563	554	993	905	1,199	1,803	1,862	1,549	5,214
＊	カモ科sp.	12	0	0	0	0	8	0	4	12
＊	カモメ科sp.	0	0	0	0	1	0	0	1	1
＊	チドリ科sp.	0	1	0	0	0	1	0	0	1
	総合計	1,575	555	993	905	1,200	1,812	1,862	1,554	5,228

参考	アイガモ	0	0	32	0	0	0	32	0	32
	ドバト	297	347	209	249	347	523	620	306	1,449
	ワカケホンセイインコ	0	0	11	11	4	0	15	11	26

資料７　令和６年１月に確認された野鳥

No.	種　名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	10	7	3	0	4	23	1	0	24
2	アオジ	4	2	7	0	3	9	7	0	16
3	アカハラ	0	0	2	0	0	1	1	0	2
4	アトリ	0	0	12	0	0	0	12	0	12
5	イカルチドリ	5	0	0	0	0	5	0	0	5
6	イソシギ	9	8	0	0	0	17	0	0	17
7	ウグイス	3	5	5	0	0	7	5	1	13
8	オオジュリン	22	1	0	0	0	23	0	0	23
9	オオタカ	0	3	2	0	0	3	2	0	5
10	オオバン	52	50	59	7	52	212	8	0	220
11	オカヨシガモ	2	8	0	0	0	10	0	0	10
12	オナガ	17	14	14	43	32	0	54	66	120
13	カイツブリ	0	0	5	0	0	2	3	0	5
14	カシラダカ	0	0	3	0	0	0	3	0	3
15	カルガモ	15	1	54	42	33	83	62	0	145
16	カワウ	692	414	22	3	185	936	80	300	1,316
17	カワセミ	0	0	1	0	1	1	1	0	2
18	カワラヒワ	17	19	47	8	15	28	60	18	106
19	カンムリカイツブリ	3	2	6	0	0	11	0	0	11
20	キジバト	42	7	48	25	31	22	81	50	153
21	キンクロハジロ	4	16	2	0	27	49	0	0	49
22	クイナ	0	0	2	0	0	0	2	0	2
23	コガモ	37	0	3	0	4	44	0	0	44
24	コサギ	0	1	2	4	3	5	2	3	10
25	シジュウカラ	25	13	52	14	24	1	88	39	128
26	ジョウビタキ	4	1	5	0	0	2	6	2	10
27	シロハラ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
28	スズガモ	1	2	0	0	0	3	0	0	3
29	スズメ	304	77	138	182	301	110	493	399	1,002
30	セグロカモメ	9	1	0	0	121	130	1	0	131
31	セグロセキレイ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
32	ダイサギ	5	3	0	0	8	16	0	0	16
33	タシギ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
34	タヒバリ	43	22	0	0	0	65	0	0	65
35	チョウゲンボウ	4	0	0	0	0	3	0	1	4
36	ツグミ	69	24	27	12	2	94	32	8	134
37	トビ	5	4	0	0	0	8	0	1	9
38	ノスリ	0	1	1	0	0	2	0	0	2
39	ハイタカ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
40	ハクセキレイ	53	29	27	14	21	73	32	39	144
41	ハシブトガラス	21	24	34	15	54	26	61	61	148
42	ハシボソガラス	46	21	63	42	26	40	85	73	198
43	バン	0	0	7	0	0	0	7	0	7
44	ヒドリガモ	74	28	10	9	67	178	10	0	188
45	ヒヨドリ	144	127	154	85	228	129	353	256	738
46	ホオジロ	5	2	0	0	3	10	0	0	10
47	ホシハジロ	35	51	76	0	10	172	0	0	172
48	マガモ	7	3	0	0	0	10	0	0	10
49	ムクドリ	337	174	212	188	326	283	516	438	1,237
50	メジロ	41	14	34	10	49	13	57	78	148
51	モズ	9	6	2	0	0	14	3	0	17
52	ユリカモメ	116	15	21	0	9	120	17	24	161
	合計	2,291	1,202	1,165	703	1,639	2,995	2,148	1,857	7,000
＊	カモ科sp.	1	0	0	0	0	1	0	0	1
＊	カラス科sp.	2	0	0	0	0	0	0	2	2
	総合計	2,294	1,202	1,165	703	1,639	2,996	2,148	1,859	7,003

参考	アイガモ	0	0	28	0	0	0	28	0	28
	ドバト	290	230	251	185	301	331	706	220	1,257
	ワカケホンセイインコ	0	0	9	2	1	0	4	8	12
	ガビチョウ	1	0	0	0	0	1	0	0	1

資料８　令和６年３月に確認された野鳥

No.	種　名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	3	2	2	0	2	8	0	1	9
2	アオジ	6	22	8	0	3	30	8	1	39
3	イカルチドリ	13	0	0	0	0	13	0	0	13
4	イソシギ	5	8	0	0	0	13	0	0	13
5	ウグイス	2	6	2	1	0	9	1	1	11
6	ウミネコ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
7	オオジュリン	26	19	0	0	6	51	0	0	51
8	オオタカ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
9	オオバン	86	47	60	7	57	245	12	0	257
10	オカヨシガモ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
11	オナガ	16	15	22	59	27	3	68	68	139
12	オナガガモ	0	3	0	0	0	3	0	0	3
13	カイツブリ	0	4	11	0	2	6	11	0	17
14	カシラダカ	5	1	0	0	0	6	0	0	6
15	カルガモ	25	28	55	33	40	118	63	0	181
16	カワウ	88	75	34	8	29	221	1	12	234
17	カワセミ	0	0	2	0	0	1	1	0	2
18	カワラヒワ	24	3	10	0	56	25	66	2	93
19	カンムリカイツブリ	3	2	1	0	0	6	0	0	6
20	キジバト	41	9	50	27	29	17	81	58	156
21	キンクロハジロ	3	24	62	6	4	43	56	0	99
22	クイナ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
23	コガモ	35	1	8	0	0	44	0	0	44
24	コゲラ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
25	コサギ	0	2	1	0	2	4	1	0	5
26	シジュウカラ	37	12	97	30	46	37	146	39	222
27	ジョウビタキ	1	5	4	4	2	2	8	6	16
28	シロハラ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
29	スズメ	378	130	92	227	287	120	466	528	1,114
30	セグロカモメ	1	1	0	1	0	3	0	0	3
31	ダイサギ	1	3	1	0	2	7	0	0	7
32	タヒバリ	19	0	0	0	0	19	0	0	19
33	チョウゲンボウ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
34	ツグミ	133	64	59	19	7	184	90	8	282
35	トビ	0	1	1	0	0	2	0	0	2
36	ハイタカ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
37	ハクセキレイ	52	24	26	9	16	61	42	24	127
38	ハシビロガモ	2	0	3	0	0	5	0	0	5
39	ハシブトガラス	28	15	27	17	92	16	92	71	179
40	ハシボソガラス	39	33	98	25	41	51	130	55	236
41	バン	2	0	7	0	0	2	7	0	9
42	ヒクイナ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
43	ヒドリガモ	42	22	32	12	53	129	32	0	161
44	ヒバリ	0	0	0	0	1	0	0	1	1
45	ヒヨドリ	100	25	142	95	136	36	260	202	498
46	ホオジロ	5	0	0	0	2	5	1	1	7
47	ホシハジロ	1	4	46	4	0	55	0	0	55
48	マガモ	0	2	0	0	4	6	0	0	6
49	ムクドリ	305	228	256	142	256	446	450	291	1,187
50	メジロ	19	15	66	20	95	9	140	66	215
51	モズ	8	1	2	0	2	10	3	0	13
52	ユリカモメ	96	17	21	0	8	115	21	6	142
	合計	1,652	877	1,312	746	1,308	2,193	2,261	1,441	5,895
＊	カモ科sp.	0	0	0	1	0	1	0	0	1
＊	カモメ科sp.	0	0	0	0	3	3	0	0	3
＊	カラス科sp.	6	0	0	0	0	0	0	6	6
＊	アメリカヒドリH	0	0	0	0	1	1	0	0	1
	総合計	1,658	877	1,312	747	1,312	2,198	2,261	1,447	5,906

参考	アイガモ	0	0	34	0	0	0	34	0	34
	ドバト	273	255	230	151	209	425	531	162	1,118
	ワカケホンセイインコ	0	6	0	8	2	6	7	3	16

資料９　年度別確認種及び個体数一覧

No	目　名	科　名	種　名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
1	キジ	キジ	キジ	0	0	5	5	4	5	6	4	0	0	0	0
2			コジュケイ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	カモ	カモ	ハクガン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4			コハクチョウ	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
5			オオハクチョウ	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
6			オシドリ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
7			オカヨシガモ	0	22	13	18	11	6	17	54	51	39	63	33
8			ヨシガモ	0	29	0	0	0	0	0	0	0	3	5	4
9			ヒドリガモ	30	152	152	279	365	371	274	376	568	932	1,511	1,494
10			アメリカヒドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0
11			マガモ	2	17	1	10	15	12	6	9	24	10	1	3
12			カルガモ	131	555	519	599	562	480	755	642	1,077	1,176	763	905
13			ハシビロガモ	0	54	73	94	23	32	10	0	0	11	2	18
14			オナガガモ	210	442	472	1,392	972	800	515	458	608	508	275	362
15			トモエガモ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16			コガモ	87	190	229	439	287	231	254	94	224	227	383	348
17			オオホシハジロ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
18			ホシハジロ	345	1,956	803	817	714	230	197	185	340	177	176	208
19			アカハジロ	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20			キンクロハジロ	153	96	379	500	432	281	148	93	150	85	94	89
21			スズガモ	0	0	2	0	0	0	0	0	2	4	0	0
*			カモH	0		0	0	0	1	0	0	1	1	0	0
*			アメリカヒドリH	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			カモ科sp.	0	0	0	0	31	46	0	9	87	6	1	2
*			ハクチョウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	7	22	21	31	19	11	9	17	19	4	12	6
23			カンムリカイツブリ	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	2	0
24			ハジロカイツブリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
*			カイツブリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	ハト	ハト	キジバト	456	891	1,084	1,011	945	966	934	997	1,065	1,019	1,078	1,127
26			シラコバト	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0
27			アオバト	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
*			ハト科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	カツオドリ	ウ	カワウ	472	325	1,185	1,943	2,018	2,387	1,888	1,917	2,075	1,325	1,716	1,679
*			ウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	0	0	0	1	0	5	0	0	1	0	3	1
30			ゴイサギ	3	38	18	27	31	73	43	29	34	17	15	11
31			ササゴイ	1	0	1	4	5	4	8	5	3	1	4	10
32			アカガシラサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33			アマサギ	0	0	0	0	1	0	0	0	7	1	0	0
34			アオサギ	2	3	9	17	18	28	25	55	75	95	72	97
35			ダイサギ	3	23	19	44	61	58	41	56	78	62	57	73
36			チュウサギ	0	2	0	2	0	0	1	0	0	3	1	0
37			コサギ	25	87	93	135	83	150	116	131	120	115	82	93
*			サギ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
38	ツル	クイナ	クイナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
39			ヒクイナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40			バン	0	94	100	78	89	76	103	69	67	59	54	115
41			オオバン	0	1	8	6	0	4	6	3	9	13	32	50
42	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
43			ツツドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44			カッコウ	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
*			カッコウ科sp.	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
45	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
46			ヒメアマツバメ	0	0	0	0	0	4	0	12	0	0	0	0
47	チドリ	チドリ	タゲリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
48			ダイゼン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
49			イカルチドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
50			コチドリ	3	20	10	11	21	17	19	20	23	11	15	8
51			シロチドリ	0	0	7	1	0	4	0	0	0	1	0	0
52			メダイチドリ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			チドリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
53		セイタカシギ	セイタカシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
54		シギ	タシギ	0	0	0	4	2	2	1	0	0	0	0	2

※種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。
※種名にHとあるものは交雑種（hybrid）。特定の種の特徴が強く表れているものは、その種名の後にHをつけている。

No	目　名	科　名	種　名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
55	チドリ	シギ	オオソリハシシギ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
56			チュウシャクシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
57			クサシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
58			タカブシギ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
59			キアシシギ	2	2	1	0	0	0	0	0	3	2	2	6
60			イソシギ	4	11	13	15	31	28	34	34	49	51	39	57
61			キョウジョシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
62			ハマシギ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0
63			アカエリヒレアシシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			シギ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
64		カモメ	ミツユビカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65			ユリカモメ	514	916	1,565	3,913	3,639	6,567	4,636	6,677	7,809	9,297	7,376	6,200
66			ウミネコ	33	160	96	255	186	167	307	343	482	610	319	577
67			カモメ	0	26	13	28	4	53	6	8	12	0	0	2
68			シロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
69			セグロカモメ	10	115	566	279	132	287	261	265	419	413	307	364
70			オオセグロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	1	3	19	10	1
71			コアジサシ	9	0	56	46	75	163	64	29	34	81	21	72
72			アジサシ	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
73			クロハラアジサシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			カモメ科sp.	0	0	0	0	3	7	1	3	4	0	0	0
74	タカ	ミサゴ	ミサゴ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75		タカ	トビ	0	2	2	0	0	0	0	4	1	1	2	2
76			ツミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
77			ハイタカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
78			オオタカ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2
79			ノスリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			タカ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
80	フクロウ	フクロウ	アオバズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
81			トラフズク	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
82			コミミズク	0	1	4	2	14	3	0	0	0	0	0	1
83	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	3	0	3	4	0	8	3	5	8	6	3
84	キツツキ	キツツキ	コゲラ	3	11	7	25	7	23	35	36	14	12	21	36
85			アカゲラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
86	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	1	0	9	32	28	27	29	35	44	32	78	32
87			ハヤブサ	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	4
88	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
89		モズ	モズ	9	37	50	57	36	32	63	40	45	48	56	43
90		カラス	カケス	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
91			オナガ	412	493	618	742	532	489	417	318	557	545	630	662
92			ハシボソガラス	111	353	389	772	673	781	788	836	1,397	1,456	1,340	1,229
93			ハシブトガラス	404	1,091	1,357	1,217	1,099	1,393	1,674	2,189	2,910	3,899	3,725	3,936
*			カラス科sp.	0	0	0	0	1	10	10	39	10	0	0	0
94		ツリスガラ	ツリスガラ	0	0	0	0	9	0	3	0	0	0	0	0
95		シジュウカラ	コガラ	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0
96			ヤマガラ	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
97			ヒガラ	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
98			シジュウカラ	49	147	221	108	211	106	142	180	121	230	179	303
99		ヒバリ	ヒバリ	37	106	184	249	250	266	196	140	180	193	197	134
100		ツバメ	ショウドウツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77	0	0
101			ツバメ	269	416	437	426	335	417	509	364	391	711	492	713
102			イワツバメ	12	50	60	57	54	74	73	64	79	44	25	33
103		ヒヨドリ	ヒヨドリ	1,248	2,116	2,154	1,805	1,691	1,788	1,846	2,475	3,008	3,245	3,213	3,435
104		ウグイス	ウグイス	5	32	18	25	27	27	41	42	37	51	47	48
*			ウグイス科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
105		エナガ	エナガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
106		ムシクイ	メボソムシクイ（上種含む）	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
107			センダイムシクイ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
108		メジロ	メジロ	76	106	200	192	235	196	347	361	223	436	545	311
109		ヨシキリ	オオヨシキリ	20	43	111	105	133	133	115	73	128	97	104	80
110			コヨシキリ	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
*			ヨシキリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
111		セッカ	セッカ	9	18	41	71	67	65	58	56	104	90	57	53
112		レンジャク	キレンジャク	0	0	0	0	73	0	0	0	0	0	0	0
113			ヒレンジャク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
114		ムクドリ	ムクドリ	1,593	2,647	5,478	4,924	4,755	6,035	5,323	5,070	6,566	6,728	6,913	7,024
115			コムクドリ	0	0	0	0	0	0	0	9	0	71	0	70
116		ヒタキ	シロハラ	0	0	0	1	3	0	5	2	7	7	7	1

※種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。メボソムシクイ上種は、コムシクイ、オオムシクイ、メボソムシクイのいずれか。

資料９　年度別確認種及び個体数一覧

No	目　名	科　名	種　名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
117	スズメ	ヒタキ	アカハラ	0	0	6	1	2	1	1	0	4	4	4	5
118			ツグミ	123	277	485	573	707	584	513	483	565	599	889	617
119			ルリビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
120			ジョウビタキ	11	19	18	22	45	41	57	57	45	67	90	90
121			ノビタキ	0	0	1	2	2	5	0	0	0	0	0	2
122			サバクヒタキ	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0
123			イソヒヨドリ	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
124			エゾビタキ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
125			サメビタキ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
126			コサメビタキ	1	0	0	9	1	1	0	2	1	1	1	0
127			キビタキ	1	2	1	1	3	1	0	5	0	2	0	1
128			オジロビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
129			オオルリ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			ヒタキ科sp.	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1
130		スズメ	ニュウナイスズメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
131			スズメ	3,287	7,756	10,129	12,217	11,639	14,300	12,487	15,329	18,003	18,171	18,821	15,919
132		セキレイ	キセキレイ	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
133			ハクセキレイ	159	348	493	624	535	607	606	604	708	678	755	591
134			セグロセキレイ	7	48	20	2	3	4	1	4	0	2	0	0
135			ビンズイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
136			タヒバリ	0	1	39	40	52	30	5	1	10	14	5	13
*			セキレイ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
137		アトリ	アトリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
138			カワラヒワ	256	552	566	455	822	506	429	463	554	748	907	838
139			マヒワ	0	0	2	0	184	0	0	0	2	0	12	0
140			ベニマシコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
141			ウソ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
142			シメ	0	3	7	0	6	6	9	13	2	21	9	18
143			コイカル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
144		ホオジロ	ホオジロ	5	20	8	57	42	71	57	41	66	62	99	38
145			ホオアカ	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
146			キマユホオジロ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
147			カシラダカ	0	0	22	0	0	9	2	1	5	3	1	3
148			アオジ	0	0	66	60	128	75	111	114	106	175	160	161
149			クロジ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
150			シベリアジュリン	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
151			オオジュリン	2	49	42	106	167	86	164	54	127	297	190	310
*			ホオジロ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総　合　計（羽）				10,613	23,007	30,765	36,999	35,359	41,760	36,824	42,110	51,557	55,212	54,091	50,794

*	（参考）※	アイガモ													
*		ワカケホンセイインコ													
*		ドバト													
*		セキセイインコ													
*		ガビチョウ													

※ワカケホンセイインコの数は調査記録があったもののみ集計し、平成３０年度から参考として掲載。
※ドバトの数は調査記録があったもののみ集計し、令和元年度から参考として掲載。
※アイガモの数は調査記録があったもののみ集計し、令和２年度から参考として掲載。
※種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。
※種名にHとあるものは交雑種（hybrid）。特定の種の特徴が強く表れているものは、その種名の後にHをつけている。

No	目　名	科　名	種　名	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
1	キジ	キジ	キジ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
2			コジュケイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	カモ	カモ	ハクガン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
4			コハクチョウ	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0
5			オオハクチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6			オシドリ	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
7			オカヨシガモ	59	40	14	15	0	8	6	1	1	0	0	0
8			ヨシガモ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9			ヒドリガモ	1,180	1,518	1,785	2,217	1,661	1,578	1,925	739	805	1,301	727	875
10			アメリカヒドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
11			マガモ	6	0	4	5	0	5	11	7	37	4	4	3
12			カルガモ	652	881	742	606	736	690	757	760	786	677	687	852
13			ハシビロガモ	25	22	21	30	6	13	41	18	43	28	14	15
14			オナガガモ	81	289	185	429	158	273	439	412	283	380	355	326
15			トモエガモ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
16			コガモ	210	304	151	266	201	244	214	309	163	176	192	239
17			オオホシハジロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18			ホシハジロ	204	95	27	38	7	24	24	19	3	12	35	73
19			アカハジロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20			キンクロハジロ	104	126	97	117	72	76	69	40	22	16	46	69
21			スズガモ	0	3	1	1	0	0	4	1	0	117	0	0
*			カモH	1	0	1	0	0	0	0	10	0	0	0	0
*			アメリカヒドリH	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			カモ科sp.	2	0	1	5	0	2	2	1	0	0	1	14
*			ハクチョウ科sp.	0	10	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0
22	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	1	9	3	13	24	22	24	16	21	19	7	15
23			カンムリカイツブリ	0	0	2	0	1	12	0	0	0	1	1	13
24			ハジロカイツブリ	1	1	0	0	0	1	2		0	0	0	0
*			カイツブリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	ハト	ハト	キジバト	942	917	881	757	723	675	607	688	693	628	615	739
26			シラコバト	0	0	0	4	2	1	0	0	1	0	0	0
27			アオバト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			ハト科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	カツオドリ	ウ	カワウ	1,117	1,597	872	947	841	1,356	1,548	963	1,057	1,085	742	2,377
*			ウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
29	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	4	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
30			ゴイサギ	20	17	10	7	15	14	14	5	2	8	3	0
31			ササゴイ	2	14	5	2	0	2	1	0	0	0	0	0
32			アカガシラサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
33			アマサギ	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
34			アオサギ	112	104	64	108	89	89	118	117	90	100	78	90
35			ダイサギ	105	68	50	74	122	91	74	58	55	71	45	50
36			チュウサギ	1	0	0	7	37	15	0	0	0	1	0	2
37			コサギ	118	117	70	132	89	113	69	61	59	63	37	51
*			サギ科sp.	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	1	2
38	ツル	クイナ	クイナ	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0
39			ヒクイナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40			バン	129	145	136	136	69	53	69	42	86	43	35	52
41			オオバン	132	160	132	209	160	163	234	246	204	229	466	431
42	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
43			ツツドリ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44			カッコウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			カッコウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46			ヒメアマツバメ	0	23	8	22	0	11	0	15	6	0	20	0
47	チドリ	チドリ	タゲリ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48			ダイゼン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49			イカルチドリ	0	0	0	0	0	5	0	4	2	0	0	5
50			コチドリ	17	6	8	19	3	13	19	18	23	7	6	6
51			シロチドリ	0	0	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0
52			メダイチドリ	0	0	0	0	0	4	17	27	1	18	6	4
*			チドリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
53		セイタカシギ	セイタカシギ	0	1	3	3	0	2	0	0	0	15	0	0
54		シギ	タシギ	0	0	0	1	0	3	4	18	10	7	6	0

※種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。
※種名にHとあるものは交雑種（hybrid）。特定の種の特徴が強く表れているものは、その種名の後にHをつけている。

資料９　年度別確認種及び個体数一覧

No	目　名	科　名	種　名	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
55	チドリ	シギ	オオソリハシシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
56			チュウシャクシギ	0	0	0	3	5	7	5	5	2	4	7	5
57			クサシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
58			タカブシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
59			キアシシギ	11	11	19	24	3	7	9	25	0	4	8	0
60			イソシギ	73	80	71	104	81	112	93	111	125	91	72	60
61			キョウジョシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
62			ハマシギ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
63			アカエリヒレアシシギ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			シギ科sp.	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	2
64		カモメ	ミツユビカモメ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65			ユリカモメ	7,289	5,450	5,808	6,789	4,167	2,899	3,793	1,448	1,424	2,010	848	1,588
66			ウミネコ	142	249	225	417	396	302	67	222	98	129	73	121
67			カモメ	3	4	13	5	0	0	1	0	23	0	6	2
68			シロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
69			セグロカモメ	297	217	189	337	245	163	163	128	145	170	104	119
70			オオセグロカモメ	4	1	8	12	2	2	2	5	6	3	2	1
71			コアジサシ	37	84	78	36	89	61	63	45	33	59	14	17
72			アジサシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
73			クロハラアジサシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			カモメ科sp.	84	0	3	2	3	32	84	19	2	0	9	60
74	タカ	ミサゴ	ミサゴ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
75		タカ	トビ	3	0	0	1	3	0	0	1	1	1	2	2
76			ツミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
77			ハイタカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
78			オオタカ	1	1	2	3	2	3	5	3	1	2	1	2
79			ノスリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			タカ科sp.	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0
80	フクロウ	フクロウ	アオバズク	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
81			トラフズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
82			コミミズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
83	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	4	11	8	6	4	26	17	13	10	11	7	9
84	キツツキ	キツツキ	コゲラ	21	26	25	22	37	18	15	23	17	18	23	21
85			アカゲラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
86	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	31	31	32	24	20	15	13	12	19	20	16	10
87			ハヤブサ	0	0	0	0	0	2	1	1	2	1	2	0
88	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
89		モズ	モズ	52	46	76	53	103	88	72	68	66	69	53	68
90		カラス	カケス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
91			オナガ	709	622	840	635	591	739	757	763	990	929	824	644
92			ハシボソガラス	1,212	1,441	998	1,004	802	834	829	922	912	965	842	975
93			ハシブトガラス	3,207	3,282	2,698	2,659	1,903	1,702	1,642	1,707	1,223	1,203	1,146	1,184
*			カラス科sp.	10	30	12	32	121	125	59	27	7	10	42	22
94		ツリスガラ	ツリスガラ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
95		シジュウカラ	コガラ	31	0	0	4	0	9	18	4	0	0	0	0
96			ヤマガラ	1	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
97			ヒガラ	0	0	0	0	0	0	0	2	10	3	0	2
98			シジュウカラ	299	315	584	611	537	470	491	441	651	476	556	585
99		ヒバリ	ヒバリ	118	96	63	67	74	127	77	86	50	71	46	33
100		ツバメ	ショウドウツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
101			ツバメ	627	587	665	578	553	589	574	456	506	419	327	371
102			イワツバメ	36	17	20	4	6	45	14	7	36	26	55	36
103		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2,646	2,863	3,415	2,665	3,058	2,285	2,178	2,118	2,597	2,173	2,742	2,689
104		ウグイス	ウグイス	41	39	58	60	39	44	32	15	26	24	20	28
*			ウグイス科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
105		エナガ	エナガ	0	0	6	0	0	0	0	0	0	26	0	0
106		ムシクイ	メボソムシクイ（上種含む）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
107			センダイムシクイ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
108		メジロ	メジロ	416	296	588	510	561	401	420	366	494	375	568	366
109		ヨシキリ	オオヨシキリ	92	101	83	68	84	67	56	52	47	29	43	72
110			コヨシキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			ヨシキリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
111		セッカ	セッカ	51	28	19	31	35	34	26	26	36	10	13	29
112		レンジャク	キレンジャク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
113			ヒレンジャク	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
114		ムクドリ	ムクドリ	5,967	6,658	7,223	6,748	6,680	6,459	5,781	6,902	7,823	7,156	7,527	7,382
115			コムクドリ	38	6	30	24	31	18	13	38	3	0	9	4
116		ヒタキ	シロハラ	12	0	16	3	9	11	6	2	14	1	8	6

※種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。メボソムシクイ上種は、コムシクイ、オオムシクイ、メボソムシクイのいずれか。

No	目　名	科　名	種　名	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
117	スズメ	ヒタキ	アカハラ	6	0	9	6	6	6	3	0	7	1	1	2
118			ツグミ	844	588	767	618	1,190	669	1,343	716	875	459	630	577
119			ルリビタキ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
120			ジョウビタキ	91	43	64	67	70	57	64	35	62	41	42	41
121			ノビタキ	0	0	1	1	5	0	1	9	1	0	1	0
122			サバクヒタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
123			イソヒヨドリ	0	1	0	5	1	5	3	2	4	2	2	3
124			エゾビタキ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
125			サメビタキ	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
126			コサメビタキ	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	2	1
127			キビタキ	1	1	0	1	2	3	0	2	0	0	0	1
128			オジロビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
129			オオルリ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			ヒタキ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
130		スズメ	ニュウナイスズメ	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
131			スズメ	15,258	15,573	14,844	15,073	14,726	13,913	14,747	14,010	14,028	13,580	14,173	12,779
132		セキレイ	キセキレイ	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0
133			ハクセキレイ	698	684	676	677	631	536	562	556	489	439	467	507
134			セグロセキレイ	0	0	1	0	0	0	1	0	13	0	12	14
135			ビンズイ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
136			タヒバリ	90	66	62	77	109	73	106	69	133	41	65	51
*			セキレイ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
137		アトリ	アトリ	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0
138			カワラヒワ	619	496	851	722	734	646	687	596	693	529	1,258	1,108
139			マヒワ	0	0	0	0	0	0	3	0	24	0	0	0
140			ベニマシコ	4	0	1	0	0	2	0	0	4	0	9	2
141			ウソ	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0
142			シメ	10	1	3	6	19	7	14	1	23	1	24	10
143			コイカル	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
144		ホオジロ	ホオジロ	37	24	35	35	33	29	17	25	49	17	43	28
145			ホオアカ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
146			キマユホオジロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
147			カシラダカ	2	9	0	0	1	0	11	3	2	0	4	4
148			アオジ	171	129	133	119	81	57	55	40	108	46	107	51
149			クロジ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
150			シベリアジュリン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
151			オオジュリン	348	265	299	347	248	223	208	133	205	122	199	197
*			ホオジロ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
総　合　計（羽）				46,997	46,946	46,911	47,472	43,141	39,492	41,513	36,862	38,584	36,776	37,192	38,211

*	（参考）※	アイガモ													
*		ワカケホンセイインコ													
*		ドバト													
*		セキセイインコ													
*		ガビチョウ													

※ワカケホンセイインコの数は調査記録があったもののみ集計し、平成３０年度から参考として掲載。
※ドバトの数は調査記録があったもののみ集計し、令和元年度から参考として掲載。
※アイガモの数は調査記録があったもののみ集計し、令和２年度から参考として掲載。
※種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。
※種名にHとあるものは交雑種（hybrid）。特定の種の特徴が強く表れているものは、その種名の後にHをつけている。

資料９　年度別確認種及び個体数一覧

No	目　名	科　名	種　名	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5				
1	キジ	キジ	キジ	0	0	0	0	0	0	0	0				
2			コジュケイ	0	0	0	0	0	0	0	0				
3	カモ	カモ	ハクガン	0	0	0	0	0	0	0	0				
4			コハクチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0				
5			オオハクチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0				
6			オシドリ	0	0	0	0	0	0	0	1				
7			オカヨシガモ	0	2	5	1	0	0	0	14				
8			ヨシガモ	0	0	0	0	0	0	0	0				
9			ヒドリガモ	923	593	698	529	726	313	454	442				
10			アメリカヒドリ	0	0	0	0	0	0	0	0				
11			マガモ	0	5	13	36	18	45	29	26				
12			カルガモ	563	707	803	666	667	744	711	774				
13			ハシビロガモ	2	26	3	8	1	0	0	9				
14			オナガガモ	279	212	178	85	51	43	33	3				
15			トモエガモ	0	0	0	0	0	0	0	0				
16			コガモ	224	197	133	112	96	100	95	102				
17			オオホシハジロ	0	0	0	0	0	0	0	0				
18			ホシハジロ	172	155	87	176	145	112	230	263				
19			アカハジロ	0	0	0	0	0	0	0	0				
20			キンクロハジロ	176	121	177	175	172	95	241	202				
21			スズガモ	1	1	0	7	3	11	23	4				
*			カモH	0	0	0	0	0	0	0	0				
*			アメリカヒドリH	0	0	0	0	0	0	0	1				
*			カモ科sp.	18	48	76	24	24	119	57	14				
*			ハクチョウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0				
22	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	6	20	47	24	50	30	41	36				
23			カンムリカイツブリ	25	11	5	18	8	14	31	21				
24			ハジロカイツブリ	0	0	0	1	0	0	1	0				
*			カイツブリ科sp.	0	0	1	0	0	0	0	0				
25	ハト	ハト	キジバト	710	638	746	569	593	765	718	720				
26			シラコバト	0	0	0	0	0	0	0	0				
27			アオバト	0	0	0	0	1	0	0	0				
*			ハト科sp.	0	0	0	0	0	0	0	11				
28	カツオドリ	ウ	カワウ	627	714	639	413	356	647	2,183	1,976				
*			ウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0				
29	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	0	0	0	0	0	0	0	0				
30			ゴイサギ	12	11	13	6	3	1	0	0				
31			ササゴイ	0	1	0	0	0	0	0	0				
32			アカガシラサギ	0	0	0	0	0	0	0	0				
33			アマサギ	0	3	0	0	0	0	0	0				
34			アオサギ	93	78	94	69	65	96	95	98				
35			ダイサギ	44	56	36	38	58	32	54	61				
36			チュウサギ	1	0	2	0	0	0	3	1				
37			コサギ	81	75	44	23	22	61	37	54				
*			サギ科sp.	0	0	0	2	0	1	0	0				
38	ツル	クイナ	クイナ	2	0	2	1	0	0	0	5				
39			ヒクイナ	0	0	0	0	0	0	0	1				
40			バン	25	42	42	43	38	18	10	23				
41			オオバン	679	692	628	450	775	789	723	626				
42	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	0	0	0	0	0	0	0	1				
43			ツツドリ	0	0	0	0	0	0	0	1				
44			カッコウ	0	0	0	0	0	0	0	0				
*			カッコウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0				
45	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	0	13	0	0	0	0	0	7				
46			ヒメアマツバメ	4	0	0	0	0	1	0	20				
47	チドリ	チドリ	タゲリ	0	0	0	0	0	0	0	0				
48			ダイゼン	0	0	0	0	0	0	0	0				
49			イカルチドリ	8	1	0	1	0	0	0	23				
50			コチドリ	2	11	6	13	1	10	5	4				
51			シロチドリ	0	0	0	0	0	0	0	0				
52			メダイチドリ	0	0	18	0	0	13	3	5				
*			チドリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	1				
53		セイタカシギ	セイタカシギ	2	0	4	0	0	0	0	0				
54		シギ	タシギ	2	1	2	1	3	2	0	7				

※種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。
※種名にHとあるものは交雑種（hybrid）。特定の種の特徴が強く表れているものは、その種名の後にHをつけている。

No	目　名	科　名	種　名	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5				
55	チドリ	シギ	オオソリハシシギ	0	0	0	0	0	0	0	0				
56			チュウシャクシギ	3	2	4	0	0	3	12	3				
57			クサシギ	0	0	1	1	0	0	0	0				
58			タカブシギ	0	0	0	0	0	0	0	0				
59			キアシシギ	0	5	21	0	0	15	27	3				
60			イソシギ	80	110	47	46	55	61	51	62				
61			キョウジョシギ	0	0	0	0	0	0	3	0				
62			ハマシギ	1	0	0	0	0	0	8	0				
63			アカエリヒレアシシギ	0	0	0	0	0	0	0	0				
*			シギ科sp.	0	4	0	4	0	1	8	3				
64		カモメ	ミツユビカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0				
65			ユリカモメ	1,825	1,859	1,168	806	1,011	183	163	454				
66			ウミネコ	20	14	17	67	11	20	14	15				
67			カモメ	1	7	18	5	5	0	6	0				
68			シロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0				
69			セグロカモメ	54	69	28	31	42	24	53	145				
70			オオセグロカモメ	3	0	1	4	0	1	1	0				
71			コアジサシ	25	27	18	5	4	3	36	14				
72			アジサシ	0	0	0	0	0	0	0	0				
73			クロハラアジサシ	0	0	0	0	1	0	0	0				
*			カモメ科sp.	14	0	6	4	17	22	68	4				
74	タカ	ミサゴ	ミサゴ	0	0	0	0	0	0	0	0				
75		タカ	トビ	0	1	1	3	2	8	20	19				
76			ツミ	4	6	13	8	3	6	8	7				
77			ハイタカ	0	0	0	0	1	0	0	2				
78			オオタカ	1	0	1	2	1	5	3	7				
79			ノスリ	0	0	0	0	0	0	0	2				
*			タカ科sp.	0	0	0	0	1	0	0	1				
80	フクロウ	フクロウ	アオバズク	0	0	0	0	0	0	0	0				
81			トラフズク	0	0	0	0	0	0	0	0				
82			コミミズク	0	0	0	0	0	0	0	0				
83	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	10	15	14	12	13	10	7	10				
84	キツツキ	キツツキ	コゲラ	22	18	10	7	15	14	14	9				
85			アカゲラ	0	0	0	0	0	0	0	0				
86	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	11	19	12	14	18	11	15	8				
87			ハヤブサ	3	1	3	0	0	2	1	0				
88	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	0	0	0	2	0	0	0	0				
89		モズ	モズ	83	73	61	46	51	57	51	69				
90		カラス	カケス	0	0	0	0	0	0	0	0				
91			オナガ	798	893	897	951	747	872	728	1,049				
92			ハシボソガラス	946	893	879	696	869	932	1,022	1,110				
93			ハシブトガラス	1,097	1,197	1,274	849	926	1,042	922	842				
*			カラス科sp.	22	5	16	30	19	35	44	16				
94		ツリスガラ	ツリスガラ	0	0	0	0	0	0	0	0				
95		シジュウカラ	コガラ	0	0	0	0	0	0	0	0				
96			ヤマガラ	0	0	0	0	0	0	0	0				
97			ヒガラ	0	0	0	1	4	0	0	0				
98			シジュウカラ	612	657	575	423	534	666	512	725				
99		ヒバリ	ヒバリ	24	27	22	10	14	23	8	12				
100		ツバメ	ショウドウツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0				
101			ツバメ	476	360	487	428	202	263	335	210				
102			イワツバメ	28	14	27	6	16	8	9	9				
103		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2,734	2,512	2,640	2,061	2,335	2,127	2,607	2,498				
104		ウグイス	ウグイス	21	26	14	22	15	22	20	38				
*			ウグイス科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0				
105		エナガ	エナガ	0	1	0	6	3	4	11	0				
106		ムシクイ	メボソムシクイ（上種含む）	0	0	0	0	0	0	0	1				
107			センダイムシクイ	0	0	0	0	0	0	0	1				
108		メジロ	メジロ	477	367	327	310	330	374	315	471				
109		ヨシキリ	オオヨシキリ	70	58	111	27	11	33	25	36				
110			コヨシキリ	0	0	0	0	0	0	0	0				
*			ヨシキリ科sp.	0	0	0	0	0	0	1	0				
111		セッカ	セッカ	18	19	2	14	9	7	19	34				
112		レンジャク	キレンジャク	0	0	0	0	0	0	0	0				
113			ヒレンジャク	0	0	0	0	0	0	0	0				
114		ムクドリ	ムクドリ	7,332	8,301	7,460	5,625	5,058	6,612	6,224	6,602				
115			コムクドリ	30	4	0	1	0	3	0	0				
116		ヒタキ	シロハラ	6	2	2	3	6	2	4	3				

※種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。メボソムシクイ上種は、コムシクイ、オオムシクイ、メボソムシクイのいずれか。

資料９　年度別確認種及び個体数一覧

No	目　名	科　名	種　名	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5				
117	スズメ	ヒタキ	アカハラ	3	0	2	0	0	1	1	2				
118			ツグミ	591	461	270	180	458	332	324	450				
119			ルリビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0				
120			ジョウビタキ	61	34	33	17	36	28	24	37				
121			ノビタキ	0	0	0	0	0	1	0	0				
122			サバクヒタキ	0	0	0	0	0	0	0	0				
123			イソヒヨドリ	5	4	5	5	7	4	2	7				
124			エゾビタキ	1	0	0	0	0	0	0	0				
125			サメビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0				
126			コサメビタキ	1	0	1	0	0	0	0	0				
127			キビタキ	2	0	1	2	1	0	0	0				
128			オジロビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0				
129			オオルリ	0	0	0	0	0	0	0	0				
*			ヒタキ科sp.	1	0	1	0	0	0	0	0				
130		スズメ	ニュウナイスズメ	0	0	0	0	0	0	0	0				
131			スズメ	13,013	11,545	9,853	7,697	7,542	7,046	5,752	6,061				
132		セキレイ	キセキレイ	0	0	1	1	1	0	0	0				
133			ハクセキレイ	447	494	443	344	466	516	518	525				
134			セグロセキレイ	7	33	8	1	0	2	3	8				
135			ビンズイ	0	0	16	2	0	0	0	0				
136			タヒバリ	17	18	6	9	25	73	90	112				
*			セキレイ科sp.	0	0	0	0	0	0	3	0				
137		アトリ	アトリ	149	0	34	0	0	2	0	12				
138			カワラヒワ	836	757	514	245	397	382	352	296				
139			マヒワ	0	0	0	0	0	0	5	0				
140			ベニマシコ	7	0	0	0	4	0	1	0				
141			ウソ	0	0	0	0	0	0	0	0				
142			シメ	9	7	24	8	1	3	1	0				
143			コイカル	0	0	0	0	0	0	0	0				
144		ホオジロ	ホオジロ	13	23	36	7	15	16	7	19				
145			ホオアカ	0	0	0	0	0	0	1	0				
146			キマユホオジロ	0	0	0	0	0	0	0	0				
147			カシラダカ	2	0	1	0	4	2	0	10				
148			アオジ	48	30	41	18	33	38	28	61				
149			クロジ	0	0	0	0	0	0	0	0				
150			シベリアジュリン	0	0	0	0	0	0	0	0				
151			オオジュリン	102	65	54	35	94	68	78	80				
*			ホオジロ科sp.	0	0	4	4	0	0	0	0				
総　合　計（羽）				36,847	35,471	32,027	24,596	25,309	26,047	26,342	27,731				

*	（参考）※	アイガモ					253	256	235	156				
*		ワカケホンセイインコ			11	29	39	52	81	103				
*		ドバト				2,594	4,393	6,410	5,652	6,130				
*		セキセイインコ							1	0				
*		ガビチョウ								3				

※ワカケホンセイインコの数は調査記録があったもののみ集計し、平成３０年度から参考として掲載。
※ドバトの数は調査記録があったもののみ集計し、令和元年度から参考として掲載。
※アイガモの数は調査記録があったもののみ集計し、令和２年度から参考として掲載。
※種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。
※種名にHとあるものは交雑種（hybrid）。特定の種の特徴が強く表れているものは、その種名の後にHをつけている。

年度	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	36	40	39	39	39

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5		
モニター人数	36	38	36	40	40	38	40	40	40	39	40	40	40	40	37		
調査地域数	39	41	41	41	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40		

資料１０　令和５年度 野鳥モニター活動記録

４月	野鳥モニターに区内の野鳥生息調査を委嘱
４月２２日(土)	野鳥モニター基礎研修会
５月	野鳥生息調査（１回目）
７月	野鳥生息調査（２回目）
９月	野鳥生息調査（３回目）
９月６日（水）	野鳥モニター調査報告会
１１月	野鳥生息調査（４回目）
１２月３日（日）	区民参加野鳥観察会（舎人公園）
１月	野鳥生息調査（５回目）
２月１０日（土）	野鳥モニター研修会（東京港野鳥公園）
３月	野鳥生息調査（６回目）

野鳥モニター研修会

ツミ

チョウゲンボウ

オオコノハズク

ツミの親子

オオジュリン

キビタキ

カルガモの親子

バンの親子

オシドリ

令和６年１０月発行

発行　足立区

編集　足立区 環境部 環境政策課 環境事業係

足立区中央本町一丁目１７番１号

電話０３－３８８０－５８６０